



Photo: Hamanaka Town

平成18年11月15日千島列島の地震における
北海道の行政と住民の津波対応に関する調査
調査報告書

平成19年11月
群馬大学大学院工学研究科 片田研究室

Disaster Social Engineering Laboratory
Department of Civil and Environmental Engineering, GUNMA UNIVERSITY

集計編

**平成 18 年 11 月 15 日千島列島の地震における
北海道の行政と住民の津波対応に関する調査報告書　－集計編－**

第 1 章　行政アンケート調査結果	1-1
第 2 章　行政ヒアリング調査結果	2-1
第 3 章　住民アンケート調査結果	3-1
3－1．基本集計	3-1
3－2．自由回答	3-327
【参 考】	
住民アンケート調査結果－浜中町	参考-1

第1章

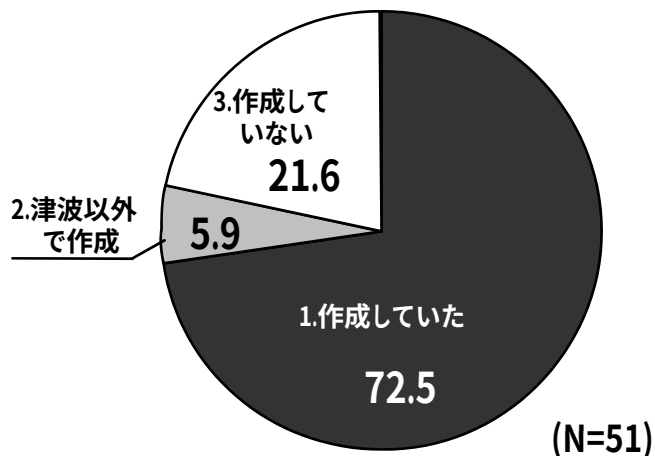
行政アンケート調査結果

1. 今回の地震発生前の、津波に対する体制または行動マニュアル等の作成状況や内容についてお聞きします。

問1 今回の地震発生前、津波に対する連携体制・初動体制・避難体制または行動に関するマニュアル等を作成していましたか。

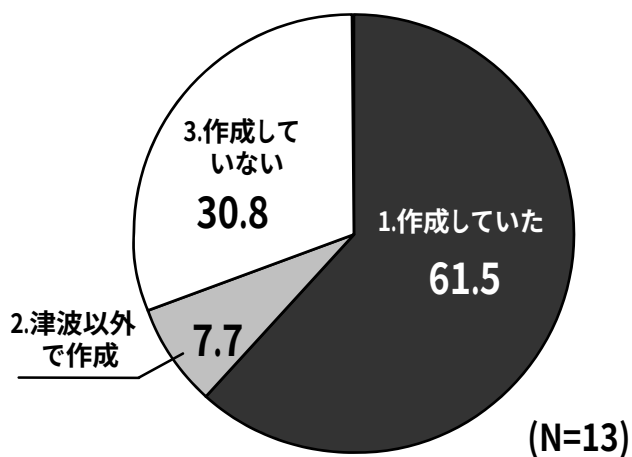
全体

	度数	構成比 (%)
1.作成していた	37	72.5
2.津波以外で作成	3	5.9
3.作成していない	11	21.6
計	51	100.0



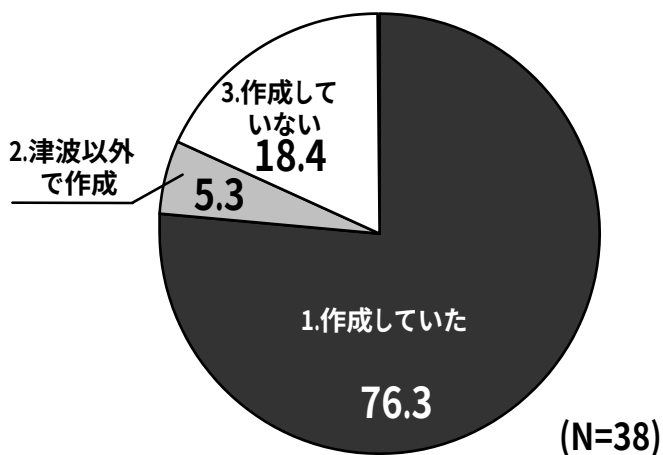
オホーツク海側

	度数	構成比 (%)
1.作成していた	8	61.5
2.津波以外で作成	1	7.7
3.作成していない	4	30.8
計	13	100.0



太平洋側

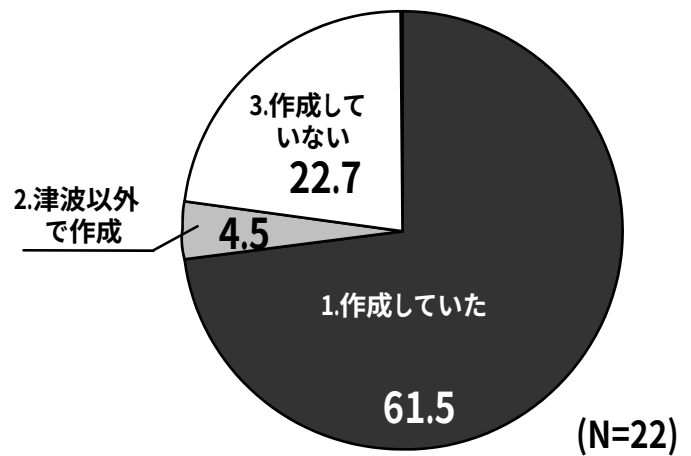
	度数	構成比 (%)
1.作成していた	29	76.3
2.津波以外で作成	2	5.3
3.作成していない	7	18.4
計	38	100.0



問1 今回の地震発生前，津波に対する連携体制・初動体制・避難体制または行動に関するマニュアル等を作成していましたか。

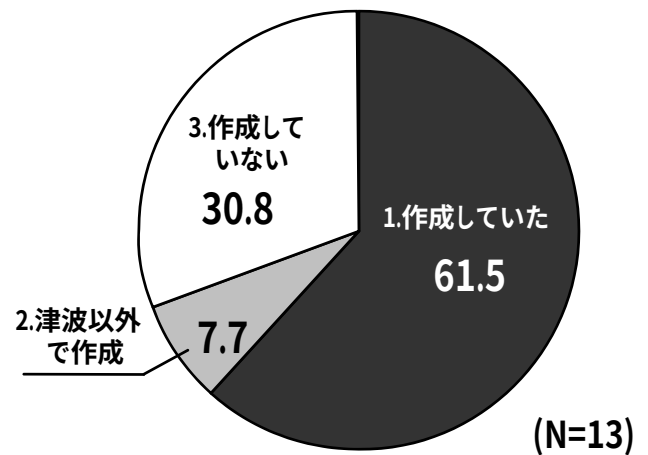
津波警報発表地域（全体）

	度数	構成比 (%)
1.作成していた	16	72.7
2.津波以外で作成	1	4.5
3.作成していない	5	22.7
計	22	100.0



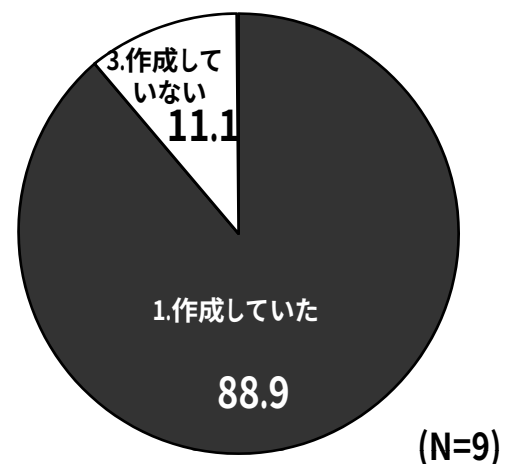
津波警報発表地域（オホーツク海側）

	度数	構成比 (%)
1.作成していた	8	61.5
2.津波以外で作成	1	7.7
3.作成していない	4	30.8
計	13	100.0



津波警報発表地域（太平洋側）

	度数	構成比 (%)
1.作成していた	8	88.9
2.津波以外で作成	0	0.0
3.作成していない	1	11.1
計	9	100.0

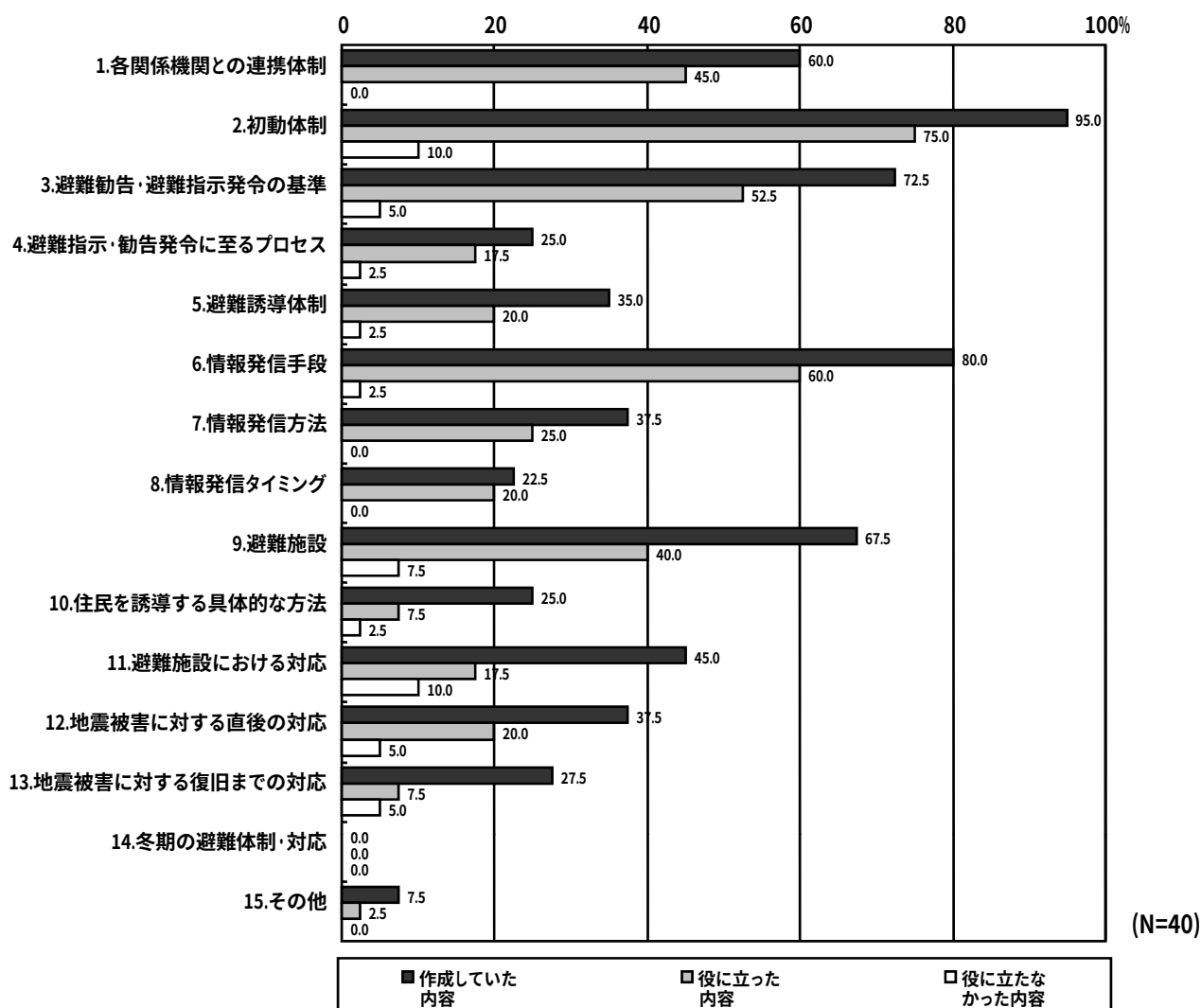


問2 今回の実施発生前、作成していたマニュアルはどのような内容でしたか。（複数回答可）

問3 今回の地震発生前に作成したマニュアルは、今回の地震における実際の行動に役立ちましたか。役に立ったものと立たなかった内容について、上記の番号を下表に記入してください。

全体

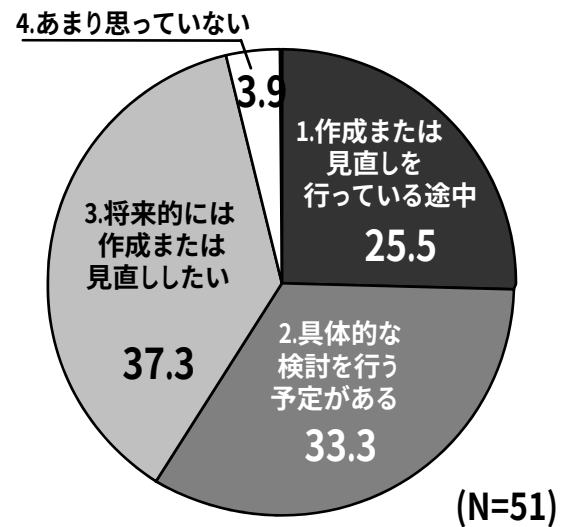
	作成していた 内容		役に立った 内容		役に立たな かった内容	
	度数	構成比 (%)	度数	構成比 (%)	度数	構成比 (%)
1.各関係機関との連携体制	24	60.0	18	45.0	0	0.0
2.初動体制	38	95.0	30	75.0	4	10.0
3.避難勧告・避難指示発令の基準	29	72.5	21	52.5	2	5.0
4.避難指示・勧告発令に至るプロセス	10	25.0	7	17.5	1	2.5
5.避難誘導体制	14	35.0	8	20.0	1	2.5
6.情報発信手段	32	80.0	24	60.0	1	2.5
7.情報発信方法	15	37.5	10	25.0	0	0.0
8.情報発信タイミング	9	22.5	8	20.0	0	0.0
9.避難施設	27	67.5	16	40.0	3	7.5
10.住民を誘導する具体的な方法	10	25.0	3	7.5	1	2.5
11.避難施設における対応	18	45.0	7	17.5	4	10.0
12.地震被害に対する直後の対応	15	37.5	8	20.0	2	5.0
13.地震被害に対する復旧までの対応	11	27.5	3	7.5	2	5.0
14.冬期の避難体制・対応	0	0.0	0	0.0	0	0.0
15.その他	3	7.5	1	2.5	0	0.0
サンプル数	40	—	40	—	40	—
非該当	11	—	11	—	11	—
計	51	—	51	—	51	—



問4 今回の地震を踏まえて、津波に対する体制・行動マニュアルを作成または見直しを考えますか。

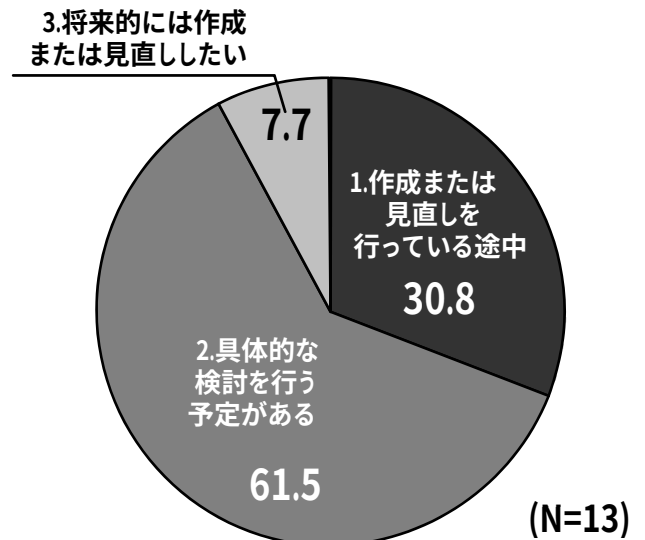
全体

	度数	構成比(%)
1.作成または見直しを行っている途中	13	25.5
2.具体的な検討を行う予定がある	17	33.3
3.将来的には作成または見直ししたい	19	37.3
4.あまり思っていない	2	3.9
5.まったく考えていない	0	0.0
計	51	100.0



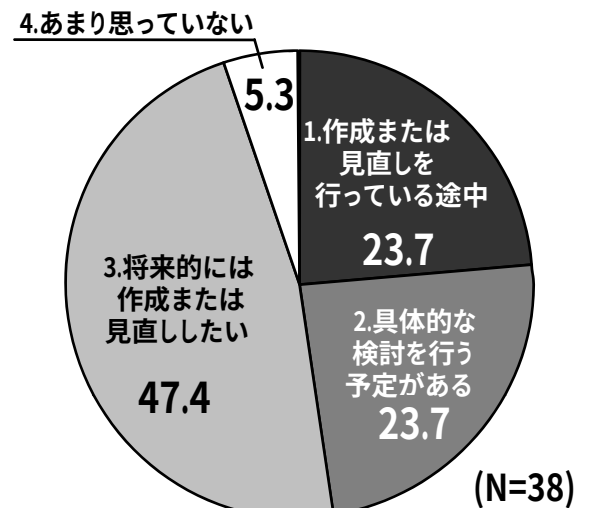
オホーツク海側

	度数	構成比(%)
1.作成または見直しを行っている途中	4	30.8
2.具体的な検討を行う予定がある	8	61.5
3.将来的には作成または見直ししたい	1	7.7
4.あまり思っていない	0	0.0
5.まったく考えていない	0	0.0
計	13	100.0



太平洋側

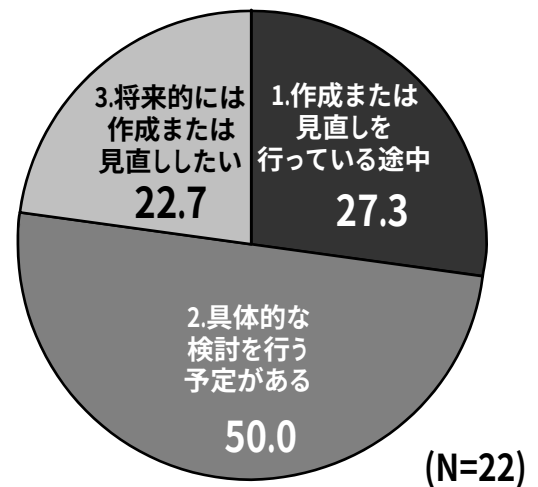
	度数	構成比(%)
1.作成または見直しを行っている途中	9	23.7
2.具体的な検討を行う予定がある	9	23.7
3.将来的には作成または見直ししたい	18	47.4
4.あまり思っていない	2	5.3
5.まったく考えていない	0	0.0
計	38	100.0



問4 今回の地震を踏まえて、津波に対する体制・行動マニュアルを作成または見直しを考えますか。

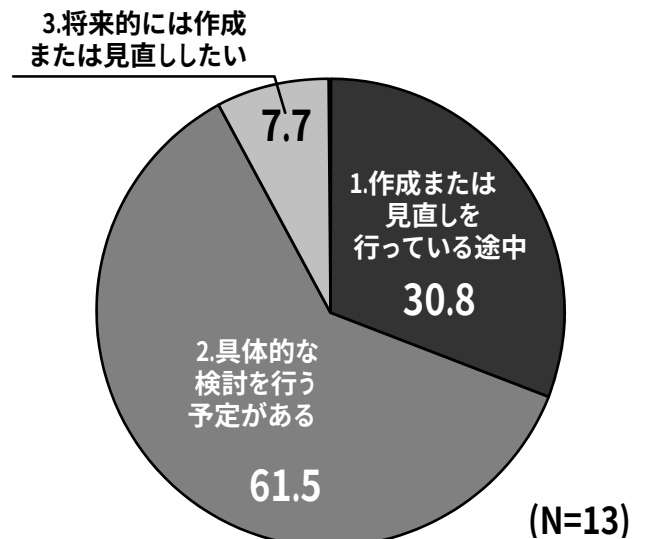
津波警報発表地域（全体）

	度数	構成比 (%)
1.作成または見直しを行っている途中	6	27.3
2.具体的な検討を行う予定がある	11	50.0
3.将来的には作成または見直ししたい	5	22.7
4.あまり思っていない	0	0.0
5.まったく考えていない	0	0.0
計	22	100.0



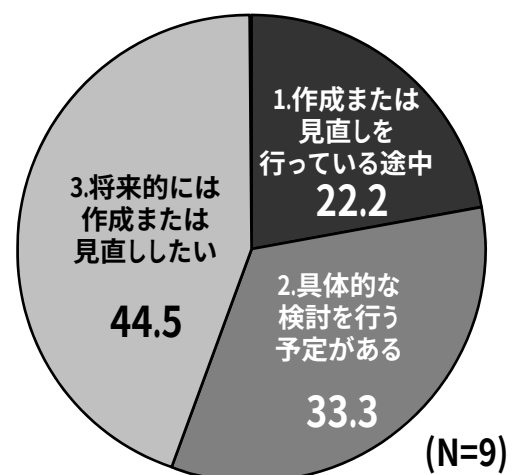
津波警報発表地域（オホーツク海側）

	度数	構成比 (%)
1.作成または見直しを行っている途中	4	30.8
2.具体的な検討を行う予定がある	8	61.5
3.将来的には作成または見直ししたい	1	7.7
4.あまり思っていない	0	0.0
5.まったく考えていない	0	0.0
計	13	100.0



津波警報発表地域（太平洋側）

	度数	構成比 (%)
1.作成または見直しを行っている途中	2	22.2
2.具体的な検討を行う予定がある	3	33.3
3.将来的には作成または見直ししたい	4	44.5
4.あまり思っていない	0	0.0
5.まったく考えていない	0	0.0
計	9	100.0



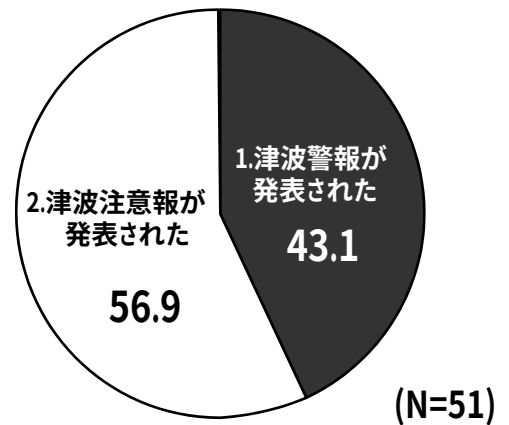
2. 今回の地震・津波における、実際の対応及び体制についてお聞きします。

●今回の地震により津波警報・注意報が発表された市町村にお聞きします。

問5 気象庁から貴市町村付近に発表された津波予報は何でしたか。

全体

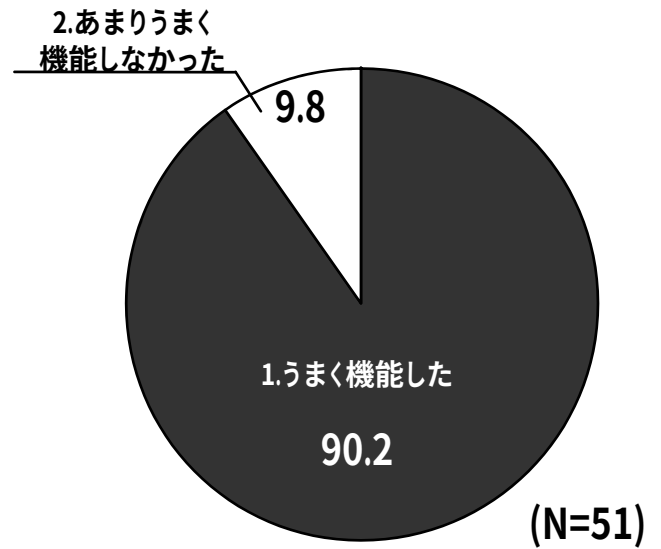
	度数	構成比 (%)
1.津波警報が発表された	22	43.1
2.津波注意報が発表された	29	56.9
計	51	100



問6 今回の地震において、初動体制はうまく機能しましたか。

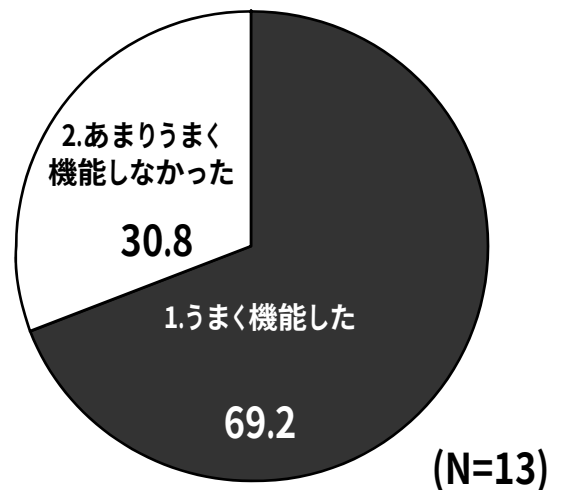
全体

	度数	構成比 (%)
1.うまく機能した	46	90.2
2.あまりうまく機能しなかった	5	9.8
計	51	100.0



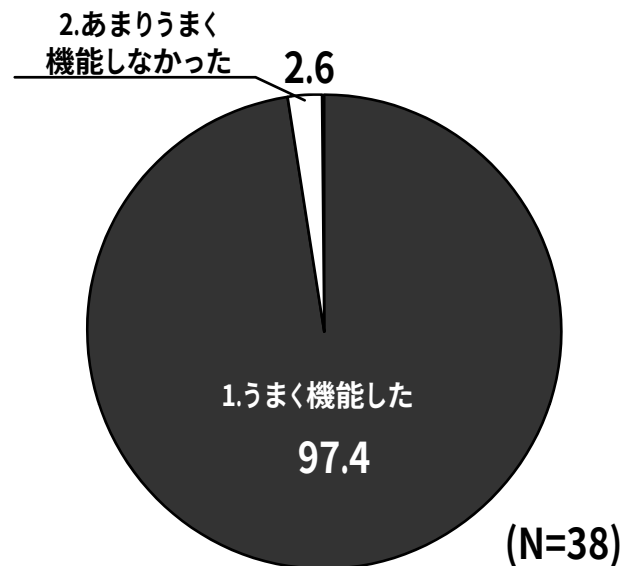
オホーツク海側

	度数	構成比 (%)
1.うまく機能した	9	69.2
2.あまりうまく機能しなかった	4	30.8
計	13	100.0



太平洋側

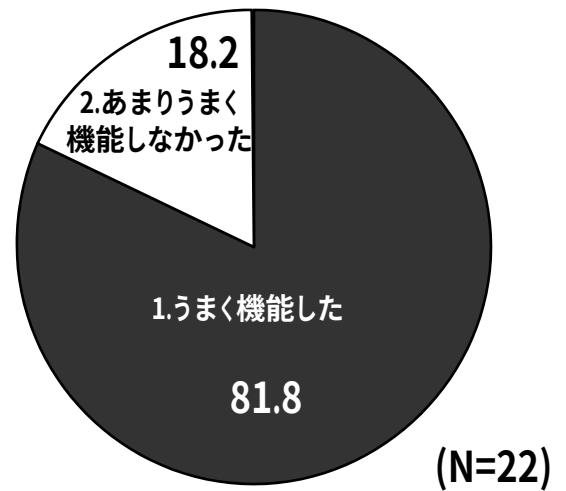
	度数	構成比 (%)
1.うまく機能した	37	97.4
2.あまりうまく機能しなかった	1	2.6
計	38	100.0



問6 今回の地震において、初動体制はうまく機能しましたか。

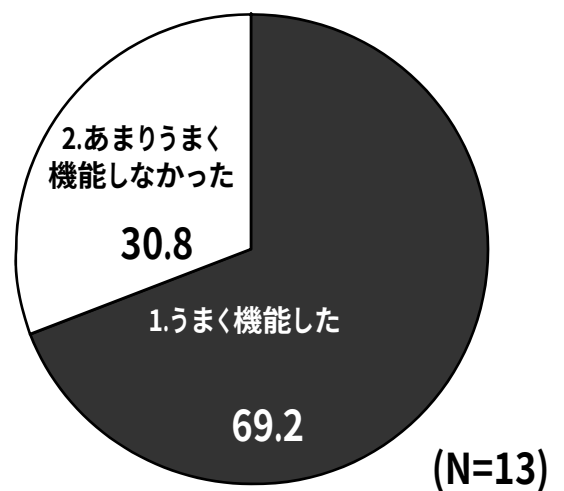
津波警報発表地域（全体）

	度数	構成比 (%)
1.うまく機能した	18	81.8
2.あまりうまく機能しなかった	4	18.2
計	22	100.0



津波警報発表地域（オホーツク海側）

	度数	構成比 (%)
1.うまく機能した	9	69.2
2.あまりうまく機能しなかった	4	30.8
計	13	100.0



津波警報発表地域（太平洋側）

	度数	構成比 (%)
1.うまく機能した	9	100.0
2.あまりうまく機能しなかった	0	0.0
計	9	100.0

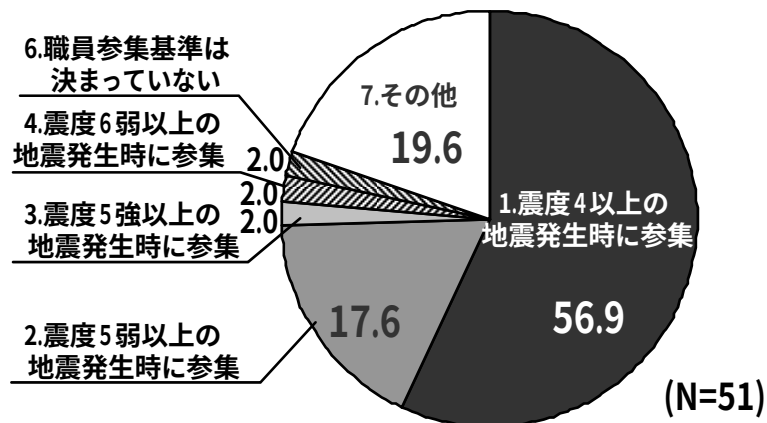


問7 貴市町村の夜間・休日における地震・津波災害時の職員参集基準についてお聞きします。

(1) 夜間・休日における地震災害発生時の職員参集基準は決まっていますか？

全体

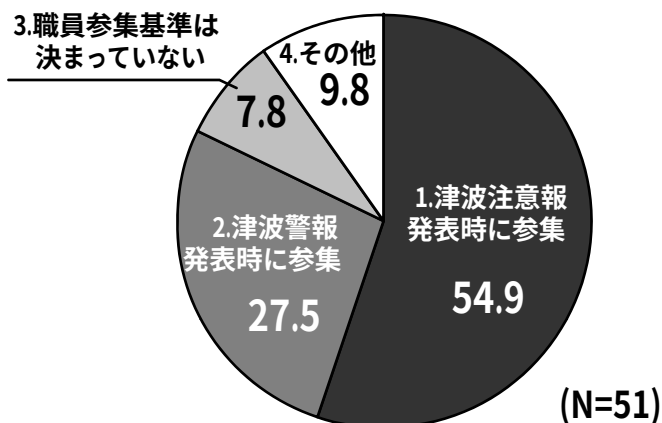
	度数	構成比(%)
1.震度4以上の地震発生時に参集	29	56.9
2.震度5弱以上の地震発生時に参集	9	17.6
3.震度5強以上の地震発生時に参集	1	2.0
4.震度6弱以上の地震発生時に参集	1	2.0
5.震度6強以上の地震発生時に参集	0	0.0
6.職員参集基準は決まっていない	1	2.0
7.その他	10	19.6
計	51	100.0



(2) 夜間・休日における津波災害発生時の職員参集基準は決まっていますか？

全体

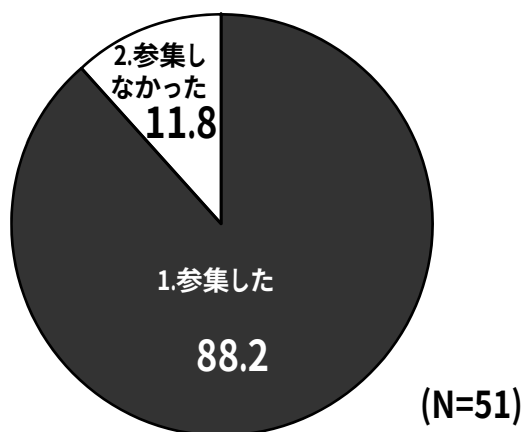
	度数	構成比(%)
1.津波注意報発表時に参集	28	54.9
2.津波警報発表時に参集	14	27.5
3.職員参集基準は決まっていない	4	7.8
4.その他	5	9.8
計	51	100.0



問 8 今回の津波で、職員の参集を行いましたか

全体

	度数	構成比 (%)
1.参集した	45	88.2
2.参集しなかった	6	11.8
計	51	100.0



問9 災害時に対応する概ねの職員が参集した時間は何時くらいでしたか。

問10 職員の参集人数はどれくらいでしたか。

問11 避難所での避難者対応を行った職員は何人くらいでしたか。

全体

地域	支庁	市町村名	平成18年11月15日千島列島を震源とする地震				
			地震発生時刻			20:15	
			津波警報発表時刻			20:29	
			津波警報解除			オホーツク海側	23:30
			津波注意報解除			太平洋側	
			職員参集時間			オホーツク海側	0:32
						太平洋側	1:30
			参集人数		避難所対応		
			日時	経過時間	人数		
オホーツク海側	宗谷支庁	稚内市	15日	20:45	0:16	60	6
		猿払村	15日	20:39	0:10	60	30
		浜頓別町	15日	20:40	0:11	41	19
		枝幸町	15日	20:30	0:01	99	55
	網走支庁	雄武町	15日	20:50	0:21	85	17
		興部町	15日	21:00	0:31	94	24
		紋別市	15日	20:31	0:02	106	20
		湧別町	15日	20:50	0:21	73	10
		佐呂間町	15日	20:40	0:11	83	44
		北見市	15日	20:50	0:21	59	13
		網走市	15日	20:50	0:21	143	23
		小清水町	15日	20:50	0:21	23	10
		斜里町	15日	20:45	0:16	190	20
	オホーツク海側 津波警報発表地域平均		—	—	0:15	—	—
太平洋側	根室支庁	羅臼町	15日	20:29	0:00	70	15
		標津町	15日	20:30	0:01	136	45
		別海町	15日	20:35	0:06	100	47
		根室市	15日	20:33	0:04	338	16
	釧路支庁	浜中町	15日	20:29	0:00	170	18
		厚岸町	15日	20:45	0:16	272	60
		釧路町	15日	20:40	0:11	145	44
		釧路市	15日	20:45	0:16	1036	36
		白糠町	15日	20:50	0:21	160	72
		太平洋沿岸 津波警報発表地域平均		—	—	0:08	—
津波警報発表地域平均		—	—	0:12	—	—	
太平洋側	帯広支庁	浦幌町	15日	20:35	0:06	25	2
		豊頃町	15日	20:30	0:01	40	0
		大樹町	15日	20:45	0:16	22	0
		広尾町	15日	20:50	0:21	30	1
	日高支庁	えりも町	15日	20:35	0:06	40	0
		様似町	15日	20:50	0:21	26	0
		浦河町	15日	20:40	0:11	51	2
		新ひだか町	15日	20:45	0:16	27	0
		新冠町	—	—	—	—	—
		日高町	15日	20:30	0:01	14	7
	胆振支庁	むかわ町	—	—	—	—	—
		厚真町	—	—	—	—	—
		苫小牧市	15日	21:00	0:31	3	0
		白老町	15日	20:45	0:16	13	0
		登別市	15日	20:40	0:11	73	10
		室蘭市	15日	21:00	0:31	3	0
		伊達市	—	—	—	—	—
		洞爺湖町	15日	20:40	0:11	2	0
		豊浦町	—	—	—	—	—
		渡島支庁	長万部町	15日	20:40	0:11	20
	八雲町		15日	20:40	0:11	40	0
	森町		15日	20:45	0:16	24	0
	鹿部町		15日	20:35	0:06	10	0
	函館市		15日	21:00	0:31	10	0
	北斗市		15日	21:00	0:31	7	0
	木古内町		15日	20:45	0:16	41	0
	知内町		15日	20:40	0:11	12	0
	福島町		—	—	—	—	—
	松前町		15日	20:45	0:16	8	0
	太平洋側 津波注意報発表地域平均		—	—	0:15	—	—
平均		—	—	0:13	—	—	

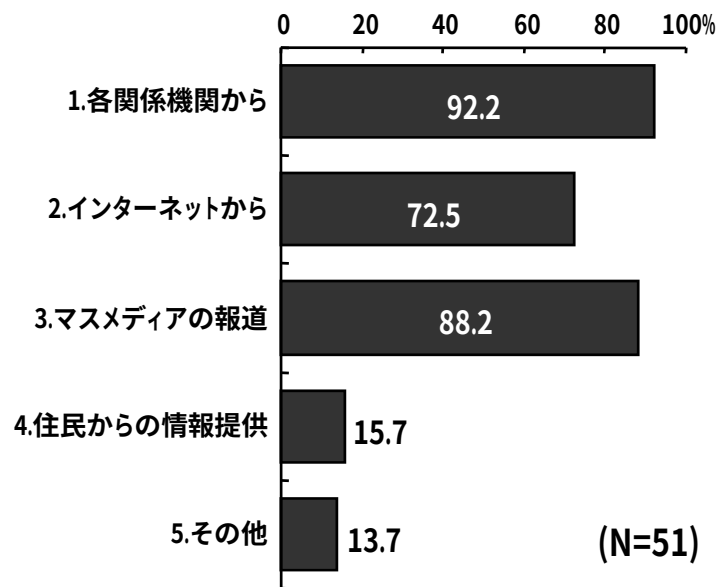
※1. 経過時間は、津波警報発表時刻からの経過時間を示す。

※2. 上記の経過時間は、警報発表からの職員参集まで時間を示す。

問12 今回の地震津波情報に関して、情報収集はどのように行いましたか。（複数回答可）

全体

	度数	構成比 (%)
1.各関係機関から	47	92.2
2.インターネットから	37	72.5
3.マスメディアの報道	45	88.2
4.住民からの情報提供	8	15.7
5.その他	7	13.7
サンプル数	51	—



問13 今回の地震における関係機関と連携の有無、ならびに連携を行った場合はその内容について記入して下さい。

全体

		連携の有無				
		有	無	計	無回答	合計
1.気象庁, 気象台	度数	28	19	47	4	51
	構成比 (%)	59.6	40.4	100.0	-	-
2.北海道開発局 (開発建設部)	度数	6	36	42	9	51
	構成比 (%)	14.3	85.7	100.0	-	-
3.北海道開発局 (道路・河川・港湾事務所)	度数	13	30	43	8	51
	構成比 (%)	30.2	69.8	100.0	-	-
4.上記1.～3. 以外の国の機関	度数	9	33	42	9	51
	構成比 (%)	21.4	78.6	100.0	-	-
5.北海道 (支庁)	度数	44	4	48	3	51
	構成比 (%)	91.7	8.3	100.0	-	-
6.北海道 (土木現業所)	度数	11	32	43	8	51
	構成比 (%)	25.6	74.4	100.0	-	-
7.北海道の機関 (5,6.以外の北海道の機関)	度数	2	40	42	9	51
	構成比 (%)	4.8	95.2	100.0	-	-
8.近隣市町村	度数	8	35	43	8	51
	構成比 (%)	18.6	81.4	100.0	-	-
9.警察	度数	45	6	51	0	51
	構成比 (%)	88.2	11.8	100.0	-	-
10.消防	度数	46	3	49	2	51
	構成比 (%)	93.9	6.1	100.0	-	-
11.大学・研究機関などの学識経験者	度数	0	42	42	9	51
	構成比 (%)	0	100	100.0	-	-
12.民間コンサルタント	度数	0	42	42	9	51
	構成比 (%)	0	100	100.0	-	-
13.その他	度数	3	48	51	0	51
	構成比 (%)	5.9	94.1	100.0	-	-

		連携の内容				サンプル数
		1.情報交換 または連絡	2.広報面での 連携	3.避難面での 連携	4.その他	
1.気象庁, 気象台	度数	26	1	0	1	28
	構成比 (%)	92.9	3.6	0.0	3.6	-
2.北海道開発局 (開発建設部)	度数	6	0	0	0	6
	構成比 (%)	100.0	0.0	0.0	0.0	-
3.北海道開発局 (道路・河川・港湾事務所)	度数	13	0	0	0	13
	構成比 (%)	100.0	0.0	0.0	0.0	-
4.上記1.～3. 以外の国の機関	度数	9	0	1	0	9
	構成比 (%)	100.0	0.0	11.1	0.0	-
5.北海道 (支庁)	度数	43	2	0	1	44
	構成比 (%)	97.7	4.5	0.0	2.3	-
6.北海道 (土木現業所)	度数	11	0	0	0	11
	構成比 (%)	100.0	0.0	0.0	0.0	-
7.北海道の機関 (5,6.以外の北海道の機関)	度数	1	0	1	0	2
	構成比 (%)	50.0	0.0	50.0	0.0	-
8.近隣市町村	度数	7	0	1	0	8
	構成比 (%)	87.5	0.0	12.5	0.0	-
9.警察	度数	44	15	10	1	45
	構成比 (%)	97.8	33.3	22.2	2.2	-
10.消防	度数	41	30	19	5	46
	構成比 (%)	89.1	65.2	41.3	10.9	-
11.大学・研究機関などの学識経験者	度数	-	-	-	-	-
	構成比 (%)	-	-	-	-	-
12.民間コンサルタント	度数	-	-	-	-	-
	構成比 (%)	-	-	-	-	-
13.その他	度数	3	1	2	0	3
	構成比 (%)	100.0	33.3	66.7	0.0	-

3. 今回の地震に際しての、災害対策本部の設置に関してお聞きします。

問14 災害対策本部設置に至らなかった市町村も含めてお尋ねいたします。今回、「災害対策本部を設置することになるかもしれない」「津波被害が出るかもしれない」など、津波の発生を意識しはじめたのはおよそいつ頃でしたか。

問15 地震・津波情報などに特に注意を向けたり、積極的に情報を集め始めたのは、いつ頃でしたか。

全体

地域	支庁	市町村名	平成18年11月15日千島列島を震源とする地震					
			地震発生時刻			20:15		
			津波警報発表時刻			20:29		
			津波警報解除			オホーツク海側 太平洋側		
津波発生を 意識し始めた時間	日時	経過時間	津波注意報解除			オホーツク海側 太平洋側		
			20:32			1:30		
			津波発生を意識し始めた時間			地震・津波情報を意識・収集し始めた時間		
			日時			経過時間		
オホーツク海側	宗谷支庁 網走支庁	稚内市	15日	20:30	0:01	15日	20:30	0:01
		猿払村	15日	20:39	0:10	15日	20:32	0:03
		浜頓別町	15日	20:30	0:01	15日	20:30	0:01
		枝幸町	15日	20:30	0:01	15日	20:30	0:01
		雄武町	15日	20:29	0:00	15日	20:29	0:00
		興部町	15日	20:30	0:01	15日	20:30	0:01
		紋別市	15日	20:30	0:01	15日	20:31	0:02
		湧別町	15日	20:30	0:01	15日	21:00	0:31
		佐呂間町	15日	20:29	0:00	15日	20:29	0:00
		北見市	15日	20:30	0:01	15日	20:30	0:01
		網走市	15日	20:35	0:06	15日	20:35	0:06
		小清水町	15日	20:45	0:16	15日	20:45	0:16
		斜里町	15日	20:30	0:01	15日	20:45	0:16
		オホーツク海側 津波警報発表地域平均	—	—	0:03	—	—	0:06
太平洋側	根室支庁 釧路支庁	羅臼町	15日	20:29	0:00	15日	20:30	0:01
		標津町	15日	20:29	0:00	15日	20:29	0:00
		別海町	15日	20:29	0:00	15日	20:35	0:06
		根室市	15日	20:33	0:04	15日	20:33	0:04
		浜中町	15日	20:29	0:00	15日	20:29	0:00
		厚岸町	15日	20:29	0:00	15日	20:30	0:01
		釧路町	15日	20:40	0:11	15日	20:40	0:11
		釧路市	15日	20:29	0:00	15日	20:29	0:00
		白糠町	15日	20:38	0:09	15日	20:38	0:09
		太平洋沿岸 津波警報発表地域平均	—	—	0:02	—	—	0:03
		津波警報発表地域平均	—	—	0:02	—	—	0:05
	帯広支庁 日高支庁 胆振支庁 渡島支庁	浦幌町	15日	20:40	0:11	15日	20:40	0:11
		豊頃町	15日	20:30	0:01	15日	20:30	0:01
		大樹町	15日	20:30	0:01	15日	20:45	0:16
		広尾町	—	—	—	15日	20:50	0:21
		えりも町	15日	20:30	0:01	15日	20:35	0:06
		様似町	15日	20:30	0:01	15日	20:30	0:01
		浦河町	15日	20:30	0:01	15日	20:30	0:01
		新ひだか町	15日	20:45	0:16	15日	20:15	0:00
		新冠町	15日	20:30	0:01	15日	20:50	0:21
		日高町	15日	20:29	0:00	15日	20:35	0:06
		むかわ町	15日	20:40	0:11	15日	20:40	0:11
		厚真町	15日	20:30	0:01	15日	20:30	0:01
		苫小牧市	15日	20:45	0:16	15日	21:00	0:31
		白老町	15日	20:30	0:01	15日	20:45	0:16
		登別市	15日	20:30	0:01	15日	20:40	0:11
		室蘭市	15日	20:35	0:06	15日	21:00	0:31
		伊達市	—	—	—	15日	20:40	0:11
		洞爺湖町	15日	20:30	0:01	15日	20:30	0:01
		豊浦町	15日	20:30	0:01	15日	20:30	0:01
		長万部町	15日	21:00	0:31	15日	20:40	0:11
		八雲町	15日	20:50	0:21	15日	20:57	0:28
		森町	15日	20:40	0:11	15日	20:35	0:06
		鹿部町	15日	20:35	0:06	15日	20:35	0:06
		函館市	—	—	—	15日	21:00	0:31
		北斗市	15日	21:00	0:31	15日	21:00	0:31
		木古内町	15日	20:45	0:16	15日	20:45	0:16
		知内町	15日	20:30	0:01	15日	20:30	0:01
		福島町	15日	20:35	0:06	15日	20:35	0:06
		松前町	15日	20:45	0:16	15日	20:45	0:16
		太平洋側 津波注意報発表地域平均	—	—	0:08	—	—	0:12
		平均	—	—	0:05	—	—	0:09

※1. 経過時間は、津波警報発表時刻からの経過時間を示す。

※2. 上記の経過時間は、警報発表からの津波発生または地震・津波情報を意識・収集し始めるまでの時間を示す。

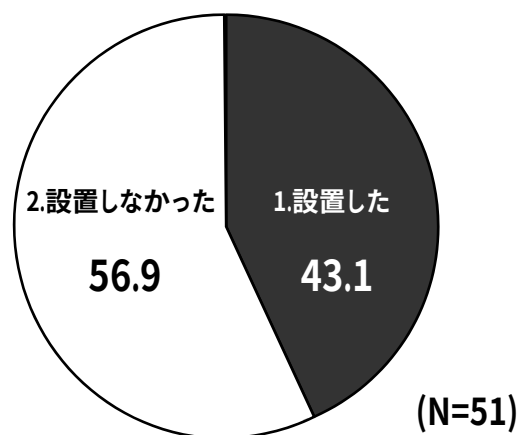
問16 災害対策本部の設置基準が明確に定められている場合、その基準を以下に記入してください。

区分	市町村名	回 答
津波警報発表地域①	稚内市	1.津波警報が発表されたとき。2.震度5弱以上の地震が発生したとき。3.大規模な災害が発生するおそれがあり、その対策を要するとき。
	猿払村	ア. 大規模な災害が発生するおそれがあり、その対策を要するとき イ. 震度5弱以上の地震が観測されたとき ウ. 沿岸に津波警報が発令されたとき
	浜頓別町	津波予報を受け、又は津波の発生するおそれがある場合
	枝幸町	・震度5弱以上の地震が発生したとき ・津波警報が発令されたとき
	雄武町	地震による災害（少なくとも家屋、家具、器物に被害が見受けられる地震でおおむね震度5以上とする。）が発生し、又は発生する恐れがある場合若しくは、津波警報が発令された場合は、町防災計画の定めるところにより、災害対策本部を設置する。
	興部町	
	紋別市	津波警報が発せられ、市長が必要と認めたとき。
	湧別町	津波警報発令時点で災害対策本部を設置することが湧別町地域防災計画で定められている。
	佐呂間町	1. 暴風、暴風雪、大雨、大雪及び洪水警報が発表され、局地的な災害が発生し、又は発生するおそれがあるとき 2. 数地区にわたり相当規模の災害が発生し、又は発生するおそれがあるとき 3. 町全体にわたり甚大な被害をもたらす災害が発生し、又は発生するおそれがあるとき
	北見市	震度5弱以上の地震が発生した場合、オホーツク海沿岸に津波警報が発表された場合、大規模な火災・爆発その他重大な災害発生し、市長が総合的な災害対策を実施する必要があると認めた場合
津波警報発表地域②	網走市	暴風、暴風雪、大雨、洪水その他気象業務法に基づく警報が発令され、災害が発生したとき又は発生するおそれがあるとき。
	小清水町	気象、地象、及び水象について、情報又は警報を受け非常配備の必要があるとき。（本年度、地域防災計画見直し中）
	斜里町	ア. 大規模な災害が発生するおそれがあり、その対策を要するとき。 イ. 災害が発生しその規模及び範囲から判断して特に対策を要するとき。 ウ. 気象、地象及び水象について情報又は警報を受け非常配備の必要があるとき。 エ. 震度5弱以上の地震が発生し、又は沿岸部に津波警報が発令されたとき。
	羅臼町	津波警報が発令はされた場合は発令と同時に対策本部を設置する
	標津町	津波に関しては、津波警報が発令された場合
	別海町	1. 大規模な災害が発生するおそれがあり、その対策を要するとき。 2. 災害が発生し、その規模及び範囲から判断して特に対策を要するとき。 3. 気象業務法に基づく（気象、地象及び水象に関する情報又は警報が発せられ、その必要が認められたとき。
	根室市	気象警報の発令、震度4以上の地震発生、津波注意報・警報の発令
	浜中町	
	厚岸町	〔厚岸町地域防災計画第2章第2節〕 町長は、区域内に災害が発生し又は発生するおそれがある場合で必要があると認めるときは、災害対策基本法第23条の規定に基づき災害対策本部を設置し、強力に防災活動を推進するものとする。
	釧路町	釧路町災害対策本部は、災害が発生し、又は発生するおそれがある場合において災害応急諸対策及び災害予防活動を総合的かつ、能率的に推進するため、災害対策基本法第23条の規程により、町長が必要と認める場合に設置するものである。
津波警報発表地域③	釧路市	1. 市域で震度5弱以上の地震を観測したとき 2. 北海道太平洋沿岸東部に津波警報「津波」又は「大津波」が発表されたとき 3. 雌阿寒岳が噴火し、又は「臨時火山情報」が発表され、噴火のおそれがあるとき
	白糠町	津波予報を受け、又は津波の発生する恐れがある場合は、災害対策本部を設置し、職員を非常配備するとともに指定地方行政機関、道、町内の公共的団体等の協力を得て、応急対策を実施するものとする。
	浦幌町	震度6弱以上の地震が発生したとき 北海道太平洋沿岸中部に「大津波」の津波警報が発表されたとき 地震（津波）による大規模な被害が発生したとき、又は発生するおそれがあるとき
	豊頃町	
	大樹町	震災第2種非常配備体制（震度5弱・津波警報）
	広尾町	震度5弱以上の地震の発生、又は津波警報が発表されたとき。
	えりも町	
	様似町	地震及び津波に関しては「震度6弱以上の地震」「津波警報発令時」と定められている
	浦河町	津波警報
	新ひだか町	震度6以上の地震が発生したとき。 沿岸に「大津波」の津波警報が発令されたとき。
津波注意報発表地域	新冠町	津波警報発令時
	日高町	現在、地域防災計画を策定中であり、正規な参集基準ではないが、震度5強以上の地震の発生により、災害対策本部を設置することとしている
	むかわ町	震度5弱以上の地震が発生したとき。津波警報が発表されたとき。
	厚真町	
	苫小牧市	震度5弱の地震が発生した時、地震・津波により局地的に軽微な物的被害が発生した時、避難所開設を必要とする事態になった時
	白老町	・大規模な災害が発生するおそれがあり、その対策を必要とするとき。 ・災害が発生し、その規模又は範囲からして特に対策を必要とするとき。 ・気象、地象又は水象に関する情報若しくは警報を受け、非常配備体制の必要が認められるとき。
	登別市	
	室蘭市	
	伊達市	
	洞爺湖町	・震度5弱以上の地震の発生したとき ・北海道太平洋沿岸西部に「大津波」の津波警報が発令されたとき
	豊浦町	町内で震度4以上の地震発生時
	長万部町	なし
	八雲町	
	森町	震度4以上の地震が発生したとき及び気象、地象、水象についての情報、又は警報を受け、非常配備の必要があるとき。
	鹿部町	本町地域内に災害が発生し、又は発生するおそれがある場合において、防災の推進を図るために必要があると認めるとき、町長は、基本法第23条の規定に基づき災害対策本部を設置する。
	函館市	大津波警報発表時
	北斗市	
	木古内町	
	知内町	客観的な基準はない
	福島町	震度6弱以上の地震が発生したとき、もしくは大津波の津波警報が発令されたとき。
	松前町	松前町地域防災業務計画で、次の定めにより町長が災害対策本部の設置をすることが出来る。 ・大規模災害が発生する恐れがあり、その対策を要するとき。 ・災害が発生し、その規模及び範囲から特に対策を要するとき。 ・気象、水象及び地象等についての情報又は警報を受け、非常配備体制が必要と認められた時

問17 今回の地震に際して、災害対策本部を設置しましたか。

全体

	度数	構成比 (%)
1.設置した	22	43.1
2.設置しなかった	29	56.9
計	51	100.0



問18 災害対策本部を設置ならびに解散したのは何日・何時でしたか。

全体

地域	支庁	市町村名	平成18年11月15日千島列島を震源とする地震				
			地震発生時刻				20:15
			津波警報発表時刻				20:29
			津波警報解除			オホーツク海側	23:30
						太平洋側	
			津波注意報解除			オホーツク海側	0:32
						太平洋側	1:30
			災害対策本部設置			災害対策本部解散	
日時		経過時間	日時				
オホーツク海側	宗谷支庁	稚内市	15日	20:45	0:16	16日	0:40
		猿払村	15日	20:39	0:10	16日	0:32
		浜頓別町	15日	20:40	0:11	16日	0:30
		枝幸町	15日	20:30	0:01	16日	9:00
	網走支庁	雄武町	15日	20:50	0:21	16日	0:35
		興部町	15日	21:00	0:31	15日	23:33
		紋別市	15日	20:31	0:02	16日	0:53
		湧別町	15日	20:50	0:21	16日	0:30
		佐呂間町	15日	20:40	0:11	16日	0:15
		北見市	15日	20:50	0:21	16日	0:00
		網走市	15日	20:50	0:21	16日	0:10
		小清水町	15日	20:50	0:21	15日	23:50
		斜里町	15日	20:45	0:16	16日	9:00
オホーツク海側 津波警報発表地域平均		—	—	0:15	—	—	
太平洋側	根室支庁	羅臼町	15日	20:29	0:00	16日	1:40
		標津町	15日	20:30	0:01	16日	0:00
		別海町	15日	20:35	0:06	16日	0:15
		根室市	15日	20:33	0:04	16日	1:40
	釧路支庁	浜中町	15日	20:29	0:00	16日	1:56
		厚岸町	15日	20:45	0:16	16日	0:30
		釧路町	15日	20:40	0:11	16日	0:30
		釧路市	15日	20:45	0:16	15日	23:40
		白糠町	15日	20:50	0:21	16日	0:00
太平洋沿岸 津波警報発表地域平均		—	—	0:08	—	—	
平 均		—	—	0:12	—	—	

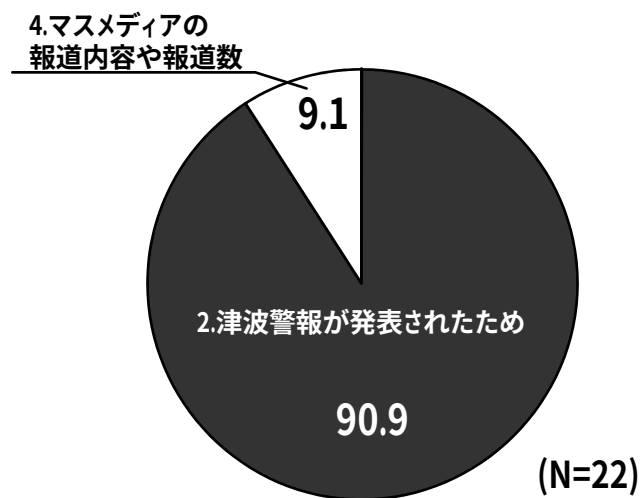
※1. 経過時間は、津波警報発表時刻からの経過時間を示す。

※2. 上記の経過時間は、警報発表からの災害対策本部の設置まで時間を示す。

問19 災害対策本部を開設した決め手となったものは何でしたか。(1つ)

全体

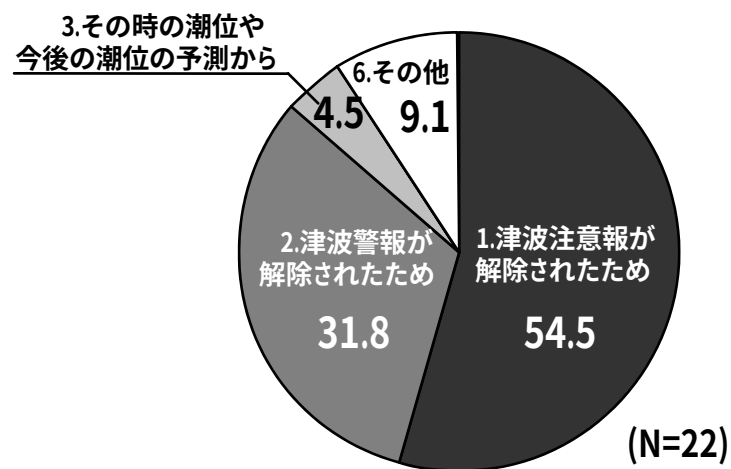
	度数	構成比(%)
1.津波注意報が発表されたため	0	0.0
2.津波警報が発表されたため	20	90.9
3.その時点の潮位や今後の潮位の予測から	0	0.0
4.マスメディアの報道内容や報道数	2	9.1
5.住民からの通報内容や通報数	0	0.0
6.その他	0	0.0
計	22	100.0
非該当	29	
合計	51	



問20 災害対策本部を解散した決め手となったものは何でしたか。(1つ)

全体

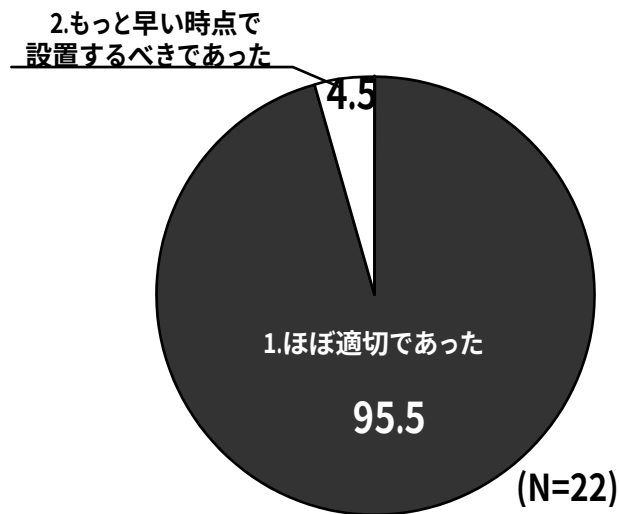
	度数	構成比(%)
1.津波注意報が解除されたため	12	54.5
2.津波警報が解除されたため	7	31.8
3.その時の潮位や今後の潮位の予測から	1	4.5
4.マスメディアの報道内容や報道数	0	0.0
5.住民からの通報内容や通報数	0	0.0
6.その他	2	9.1
計	22	100.0
非該当	29	
合計	51	



問21 今回の災害対策本部の設置のタイミング(時刻等)については、どのように自己評価されていますか。

全体

	度数	構成比(%)
1.ほぼ適切であった	21	95.5
2.もっと早い時点で設置すべきであった	1	4.5
3.もっと後でもよかった	0	0.0
4.過剰な対応であったかもしれない	0	0.0
計	22	100.0
非該当	29	
合計	51	



問22 問21で2,3と回答した方にお聞きします。何日の何時頃に設置すればよかった、あるいはこのような状況になったときに設置すればよかった、という目安があればご記入ください。

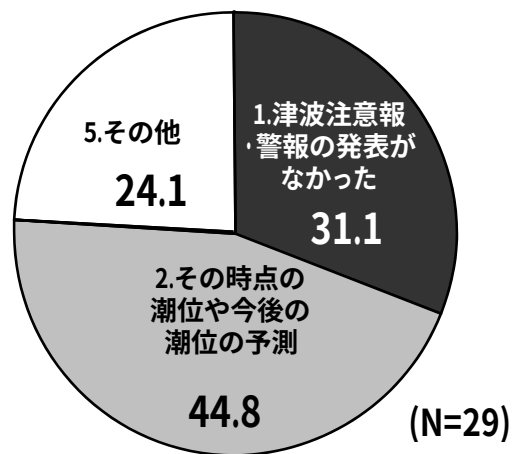
区分	市町村名	回 答
津波警報発表地域① 予想高さ2m	稚内市	
	猿払村	
	浜頓別町	
	枝幸町	
	雄武町	
	興部町	
	紋別市	
	湧別町	
	佐呂間町	
	北見市	
津波警報発表地域② 予想高さ1m	網走市	
	小清水町	津波警報発令後、すみやかに設置すべきであった。
	斜里町	津波警報発令と同時に設置した方が良かった。
	羅臼町	
	標津町	
	別海町	
	根室市	
	浜中町	
	厚岸町	
	釧路町	
津波注意報発表地域 予想高さ50cm	釧路市	
	白糠町	
	浦幌町	
	豊頃町	
	大樹町	
	広尾町	
	えりも町	
	様似町	
	浦河町	
	新ひだか町	
	新冠町	
	日高町	
	むかわ町	
	厚真町	
	苫小牧市	
	白老町	
	登別市	
	室蘭市	
	伊達市	
	洞爺湖町	
	豊浦町	
	長万部町	
	八雲町	
	森町	
	鹿部町	
	函館市	
	北斗市	
	木古内町	
	知内町	
	福島町	
	松前町	

※問23は、問21で4と回答した方がいないため、除外する。

問24 災害対策本部を設置しなかった最大の理由はなんですか。(1つ)

全体

	度数	構成比 (%)
1.津波注意報・警報の発表がなかった	9	31.1
2.その時点の潮位や今後の潮位の予測	13	44.8
3.マスメディアの報道内容や報道数	0	0.0
4.住民からの通報内容や通報数	0	0.0
5.その他	7	24.1
計	29	100.0
非該当	22	
合計	51	



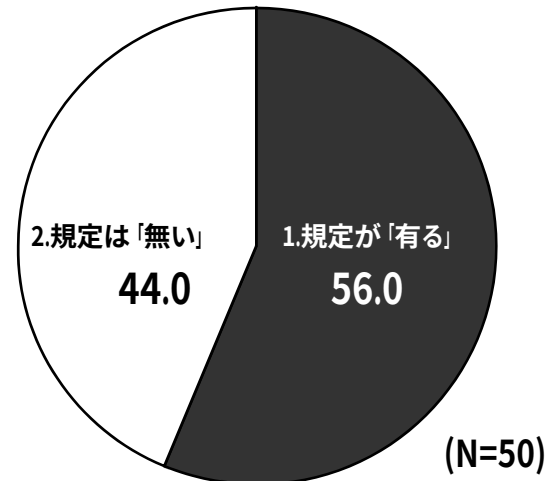
4. 今回の地震に際しての、避難勧告・避難指示と住民の避難状況についてお聞きします。

問25 避難勧告・避難指示の発令基準の有無についてお伺いします。

(1) 避難勧告・避難指示の発令基準や意思決定プロセスの規定はありますか

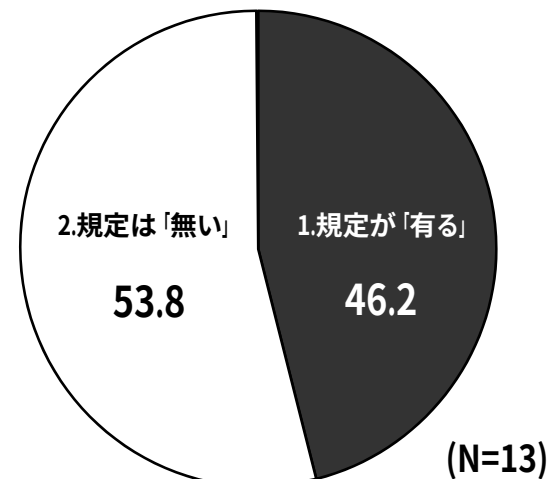
全体

	度数	構成比(%)
1.規定が「有る」	28	56.0
2.規定は「無い」	22	44.0
計	50	100.0
無回答	1	
合計	51	



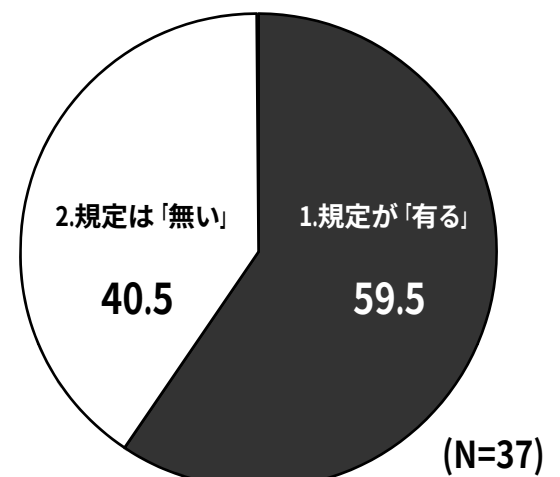
オホーツク海側

	度数	構成比(%)
1.規定が「有る」	6	46.2
2.規定は「無い」	7	53.8
計	13	100.0



太平洋側

	度数	構成比(%)
1.規定が「有る」	22	59.5
2.規定は「無い」	15	40.5
計	37	100.0
無回答	1	
合計	38	

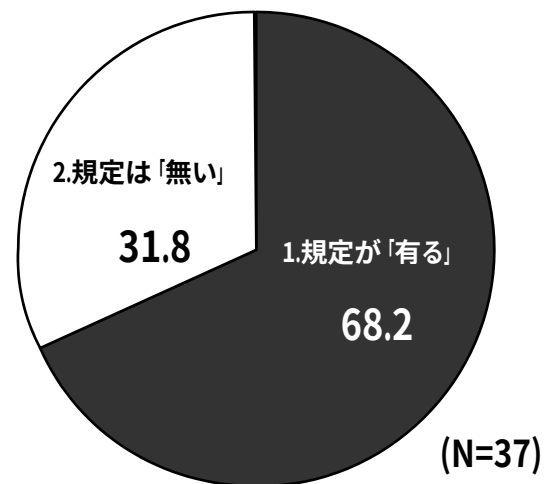


問25 避難勧告・避難指示の発令基準の有無についてお伺いします。

(1) 避難勧告・避難指示の発令基準や意思決定プロセスの規定はありますか

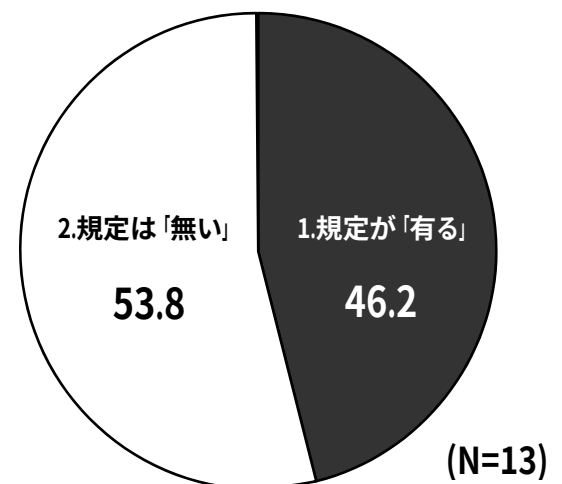
津波警報発表地域（全体）

	度数	構成比 (%)
1.規定が「有る」	15	68.2
2.規定は「無い」	7	31.8
計	22	100.0



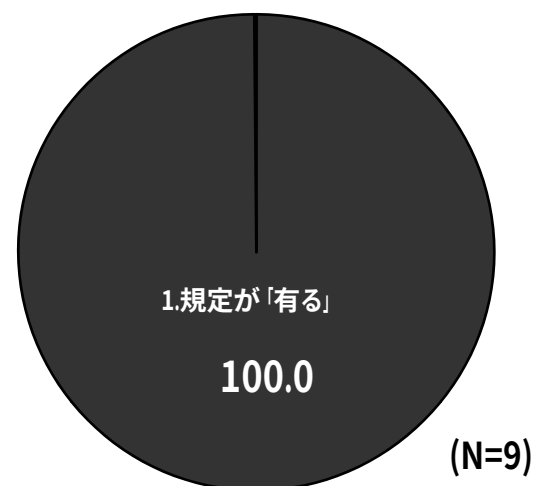
津波警報発表地域（オホーツク海側）

	度数	構成比 (%)
1.規定が「有る」	6	46.2
2.規定は「無い」	7	53.8
計	13	100.0



津波警報発表地域（太平洋側）

	度数	構成比 (%)
1.規定が「有る」	9	100.0
2.規定は「無い」	0	0.0
計	9	100.0



問25 避難勧告・避難指示の発令基準の有無についてお伺いします。

(2) 避難勧告・避難指示の発令基準や意思決定プロセスの規定がある場合、その基準または規定を以下に記入してください。

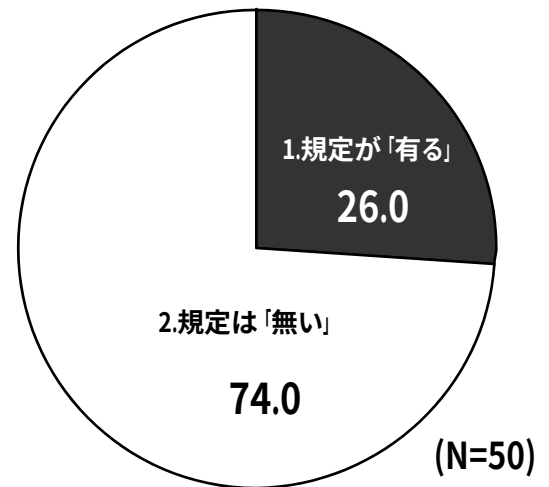
区分	市町村名	回 答
津波警報発表地域① 到達高さ2m	稚内市	避難勧告…大雨、暴風、洪水の警報等が発令され、避難の準備又は事前に避難を要すると判断されたとき。 避難指示…事前避難のいとまがない場合(地震、津波等による被災の危険が目前に切迫していると判断される時)。
	猿払村	
	浜頓別町	津波予報が発令された場合又は津波の発生するおそれがある場合
	枝幸町	・津波警報発令 → 避難勧告 ・大津波警報発令 → 避難指示
	雄武町	津波警報が発表されたとき、又は海面監視により異常現象を発見したときは、直ちに沿岸住民に対し、避難の勧告、指示を行なうとともに、その周知徹底を図る。
	興部町	
	紋別市	
	湧別町	
	佐呂間町	1. 事前避難 (ア) 大雨、暴風、洪水の警報が発令され、避難準備あるいは避難を要すると判断される時 (イ) 河川が警戒水位を突破し、なお水位が上昇するおそれがあるとき (ウ) その他諸般の状況から避難の準備をし、又は避難する必要があると認められるとき 2. 緊急避難 地震、火災、洪水等による被害の危険が目前に切迫していると判断され、事前避難のいとまがない場合は、至近の安全な場所に緊急避難させる
	北見市	
	網走市	
	小清水町	
津波警報発表地域② 到達高さ1m	斜里町	①大雨、暴風、洪水の警報が発令され避難の準備をし、又は事前に避難を要すると判断されたとき。 ②河川が警戒水位を突破し、なお水位が上昇するおそれがあるとき。 ③その他諸般の状況から避難の準備をし、又は避難する必要があると認められるとき。 ④津波警報が発令されたとき。
	羅臼町	津波警報の場合は、避難勧告。大津波警報の場合は避難指示を行うと当町の防災計画に定められている。
	標津町	今回については、津波警報が発令されたこと
	別海町	津波警報発令 ～ 避難勧告 大津波警報発令 ～ 避難指示
	根室市	津波警報が発令された場合に避難指示(2m以上)・勧告(1m)を発令する
	浜中町	津波注意報、警報発表時は避難勧告。 大津波警報は避難指示
	厚岸町	[厚岸町地域防災計画第6章第1節7] (1)避難の勧告 津波等の予警報が発令された場合又は発生するおそれがある場合に勧告し、…。 (2)避難の指示及び誘導 町長は、避難の時機を失しないよう速やかに行うものとし、…。
	釧路町	1. 津波警報が発せられた場合。 2. 避難の必要が予想される各種警報が発せられ、避難の準備又は事前に避難を要すると判断した場合。 3. 火災の同時多発、がけ崩れ、津波等の発生により人名に及ぼす危険が著しく大きいと予想される場合。 4. その他、住民の生命又は身体を災害から保護するため必要と認められた場合。
	釧路市	1.津波警報が発せられた場合。2.避難の必要が予想とされる各種予警報(津波警報を除く。)が発せられ、避難の準備又は事前に避難を要すると判断した場合。3.強い地震を感知し、かつ、各種予警報が入手できない場合において、避難の準備又は事前に避難を要すると判断した場合。4.火災の同時多発、がけ崩れ、津波等の発生により、人命に及ぼす危険が著しく大きいと予想される場合。5.その他、市民の生命又は身体を災害から保護するため必要と認められる場合
	白糠町	津波警報及び大津波警報が発令されるとNHKとの協定により、避難勧告が発令となる。 避難指示の基準はない。
津波注意報発表地域 到達高さ50cm	浦幌町	津波注意報・警報等が発表され、事前に避難を要すると判断される時。
	豊頃町	
	大樹町	震度5弱・強、津波警報発表と同時に避難勧告の発令(本部設置)
	広尾町	津波警報が発表されたとき。
	えりも町	
	様似町	地震及び津波に関しては、避難勧告は「震度6強以上の地震発生」「津波警報」、避難指示は「震度7以上の地震発生」「大津波警報」と定められている。
	浦河町	津波警報発令と同時に勧告
	新ひだか町	
	新冠町	津波警報発令に伴い避難勧告を行う。
	日高町	津波警報と同時に、沿岸周辺に避難勧告を発令することとしている
	むかわ町	津波警報が発表されたとき
	厚真町	
	苫小牧市	大津波警報が発表された場合、自動的に避難勧告を発令する
	白老町	
	登別市	
	室蘭市	津波警報、大津波警報が発令された場合、警戒本部を設置し、勧告・指示の発令を検討する。
	伊達市	
	洞爺湖町	
	豊浦町	
	長万部町	
	八雲町	
	森町	
	鹿部町	町長は、地震の発生により住民に危険が切迫していると認めた時は、危険地帯の住民に対し、速やかに避難先を明示して立ち退き勧告又は指示をする。
	函館市	津波警報時に発令
	北斗市	
	木古内町	
	知内町	津波警報以上の発令による
	福島町	
	松前町	

問25 避難勧告・避難指示の発令基準の有無についてお伺いします。

(3) 避難対象区域・避難対象世帯の判断基準は規定されていますか

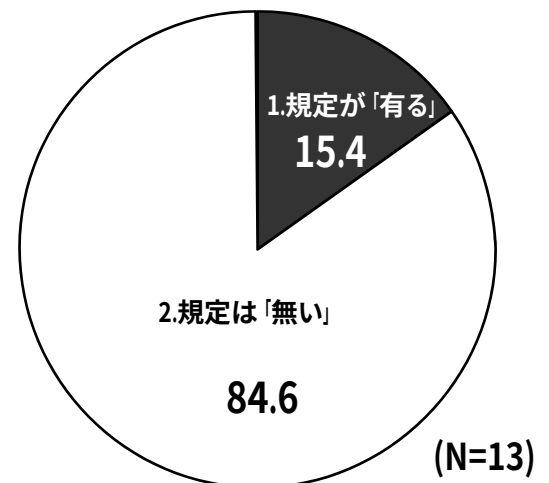
全体

	度数	構成比(%)
1.規定が「有る」	13	26.0
2.規定は「無い」	37	74.0
計	50	100.0
無回答	1	
合計	51	



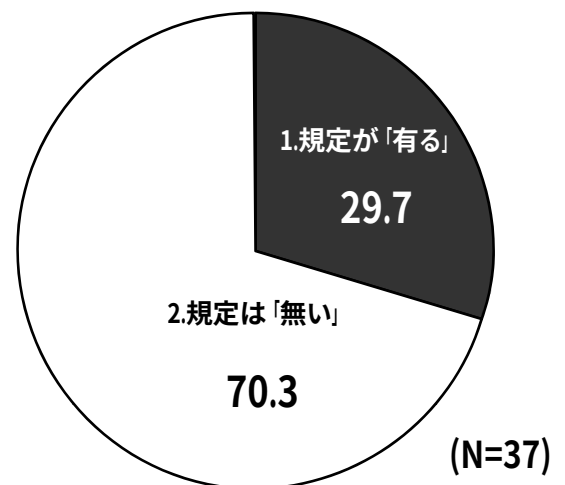
オホーツク海側

	度数	構成比(%)
1.規定が「有る」	2	15.4
2.規定は「無い」	11	84.6
計	13	100.0



太平洋側

	度数	構成比(%)
1.規定が「有る」	11	29.7
2.規定は「無い」	26	70.3
計	37	100.0
無回答	1	
合計	38	

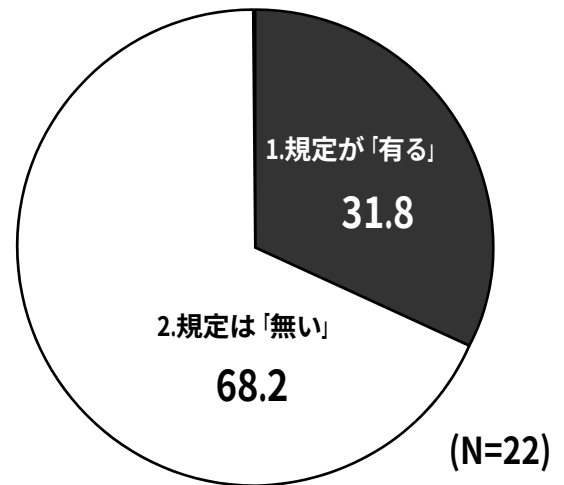


問25 避難勧告・避難指示の発令基準の有無についてお伺いします。

(3) 避難対象区域・避難対象世帯の判断基準は規定されていますか

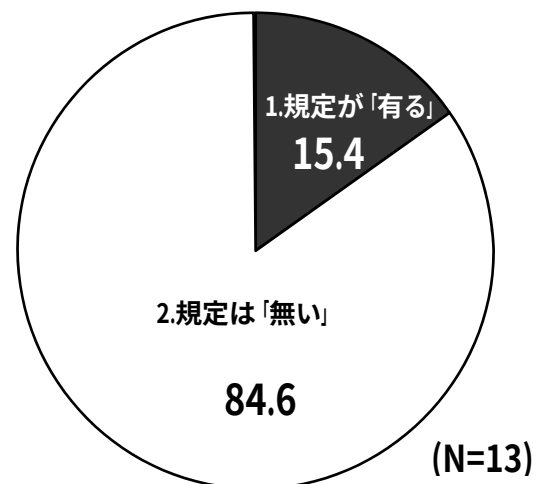
津波警報発表地域（全体）

	度数	構成比(%)
1.規定が「有る」	7	31.8
2.規定は「無い」	15	68.2
計	22	100.0



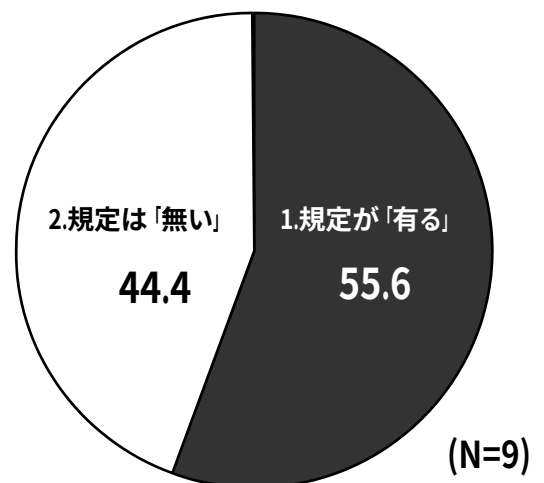
津波警報発表地域（オホーツク海側）

	度数	構成比(%)
1.規定が「有る」	2	15.4
2.規定は「無い」	11	84.6
計	13	100.0



津波警報発表地域（太平洋側）

	度数	構成比(%)
1.規定が「有る」	5	55.6
2.規定は「無い」	4	44.4
計	9	100.0



問25 避難勧告・避難指示の発令基準の有無についてお伺いします。

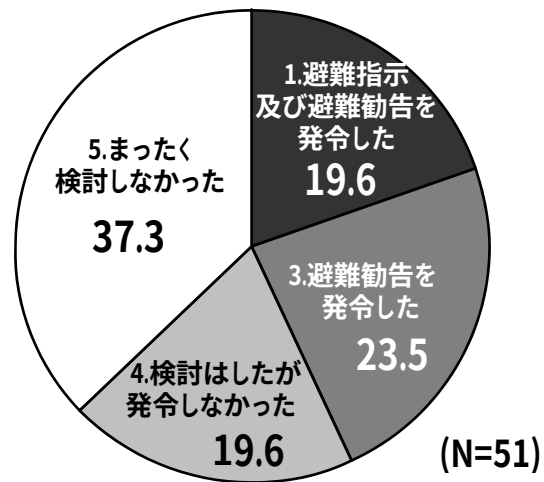
(4) 避難対象区域・避難対象世帯の判断基準が有る場合、その基準を以下に記入してください。

区分	市町村名	回 答
津波警報発表地域① 到達高さ2m	稚内市	
	猿払村	
	浜頓別町	
	枝幸町	
	雄武町	高波・高潮・津波等の危険区域 沿岸住民
	興部町	
	紋別市	
	湧別町	
	佐呂間町	本町に居住している(住民登録している)方
	北見市	
	網走市	
	小清水町	
	斜里町	
	羅臼町	
津波警報発表地域② 到達高さ1m	標津町	今回は町内全域に避難勧告を行なったが、特に海岸域の住民に対して避難を促した
	別海町	
	根室市	市内全域
	浜中町	海岸地区全世帯
	厚岸町	[厚岸町地域防災計画第5章第4節1(4)ア] c高潮、津波時の緊急避難場所 津波予報が発令された場合、津波発生のおそれがある場合又は津波が発生した場合に、町民が迅速に避難し危険回避ができる場所として、海拔10メートル以上の高台にある施設、駐車場等を高潮、津波時の緊急避難場所として指定する。
	釧路町	
	釧路市	本市が実施した津波対策調査(1993年度実施)に基づく浸水予想区域を「津波避難対象地域」として指定している。
津波注意報発表地域 到達高さ50cm	白糠町	
	浦幌町	
	豊頃町	
	大樹町	字晩成(一部)・字浜大樹及び字旭(全世帯)
	広尾町	
	えりも町	
	様似町	地震に関しては町内全域、津波に関しては沿岸地域と定められている
	浦河町	
	新ひだか町	
	新冠町	沿岸地域の8自治会
	日高町	
	むかわ町	沿岸地域に居住(本町の場合、汐見・晴海地区)
	厚真町	海岸線周辺の住居等
	苫小牧市	
	白老町	
	登別市	
	室蘭市	
	伊達市	
	洞爺湖町	前浜(虻田～入江)383戸、前浜(大磯)18戸
	豊浦町	
	長万部町	
	八雲町	
	森町	
	鹿部町	
	函館市	
	北斗市	
	木古内町	
	知内町	
	福島町	
	松前町	

問26 今回，避難勧告，または避難指示を発令しましたか。

全体

	度数	構成比 (%)
1.避難指示及び避難勧告を発令した	10	19.6
2.避難指示を発令した	0	0.0
3.避難勧告を発令した	12	23.5
4.検討はしたが発令しなかった	10	19.6
5.まったく検討しなかった	19	37.3
計	51	100.0



問27 避難勧告・避難指示を出したのは何日の何時でしたか。

問33 避難勧告・避難指示を解除し始めた日時、ならびにすべての避難勧告・避難指示を解除した日時は何日の何時でしたか。

全体

地域	支庁	市町村名	平成18年11月15日千島列島を震源とする地震						
			地震発生時刻						20:15
			津波警報発表時刻						20:29
			津波警報解除			オホーツク海側		23:30	
						太平洋側			
			津波注意報解除			オホーツク海側		0:32	
						太平洋側		1:30	
避難勧告・指示を発令した時間			避難勧告・指示を解除し始めた時間		避難勧告・指示を全て解除した時間				
日時		経過時間	日時		日時				
オホーツク海側	宗谷支庁	稚内市	15日	20:45	0:16	16日	0:00	16日	0:00
		猿払村	15日	20:39	0:10	15日	23:50	15日	23:50
		浜頓別町	15日	20:50	0:21	15日	23:55	15日	23:55
		枝幸町	15日	20:30	0:01	15日	23:30	15日	23:30
	網走支庁	雄武町	15日	20:56	0:27	16日	0:00	16日	0:00
		興部町	15日	21:30	1:01	15日	23:33	15日	23:33
		紋別市	15日	20:45	0:16	16日	0:00	16日	0:00
		湧別町	15日	20:50	0:21	16日	0:05	16日	0:05
		佐呂間町	15日	20:40	0:11	15日	23:30	15日	23:30
		北見市	15日	20:50	0:21	15日	23:45	15日	23:45
		網走市	15日	20:50	0:21	15日	23:32	15日	23:32
		小清水町	15日	20:54	0:25	15日	23:45	15日	23:45
		斜里町	15日	20:45	0:16	15日	23:45	15日	23:45
		オホーツク海側平均		—	—	0:20	—	—	—
太平洋側	根室支庁	羅臼町	15日	20:49	0:20	16日	1:40	16日	1:40
		標津町	15日	20:40	0:11	—	—	15日	23:43
		別海町	15日	20:36	0:07	15日	23:54	15日	23:54
		根室市	15日	20:33	0:04	15日	23:45	15日	23:45
	釧路支庁	浜中町	15日	20:33	0:04	16日	1:30	16日	1:30
		厚岸町	15日	20:53	0:24	15日	23:50	15日	23:50
		釧路町	15日	20:35	0:06	15日	23:30	15日	23:50
		釧路市	15日	20:29	0:00	15日	23:29	15日	23:30
		白糠町	15日	20:38	0:09	15日	23:30	15日	23:30
太平洋側平均		—	—	0:09	—	—	—	—	
平均		—	—	0:16	—	—	—	—	

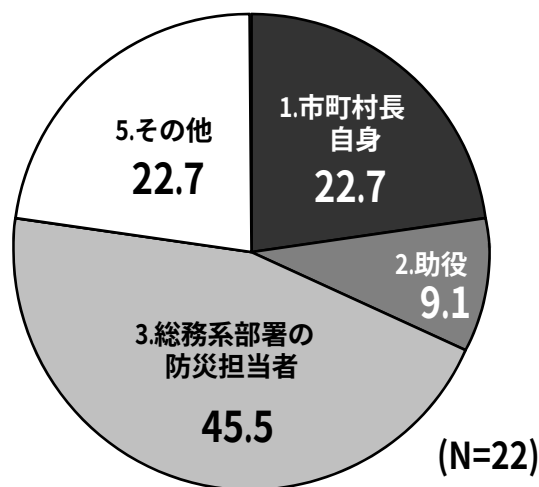
※1. 経過時間は、津波警報発表時刻からの経過時間を示す。

※2. 上記の経過時間は、警報発表からの避難勧告または指示の発令まで時間を示す。

問28 避難勧告・避難指示の発令は首長の権限ですが、実務的な観点から見て、発令の必要性を判断し、それを首長に進言したのは誰(あるいは部署)でしたか。

全体

	度数	構成比 (%)
1.市町村長自身	5	22.7
2.助役	2	9.1
3.総務系部署の防災担当者	10	45.5
4.土木建築系部署の防災担当者	0	0.0
5.その他	5	22.7
計	22	100.0
非該当	29	
合計	51	



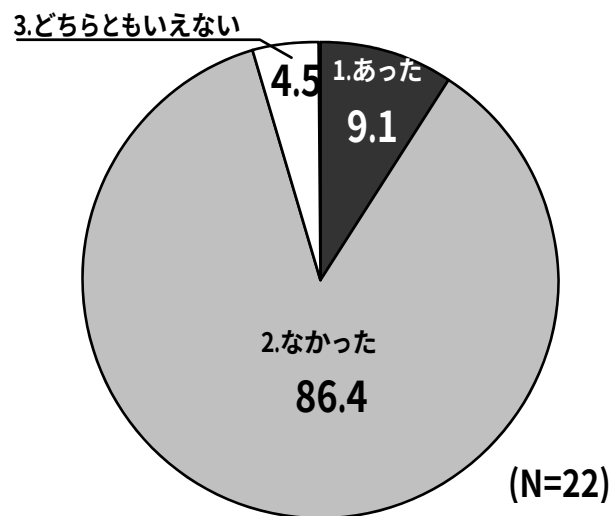
※5.その他の回答

- ・村長が出張中であつたため
- ・防災計画上、津波警報発令の場合においては、発令と同時に避難勧告することとなっている
- ・津波警報による発令であつたため、基準が明確であり、今回は消防職員が発令を行なった
- ・津波予報発表に伴う避難指示・勧告の発令基準により対応した。
- ・津波注意報、警報発表時は避難勧告、大津波警報発表時は、避難指示を発令することになっている。
- ・津波警報時には、災害対策本部の設置を待たず、速やかに避難勧告を発令することとしている。
- ・NHKとの協定により津波警報、大津波警報が発令された場合は避難勧告が出る。

問29 避難勧告・避難指示を発令するにあたり，その判断をためらったり，迷ったりする要因がありましたか。

全体

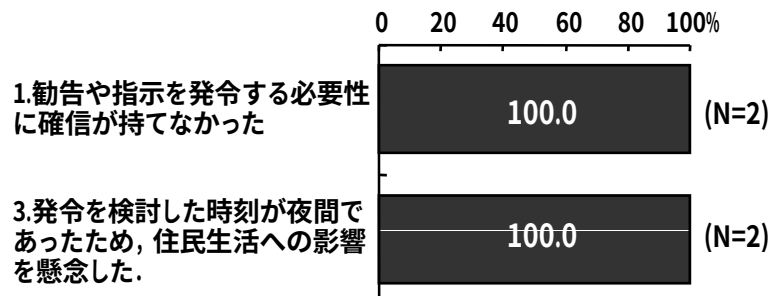
	度数	構成比 (%)
1.あった	2	9.1
2.なかった	19	86.4
3.どちらともいえない	1	4.5
計	22	100.0
非該当	29	
合計	51	



問30 避難勧告・避難指示を発令をためらったり，迷ったりした要因は何でしたか。

全体

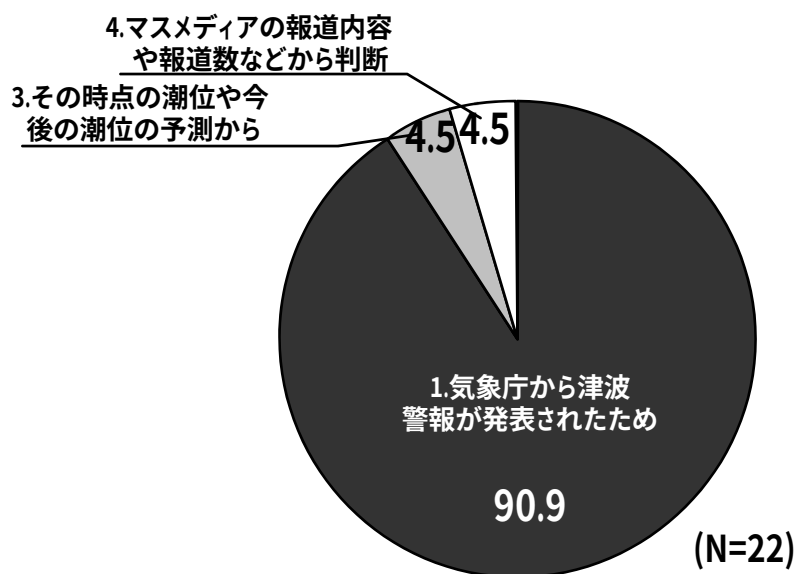
	度数	構成比 (%)
1.勧告や指示を発令する必要性に確信が持てなかった	2	100.0
2.勧告や指示が空振りに終わった場合の住民の反応を危惧した	0	0.0
3.発令を検討した時刻が夜間であったため，住民生活への影響を懸念した.	2	100.0
4.発令を検討した時刻が夜間であったため，住民への伝達方法に迷いがあった	0	0.0
5.発令を検討した時刻が夜間であったため，住民の安全な避難が可能かの判断に迷いがあった	0	0.0
6.今回の発令が夜間かつ冷え込みも厳しかったため，住民の安全な避難に迷いがあった	0	0.0
7.車による避難により，渋滞が発生し迅速な避難ができないことを危惧した	0	0.0
8.住民の避難経路に危険箇所があり，住民の安全な避難が可能かの判断に迷いがあった	0	0.0
9.その他	0	0.0
サンプル数	2	—
非該当	49	
合計	51	



問31 避難勧告・避難指示発令の決め手となったものは何でしたか。(1つ)

全体

	度数	構成比 (%)
1.気象庁から津波警報が発表されたため	20	90.9
2.気象庁から津波注意報が発表されたため	0	0.0
3.その時点の潮位や今後の潮位の予測から	1	4.5
4.マスメディアの報道内容や報道数などから判断	1	4.5
5.住民からの通報内容や通報数などから判断して	0	0.0
6.その他	0	0.0
計	22	100.0
非該当	29	
合計	51	



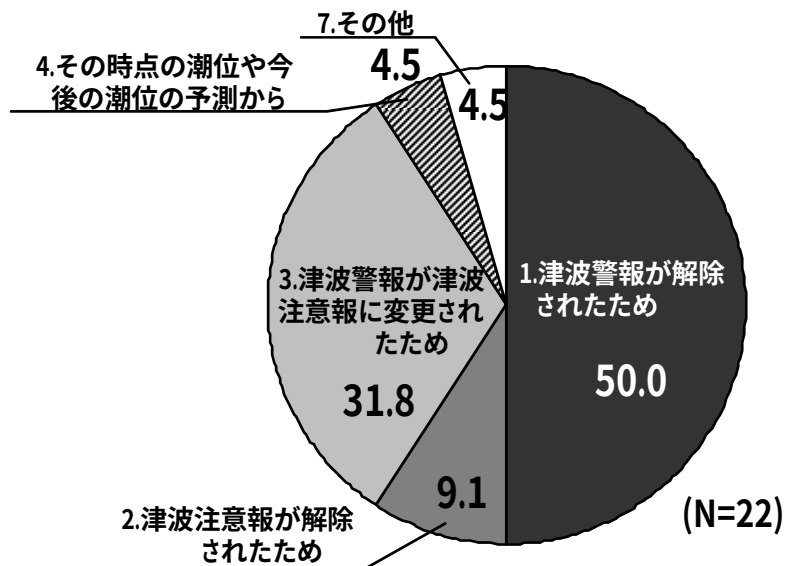
問32 津波警報が出され避難指示ではなく避難勧告を発令した市町村にお聞きします。避難指示ではなく避難勧告とした理由は何ですか。

区分	市町村名	回 答
津波警報発表地域① 到達高さ2m	椎内市	
	猿払村	
	浜頓別町	大津波警報ではなかったため
	枝幸町	町防災計画において、津波警報の場合は避難勧告と定められている。
	雄武町	オホーツク海沿岸に、津波警報が発表され、高い所で2M程度の津波が予想されたため。
	興部町	
	紋別市	気象台の予報において、2段階目の津波警報と発令された為
	湧別町	
	佐呂間町	本町にはオホーツク海に隣接した地域がないことから、避難指示ではなく避難勧告を発令した
	北見市	気象台からの情報が、大津波警報ではなかったため。
津波警報発表地域② 到達高さ1m	網走市	市民の混乱を避けるために指示ではなく勧告とした。
	小清水町	波の高さが2mの予想であり、この高さからして指示までの必要はないと判断したため。
	斜里町	地域防災計画上、避難指示と勧告の区分がされていないこともあり、まず勧告を発令し、その後の状況によって指示に切り替える予定であった。
	羅臼町	津波警報発令の場合は避難勧告と定めていた為
	標津町	津波警報＝避難勧告と決めているから
	別海町	地域防災計画で定めており、避難勧告を発令した。
	根室市	当市の判断基準により、津波警報で「津波の高さが1m」の場合は、避難勧告の発令と定めているため
	浜中町	津波注意報・警報発表時は避難勧告、大津波警報発表時は避難指示と内規で決めている。 (津波警報津波高2m、大津波警報津波高3m以上前提としている)
	厚岸町	気象庁による「津波の高さの予測」が1mであったため。
	釧路町	町防災計画の発令基準に達していないため。
津波注意報発表地域 到達高さ50cm	釧路市	今回の津波警報は、危険が目前に切迫した状態ではないと判断したため、避難勧告とした。また、避難指示は、避難場所を特定しなければならず、今回のケースでは困難だった。
	白糠町	白糠町の震度は2で地震の揺れが小さく、津波の予想する高さが1m位である事から
	浦幌町	
	豊頃町	
	大樹町	
	広尾町	
	えりも町	
	様似町	
	浦河町	
	新ひだか町	
	新冠町	
	日高町	
	むかわ町	
	厚真町	
	苫小牧市	
	白老町	
	登別市	
	室蘭市	
	伊達市	
	洞爺湖町	
	豊浦町	
	長万部町	
	八雲町	
	森町	
	鹿部町	
	函館市	
	北斗市	
	木古内町	
	知内町	
	福島町	
	松前町	

問34 避難勧告・避難指示解除の判断の決め手となったものはなんですか。(1つ)

全体

	度数	構成比 (%)
1.津波警報が解除されたため	11	50.0
2.津波注意報が解除されたため	2	9.1
3.津波警報が津波注意報に変更されたため	7	31.8
4.その時点の潮位や今後の潮位の予測から	1	4.5
5.マスメディアの報道内容や報道数などから判断	0	0.0
6.住民からの通報内容や通報数などから判断	0	0.0
7.その他	1	4.5
計	22	100.0
非該当	29	
合計	51	

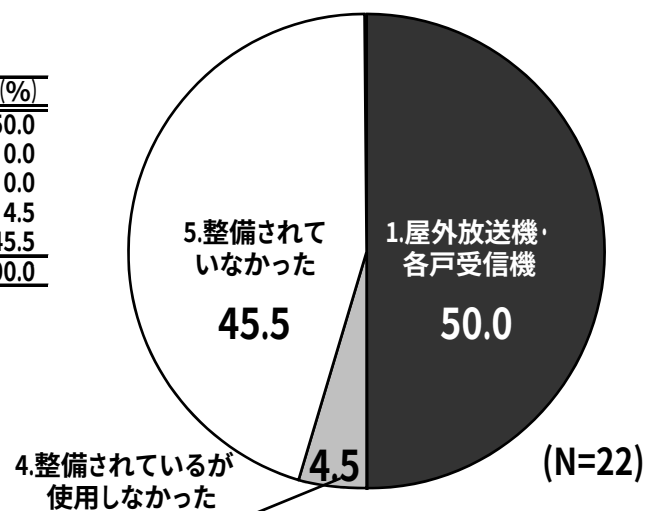


問35 今回の避難勧告・避難指示の住民への伝達・広報をどのような手段で行いましたか。

(1) 防災行政無線による放送について、お聞きます。

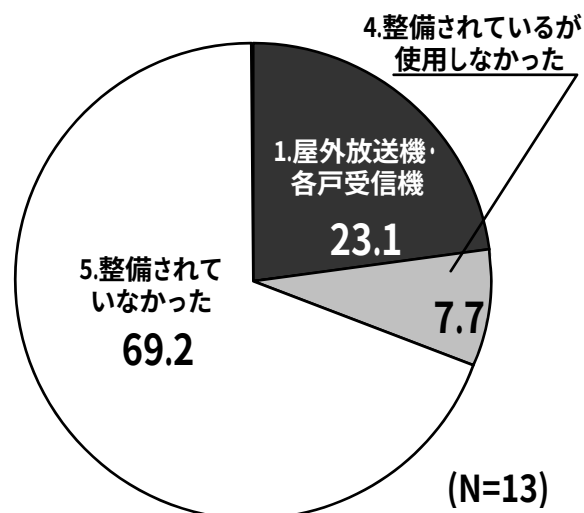
津波警報発表地域（全体）

	度数	構成比 (%)
1.屋外放送機・各戸受信機	11	50.0
2.屋外受信機	0	0.0
3.各戸受信機	0	0.0
4.整備されているが使用しなかった	1	4.5
5.整備されていないかった	10	45.5
計	22	100.0



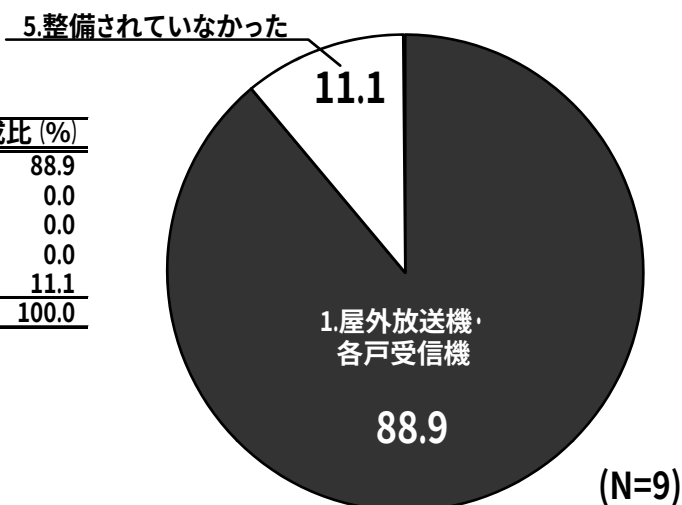
津波警報発表地域（オホーツク海側）

	度数	構成比 (%)
1.屋外放送機・各戸受信機	3	23.1
2.屋外受信機	0	0.0
3.各戸受信機	0	0.0
4.整備されているが使用しなかった	1	7.7
5.整備されていないかった	9	69.2
計	13	100.0



津波警報発表地域（太平洋側）

	度数	構成比 (%)
1.屋外放送機・各戸受信機	8	88.9
2.屋外受信機	0	0.0
3.各戸受信機	0	0.0
4.整備されているが使用しなかった	0	0.0
5.整備されていないかった	1	11.1
計	9	100.0

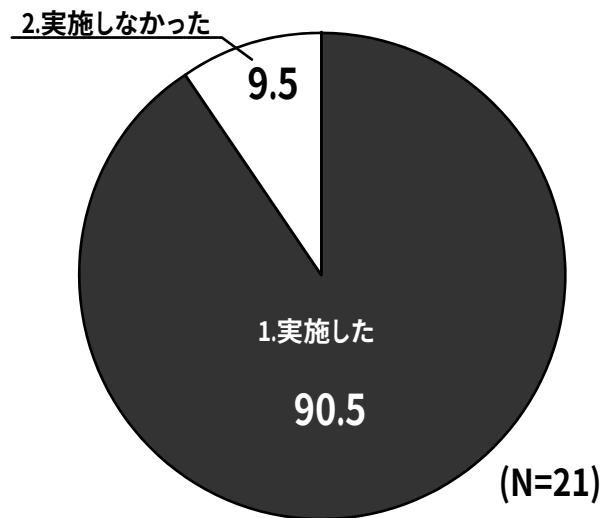


問35 今回の避難勧告・避難指示の住民への伝達・広報をどのような手段で行いましたか。

(2) 広報車による巡回放送について、お聞きます。

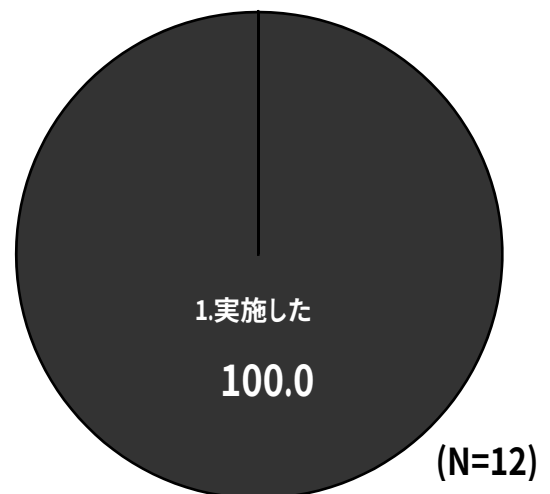
津波警報発表地域（全体）

	度数	構成比 (%)
1.実施した	19	90.5
2.実施しなかった	2	9.5
計	21	100.0
無回答	1	
合計	22	



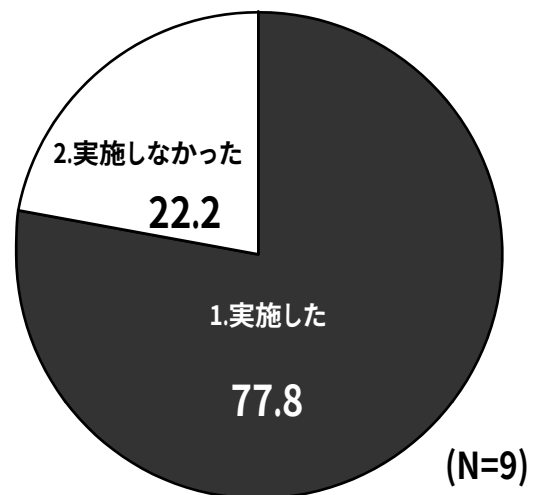
津波警報発表地域（オホーツク海側）

	度数	構成比 (%)
1.実施した	12	100.0
2.実施しなかった	0	0.0
計	12	100.0
無回答	1	
合計	13	



津波警報発表地域（太平洋側）

	度数	構成比 (%)
1.実施した	7	77.8
2.実施しなかった	2	22.2
計	9	100.0

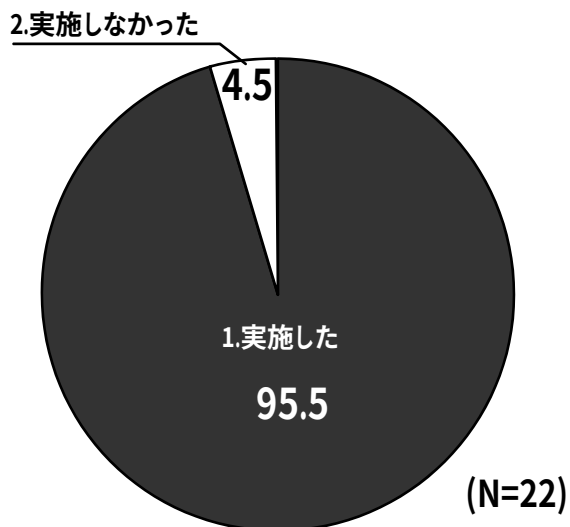


問35 今回の避難勧告・避難指示の住民への伝達・広報をどのような手段で行いましたか。

(3) 消防団や自主防災組織による巡回連絡について、お聞きます。

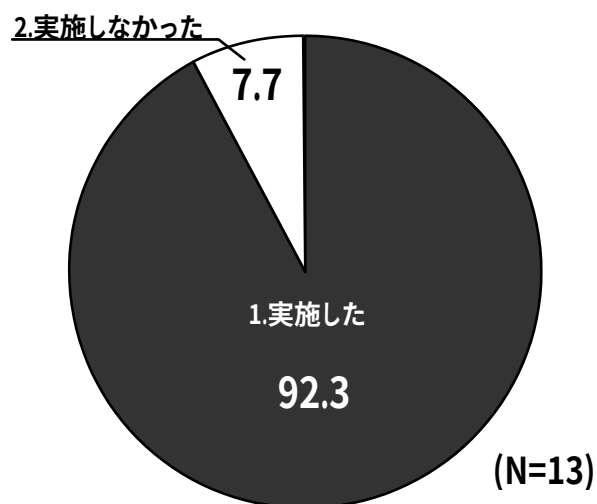
津波警報発表地域（全体）

	度数	構成比 (%)
1.実施した	21	95.5
2.実施しなかった	1	4.5
計	22	100.0



津波警報発表地域（オホーツク海側）

	度数	構成比 (%)
1.実施した	12	92.3
2.実施しなかった	1	7.7
計	13	100.0



津波警報発表地域（太平洋側）

	度数	構成比 (%)
1.実施した	9	100.0
2.実施しなかった	0	0.0
計	9	100.0

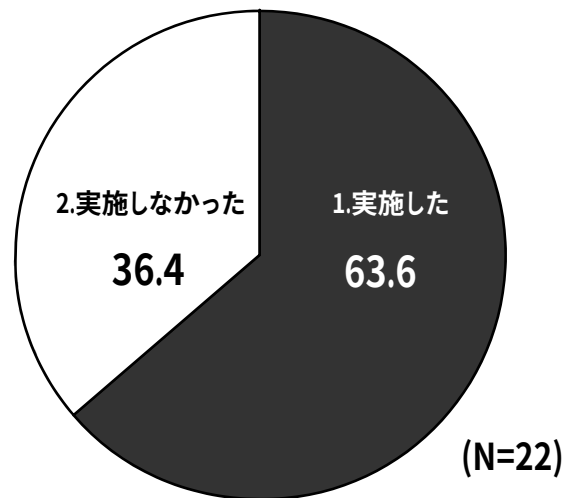


問35 今回の避難勧告・避難指示の住民への伝達・広報をどのような手段で行いましたか。

(4) 役場から直接または自治会長などを経由しての一般回線電話連絡について、お聞きます。

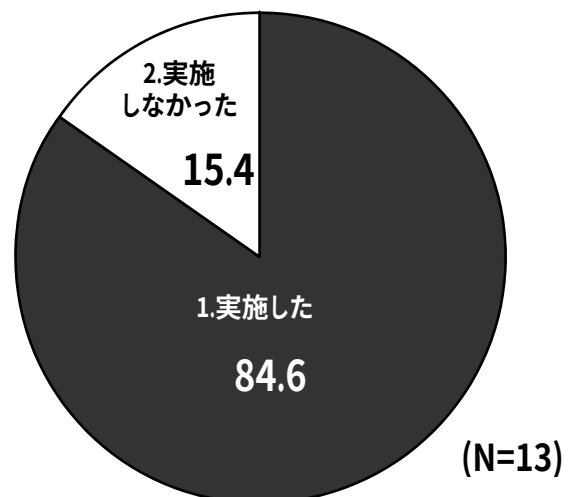
津波警報発表地域（全体）

	度数	構成比(%)
1.実施した	14	63.6
2.実施しなかった	8	36.4
計	22	100.0



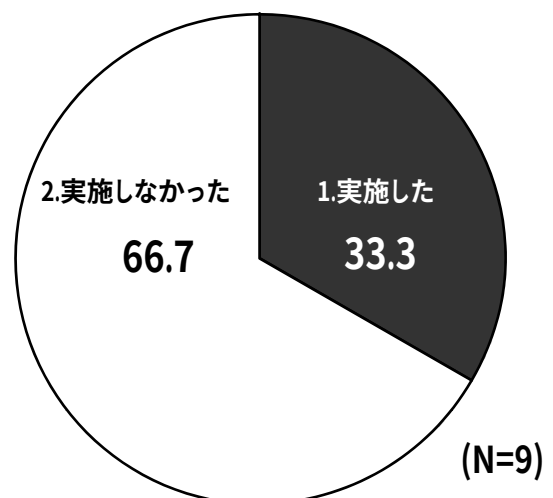
津波警報発表地域（オホーツク海側）

	度数	構成比(%)
1.実施した	11	84.6
2.実施しなかった	2	15.4
計	13	100.0



津波警報発表地域（太平洋側）

	度数	構成比(%)
1.実施した	3	33.3
2.実施しなかった	6	66.7
計	9	100.0

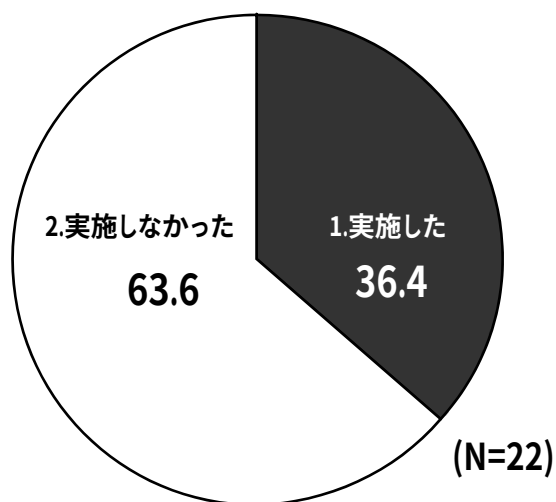


問35 今回の避難勧告・避難指示の住民への伝達・広報をどのような手段で行いましたか。

(5) 電子メールやホームページ、掲示板などによる連絡について、お聞きます。

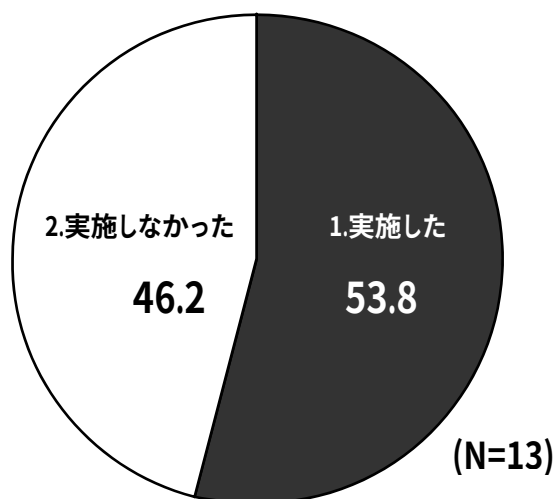
津波警報発表地域（全体）

	度数	構成比 (%)
1.実施した	8	36.4
2.実施しなかった	14	63.6
計	22	100.0



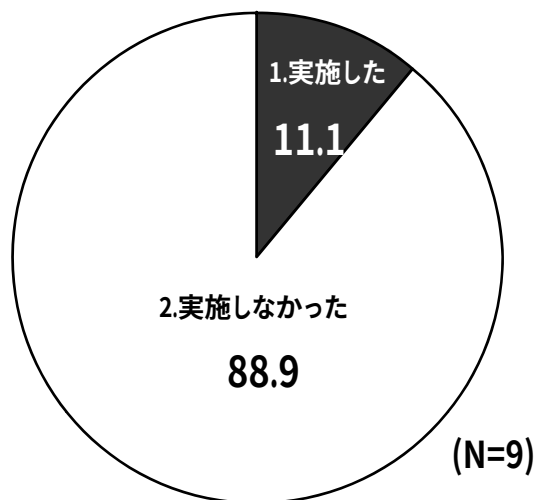
津波警報発表地域（オホーツク海側）

	度数	構成比 (%)
1.実施した	7	53.8
2.実施しなかった	6	46.2
計	13	100.0



津波警報発表地域（太平洋側）

	度数	構成比 (%)
1.実施した	1	11.1
2.実施しなかった	8	88.9
計	9	100.0



問35 今回の避難勧告・避難指示の住民への伝達・広報をどのような手段で行いましたか。

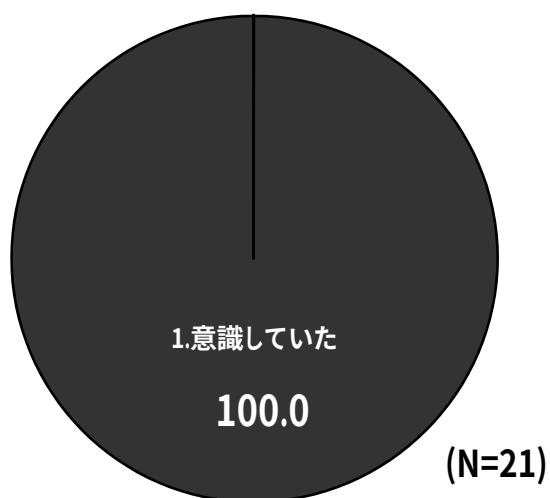
(6) その他手段で情報伝達・広報を行った場合、記入して下さい。

区分	市町村名	回 答
津波警報発表地域① 予想高さ2m	稚内市	稚内市とFMわかかないとの間の防災協定に基づく、緊急割込放送による伝達。
	猿払村	
	浜頓別町	消防によるサイレン吹鳴
	枝幸町	消防用サイレンの吹鳴及び音声による広報、消防署の広報車による巡回
	雄武町	消防団、消防職員による、戸別の避難勧告等。
	興部町	
	紋別市	無線ではないが、消防分団や消防署に配置してあるサイレンを継続的に警笛した。
	湧別町	
	佐呂間町	
	北見市	
	網走市	消防、警察と連携をとり広報の実施
	小清水町	避難勧告地域の消防分署分団のサイレンの吹鳴
	斜里町	放送局を通じて
津波警報発表地域② 予想高さ1m	羅臼町	
	標津町	
	別海町	
	根室市	FM放送による情報伝達の実施
	浜中町	
	厚岸町	
	釧路町	
	釧路市	
	白糠町	消防団緊急伝達システム(消防団員を召集する装置)による広報
津波注意報発表地域 予想高さ50cm	浦幌町	
	豊頃町	
	大樹町	
	広尾町	
	えりも町	
	様似町	
	浦河町	
	新ひだか町	
	新冠町	
	日高町	
	むかわ町	
	厚真町	
	苫小牧市	
	白老町	
	登別市	
	室蘭市	
	伊達市	
	洞爺湖町	
	豊浦町	
	長万部町	
	八雲町	
	森町	
	鹿部町	
	函館市	
	北斗市	
	木古内町	
	知内町	
	福島町	
	松前町	

問36 問35の広報車による巡回放送，消防団や自主防災組織による巡回連絡の項目で，1. 実施したと回答した方にお聞きします。巡回放送や巡回連絡を行っている方の安全確保について，意識していましたか。

津波警報発表地域（全体）

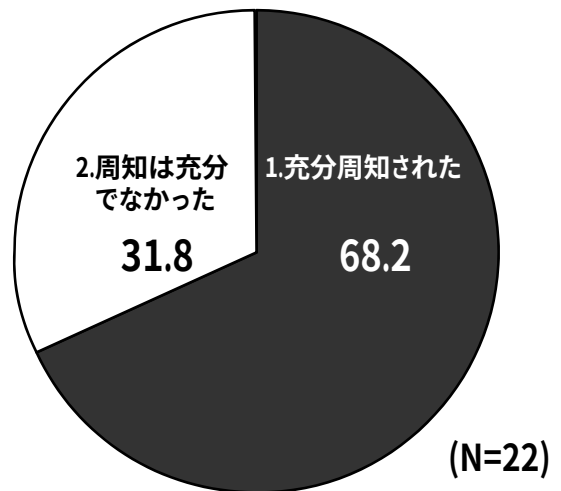
	度数	構成比 (%)
1.意識していた	21	100.0
2.意識してなかった	0	0.0
計	21	100.0
無回答	1	
合計	22	



問37 避難勧告・避難指示発令の周知状況について、どのように自己評価されていますか。

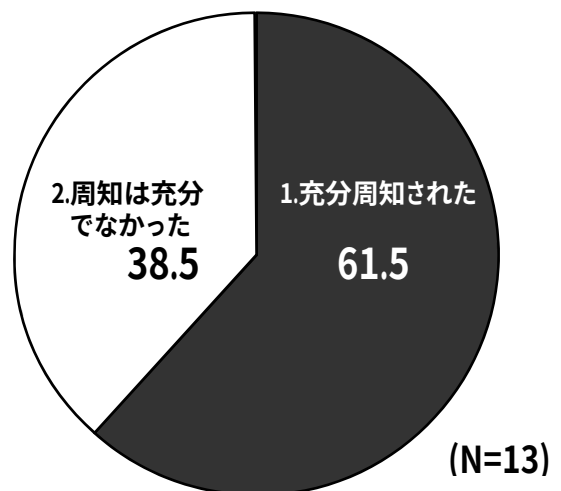
津波警報発表地域（全体）

	度数	構成比 (%)
1.充分周知された	15	68.2
2.周知は充分でなかった	7	31.8
計	22	100.0



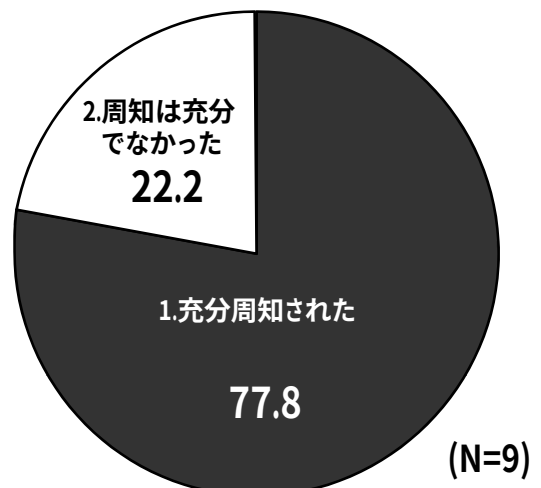
津波警報発表地域（オホーツク海側）

	度数	構成比 (%)
1.充分周知された	8	61.5
2.周知は充分でなかった	5	38.5
計	13	100.0



津波警報発表地域（太平洋側）

	度数	構成比 (%)
1.充分周知された	7	77.8
2.周知は充分でなかった	2	22.2
計	9	100.0



問38 今回の避難勧告・避難指示の伝達において、明らかとなった課題についてご記入ください。

区分	市町村名	回 答
津波警報発表地域① 到達高さ2m	椎内市	避難指示については、伝達できたが、避難勧告については、対象地域が広範囲だったため課題がある。
	猿払村	
	浜頓別町	避難しない者や連絡の取れない者についての対応
	枝幸町	避難勧告の対象世帯がどの区域なのか不明確であったため、避難に不安を覚えた方もいた。
	雄武町	自治会等を中心とした地域住民の連絡体制等を記載した「防災マニュアル」等の必要性
	興部町	
	紋別市	防災行政無線の配備、連絡体制の迅速化や簡素化
	湧別町	広報車による巡回や消防のスピーカーによる放送が聞き取れず、避難の遅れが生じた。
	佐呂間町	
	北見市	勧告、指示の基準及び伝達系統の明確化、津波対策避難所の見直し等。
	網走市	市、消防、警察等の広報地区等を事前に協議し、決めておくこと及び広報車台数の確保。広報車への避難勧告等発令の連絡手段方法、広報内容の原稿整備等
	小清水町	自主防災組織等を活用した伝達方法のマニュアル作成と地域住民への周知の徹底
津波警報発表地域② 到達高さ1m	斜里町	防災無線の老朽化、子局数（屋外拡声器）、広報車の巡回ルート、広報車両の台数
	羅臼町	
	標津町	伝達については、概ね充分だったように思う
	別海町	避難勧告の放送を繰り返し、複数回実施することでより多くの住民に周知できたと思われる。 職員自体も発令基準などを頭に入れ、迅速に対応できなければならない。
	根室市	
	浜中町	
	厚岸町	一部の住民家の防災行政無線受信機において、放送が入らなかったという電話連絡があったことから、平常時の受信状況を再度確認することを周知・啓発したい。
	釧路町	・エリア選択を明確にした徹底周知方法。 ・避難勧告発令時に伴う住民避難誘導の徹底。
	釧路市	避難をしてくださいという広報車による広報を津波浸水区域以外でも実施してまい、住民の混乱を招いてしまった。したがって、広報担当者への適切な広報実施方法の周知が必要である。
	白糠町	広報が聞こえなかった所がある
津波注意報発表地域 到達高さ50cm	浦幌町	
	豊頃町	
	大樹町	
	広尾町	
	えりも町	
	様似町	
	浦河町	
	新ひだか町	
	新冠町	
	日高町	
	むかわ町	
	厚真町	
	苫小牧市	
	白老町	
	登別市	
	室蘭市	
	伊達市	
	洞爺湖町	
	豊浦町	
	長万部町	
	八雲町	
	森町	
	鹿部町	
	函館市	
	北斗市	
	木古内町	
	知内町	
	福島町	
	松前町	

問39 避難世帯、避難対象者数についてお聞きます。

(1) 今回、避難勧告・避難指示の対象となった住民は何世帯でしたか。

(2) 今回、避難勧告・避難指示の対象となった住民は何人でしたか。

問41 避難者数についてお伺いします。

(3) 上記(1)の指定避難所(屋内)に避難した人は何人ですか。

(4) 上記(2)の指定避難所以外の施設(屋内)に避難した人の数がわかればご記入ください。

(5) 上記(3)、(4)以外で屋外や車内などに避難していた人の概数がわかればご記入下さい。

全体

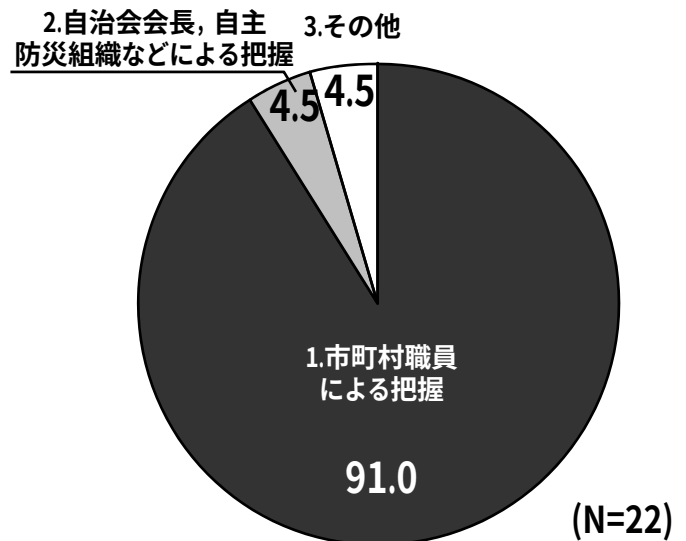
地域	支庁	市町村名	平成18年11月15日 千島列島を震源とする地震							
			勧告 または 指示	対象 世帯 (世帯)	対象 人数 (人)	避難者(人)				避難率 (%)
						指定避難所 の室内	指定避難所 以外の屋内	その他 屋外や車内	合計	
オホーツク海側	宗谷支庁	稚内市	指示 勧告	1,012	2,621	231	0	568	799	30.5
		猿払村	指示	374	1,125	710	—	—	710	63.1
		浜頓別町	勧告	194	520	191	—	297	488	93.8
		枝幸町	勧告	600	2,000	238	550	750	1,538	76.9
	網走支庁	雄武町	勧告	714	1,680	242	39	0	281	16.7
		興部町	勧告	430	1,000	195	—	250	445	44.5
		紋別市	勧告	1,888	4,197	334	0	90	424	10.1
		湧別町	勧告	1,766	4,805	83	200	300	583	12.1
		佐呂間町	勧告	295	732	668	9	—	677	92.5
		北見市	勧告	365	1,017	114	71	165	350	34.4
		網走市	勧告	2,050	4,120	1,238	239	—	1,477	35.8
		小清水町	勧告	166	427	130	—	20	150	35.1
		斜里町	勧告	5,500	13,500	386	364	1,546	2,296	17.0
太平洋側	根室支庁	羅臼町	勧告	2,250	6,508	1,181	132	—	1,313	20.2
		標津町	勧告	2,365	6,049	80	—	1,000	1,080	17.9
		別海町	勧告	646	2,301	—	—	501	501	21.8
		根室市	勧告	13,159	31,426	77	54	750	881	2.8
	釧路支庁	浜中町	勧告	1,424	4,272	853	47	637	1,537	36.0
		厚岸町	勧告	2,750	7,000	469	19	848	1,336	19.1
		釧路町	勧告	9,076	22,074	104	—	194	298	1.4
		釧路市	勧告	2,680	4,910	357	—	—	357	7.3
		白糠町	勧告	4,508	10,547	129	—	—	129	1.2
合計				54,212	132,831	8,010	1,724	7,916	17,650	13.2

※避難率は、対象人数に対する避難者の割合を示す。

問40 避難者数の把握はどのような方法で行いましたか。

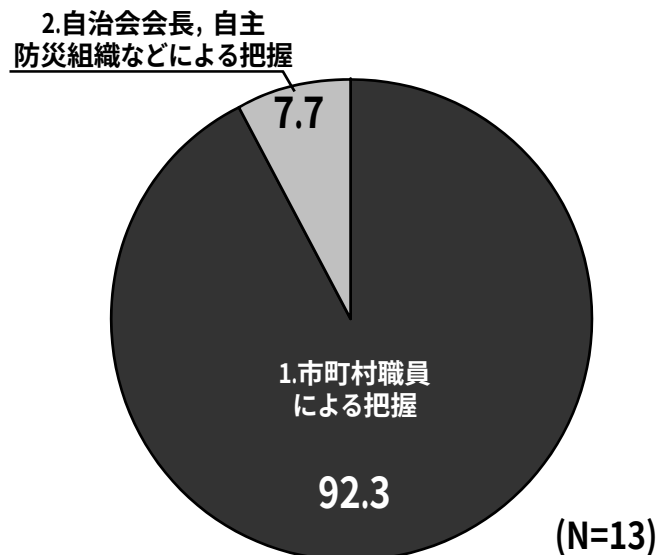
津波警報発表地域（全体）

	度数	構成比 (%)
1.市町村職員による把握	20	91.0
2.自治会会長, 自主防災組織などによる把握	1	4.5
3.その他	1	4.5
計	22	100.0



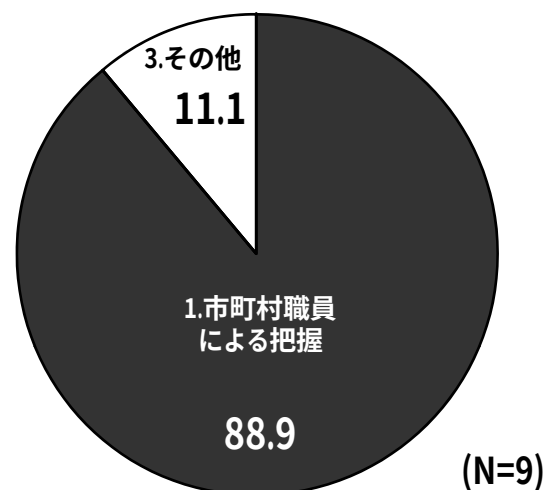
津波警報発表地域（オホーツク海側）

	度数	構成比 (%)
1.市町村職員による把握	12	92.3
2.自治会会長, 自主防災組織などによる把握	1	7.7
3.その他	0	0.0
計	13	100.0



津波警報発表地域（太平洋側）

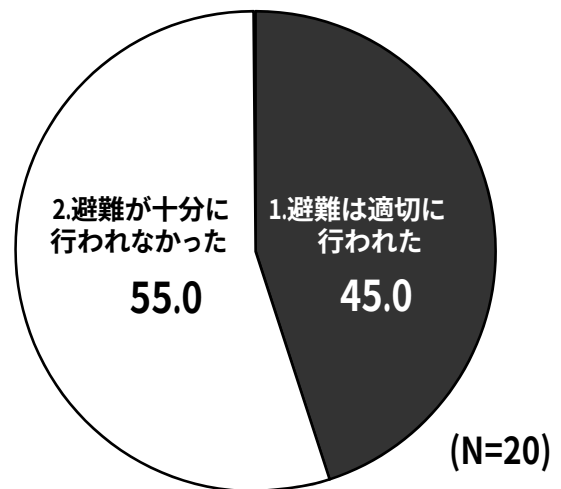
	度数	構成比 (%)
1.市町村職員による把握	8	88.9
2.自治会会長, 自主防災組織などによる把握	0	0.0
3.その他	1	11.1
計	9	100.0



問42 今回の津波避難の結果について、お考えをお伺いします。

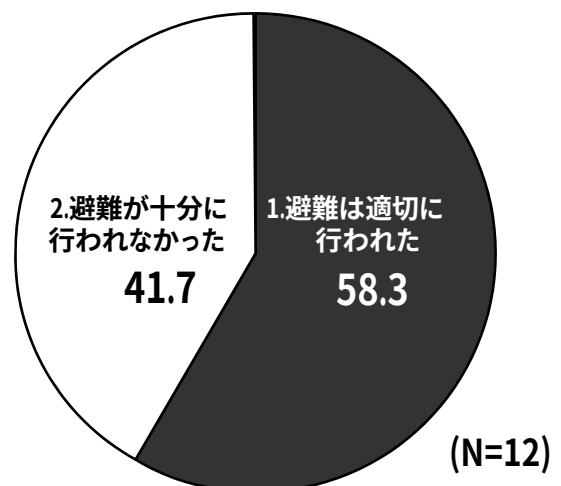
津波警報発表地域（全体）

	度数	構成比 (%)
1.避難は適切に行われた	9	45.0
2.避難が十分に行われなかった	11	55.0
計	20	100.0
無回答	2	
合計	22	



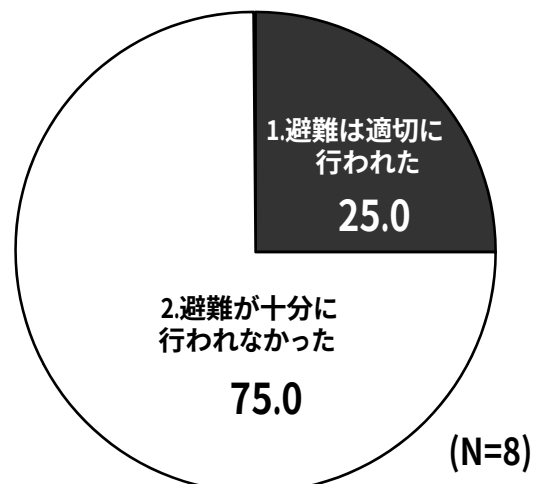
津波警報発表地域（オホーツク海側）

	度数	構成比 (%)
1.避難は適切に行われた	7	58.3
2.避難が十分に行われなかった	5	41.7
計	12	100.0
無回答	1	
合計	13	



津波警報発表地域（太平洋側）

	度数	構成比 (%)
1.避難は適切に行われた	2	25.0
2.避難が十分に行われなかった	6	75.0
計	8	100.0
無回答	1	
合計	9	

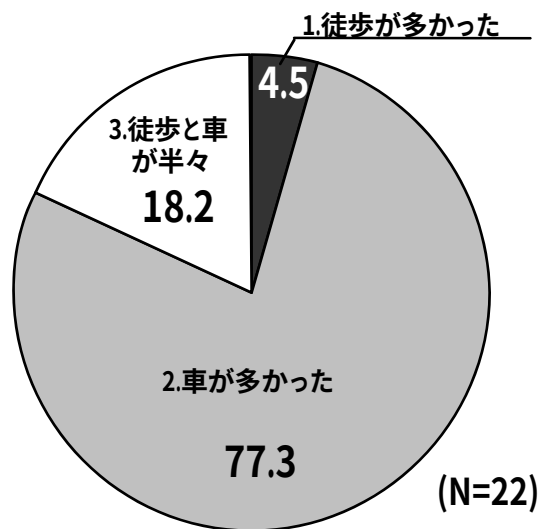


問43 実際の住民避難行動などについて、お伺いします。

(1) 住民の避難手段について、徒歩・車のどちらの割合が多かったですか。

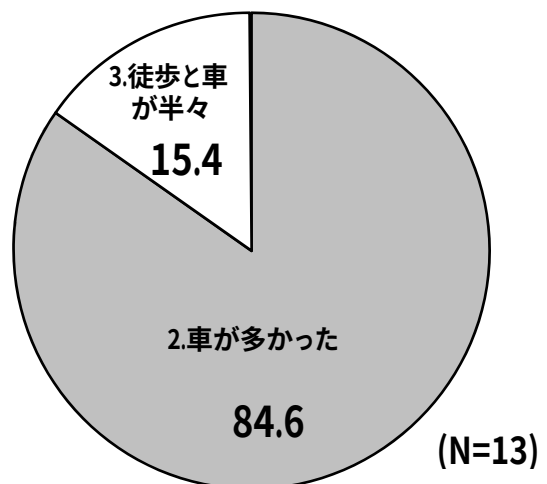
津波警報発表地域（全体）

	度数	構成比 (%)
1.徒歩が多かった	1	4.5
2.車が多かった	17	77.3
3.徒歩と車が半々	4	18.2
計	22	100.0



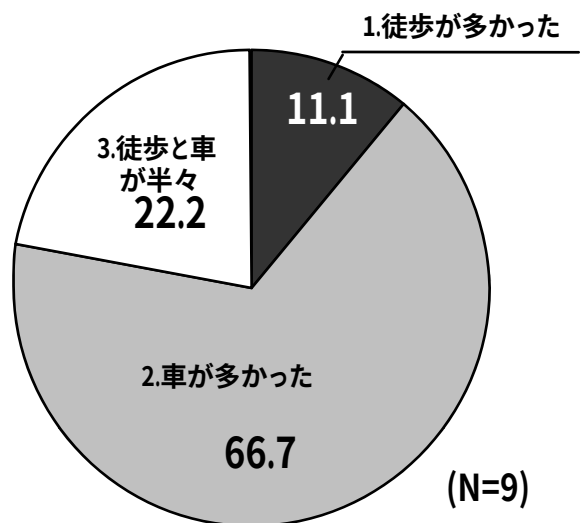
津波警報発表地域（オホーツク海側）

	度数	構成比 (%)
1.徒歩が多かった	0	0.0
2.車が多かった	11	84.6
3.徒歩と車が半々	2	15.4
計	13	100.0



津波警報発表地域（太平洋側）

	度数	構成比 (%)
1.徒歩が多かった	1	11.1
2.車が多かった	6	66.7
3.徒歩と車が半々	2	22.2
計	9	100.0

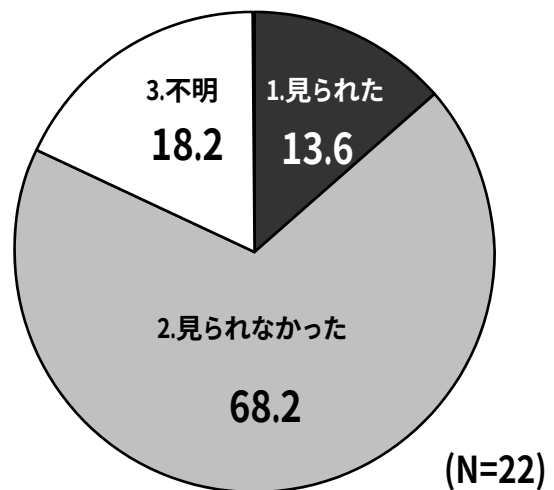


問43 実際の住民避難行動などについて、お伺いします。

(2) 車の避難による渋滞が発生し、避難ができない状況は見られましたか。

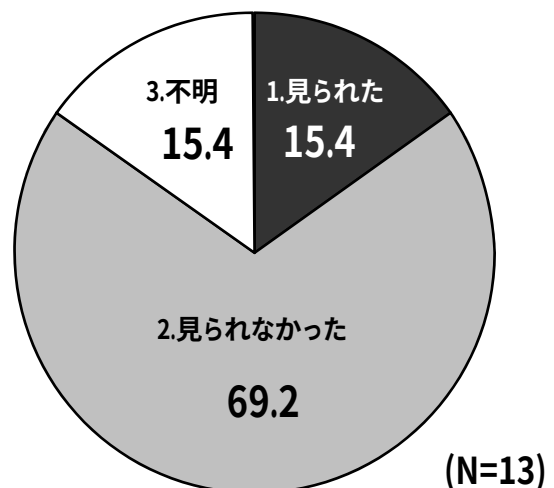
津波警報発表地域（全体）

	度数	構成比 (%)
1.見られた	3	13.6
2.見られなかった	15	68.2
3.不明	4	18.2
計	22	100.0



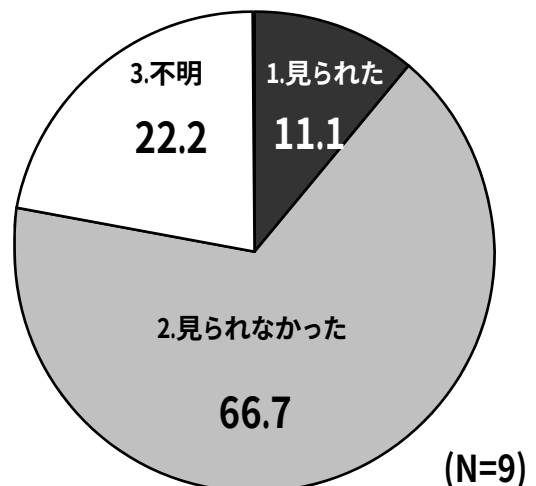
津波警報発表地域（オホーツク海側）

	度数	構成比 (%)
1.見られた	2	15.4
2.見られなかった	9	69.2
3.不明	2	15.4
計	13	100.0



津波警報発表地域（太平洋側）

	度数	構成比 (%)
1.見られた	1	11.1
2.見られなかった	6	66.7
3.不明	2	22.2
計	9	100.0

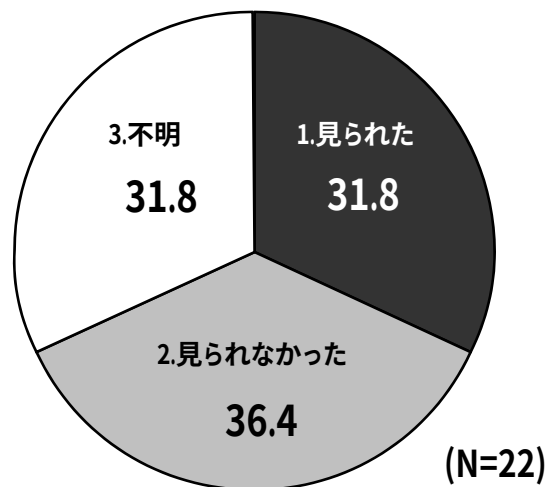


問43 実際の住民避難行動などについて、お伺いします。

(3) 住民が海岸の様子を見に行っている状況は見られましたか。

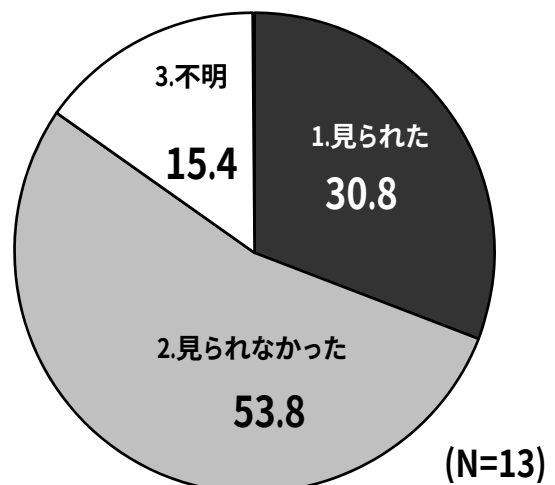
津波警報発表地域（全体）

	度数	構成比 (%)
1.見られた	7	31.8
2.見られなかった	8	36.4
3.不明	7	31.8
計	22	100.0



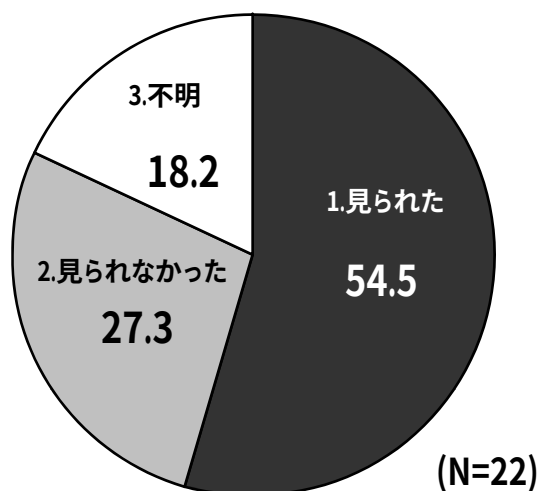
津波警報発表地域（オホーツク海側）

	度数	構成比 (%)
1.見られた	4	30.8
2.見られなかった	7	53.8
3.不明	2	15.4
計	13	100.0



津波警報発表地域（太平洋側）

	度数	構成比 (%)
1.見られた	3	33.3
2.見られなかった	1	11.1
3.不明	5	55.6
計	9	100.0

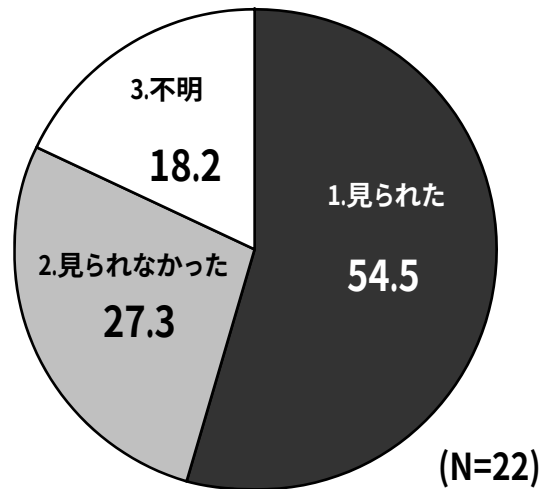


問43 実際の住民避難行動などについて、お伺いします。

(4) 漁師が船を沖に出している状況は見られましたか。

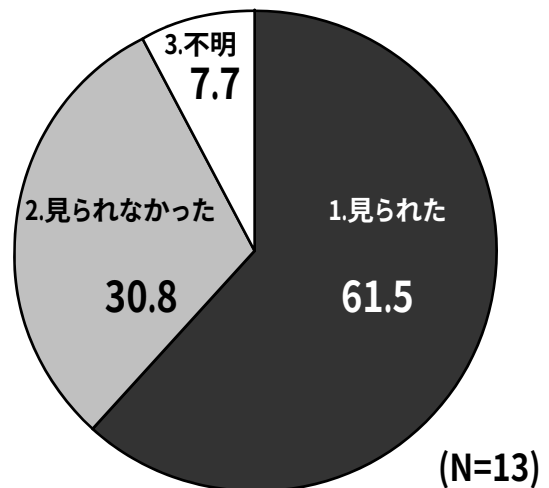
津波警報発表地域（全体）

	度数	構成比 (%)
1.見られた	12	54.5
2.見られなかった	6	27.3
3.不明	4	18.2
計	22	100.0



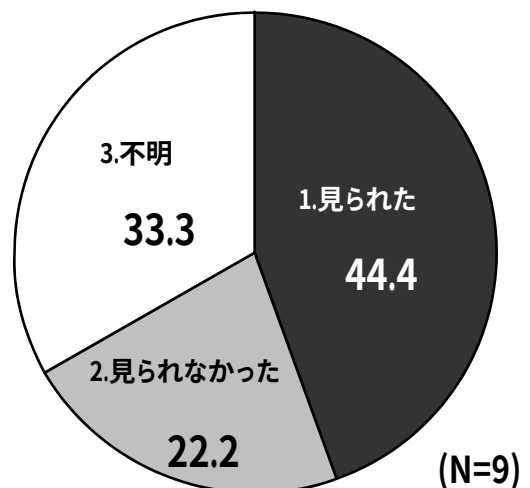
津波警報発表地域（オホーツク海側）

	度数	構成比 (%)
1.見られた	8	61.5
2.見られなかった	4	30.8
3.不明	1	7.7
計	13	100.0



津波警報発表地域（太平洋側）

	度数	構成比 (%)
1.見られた	4	44.4
2.見られなかった	2	22.2
3.不明	3	33.3
計	9	100.0



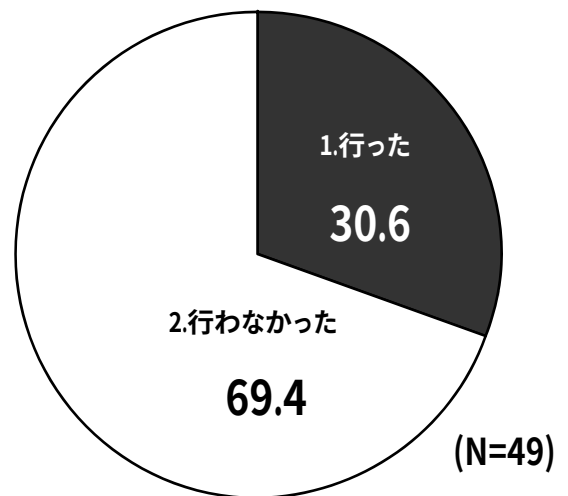
問44 今回の住民避難や避難所などにおいて、明らかとなった課題をご記入ください。

区分	市町村名	回 答
津波警報発表地域① 到達高さ2m)	稚内市	要援護者の把握、冬期間の避難所運営、
	猿払村	備蓄食糧及び毛布等がなかった
	浜頓別町	自治会との連携及び避難所と本部の情報共有
	枝幸町	当町では、災害全般の避難所を設定しているが、低地にあるものも一部ある。(津波に関しての避難所として、高台にある施設等を新たに設置することを検討) 高台に避難する車両により一時的に渋滞がおきる。(交通整理の必要性)
	雄武町	避難勧告による、避難対象住民のうち車等による高台の、親戚・知人等の安全な場所へ避難した住民の把握ができなかった。(自治会等の自主防災組織の必要性を感じた)
	興部町	
	紋別市	津波災害時には、市民の認識のある高台を設定を考える必要がある。
	湧別町	
	佐呂間町	
	北見市	短時津波という短時間的事象との住民意識からか、市が把握した避難者数より相当多くの市民が車で市内全域の高台に避難されていたと考えられ、正確な実避難者数が把握できなかった。
	網走市	車での避難者による交通渋滞が起きた為、誘導者の配置(警察含む)。 避難所の防災備品配置及び畳部屋の確保等
	小清水町	独居老人等の避難対策・自主防災組織等、地域住民との連携
津波警報発表地域② 到達高さ1m)	斜里町	災害時要援護者への避難伝達及び誘導、避難所開設の遅れ、防災物資の不足
	羅臼町	
	標津町	第1に「津波警報」発令時には、屋外の高台に避難することとしている。屋内に避難するのは、その避難が長期化し避難施設の安全が確認されてから(余震も含めて)と定めており、避難する高台に耐震設計の施設があることが望ましいと感じた
	別海町	上記の避難人数はあくまでも当日の集計であり、実際はほぼ対象世帯の住民全員が避難したと言われている。
	根室市	今回、当市では指定避難所への避難した人数を北海道へ報告したが、後日の聞き取りなどで報告数よりも多くの住民が指定避難所以外の高台などに避難していることが判明した。(指定避難所以外の場所であったため、人数の把握が困難であった) また、自治体間で避難者数の把握方法(実数や概算など)が異なっていたこともあり、その後の対応で苦慮した部分があった 今後、避難者数を取りまとめる北海道で各自治体での把握方法を統一させることが必要と考える
	浜中町	避難率が低い。車での避難が多い。
	厚岸町	避難者の割合が少ない。
	釧路町	・避難勧告が発令中にも関わらず、住民が独自判断で帰宅を開始してしまった。 ・住民が避難場所(会館)に向かうも、施設されて中に入らなかった。
津波注意警報発表地域 到達高さ50cm)	釧路市	避難施設や津波浸水区域を把握していない住民が多く、これらを周知する広報活動が今後の課題となる。
	白糠町	高齢者の徒歩による避難所、避難施設が離れている場合どうするか
	浦幌町	
	豊頃町	
	大樹町	
	広尾町	
	えりも町	
	様似町	
	浦河町	
	新ひだか町	
	新冠町	
	日高町	
	むかわ町	
	厚真町	
	苫小牧市	
	白老町	
	登別市	
	室蘭市	
	伊達市	
	洞爺湖町	
	豊浦町	
	長万部町	
	八雲町	
	森町	
	鹿部町	
	函館市	
	北斗市	
	木古内町	
	知内町	
	福島町	
	松前町	

問45 貴市町村において、自主避難の呼びかけを行いましたか。

全体

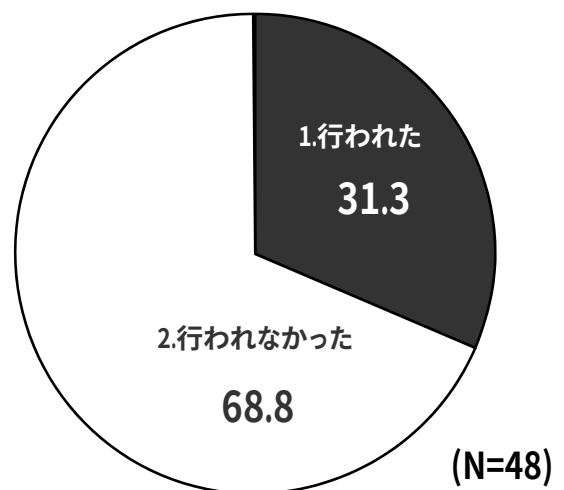
	度数	構成比 (%)
1.行った	15	30.6
2.行わなかった	34	69.4
計	49	100.0
無回答	2	
合計	51	



問46 貴市町村において、自主避難は行われましたか。

全体

	度数	構成比 (%)
1.行われた	15	31.3
2.行われなかった	33	68.8
計	48	100.0
無回答	3	
合計	51	



問47 今回、自主避難した住民は何世帯でしたか。

問48 今回、自主避難した住民は何人でしたか。

全体

地域	支庁	市町村名	平成18年11月15日千島列島を震源とする地震	
			地震発生時刻	20:15
			津波警報発表時刻	20:29
			津波警報解除	オホーツク海側
				太平洋側
			津波注意報解除	オホーツク海側
				太平洋側
			自主避難した世帯数	自主避難した人数
			世帯数	人数
オホーツク海側	宗谷支庁	稚内市	2	2
		猿払村	-	-
		浜頓別町	-	-
		枝幸町	450	1500
	網走支庁	雄武町	-	-
		興部町	40	80
		紋別市	不明	110
		湧別町	-	-
		佐呂間町	-	-
		北見市	不明	不明
		網走市	不明	不明
		小清水町	-	-
		斜里町	5	10
	オホーツク海側 計		497	1702
太平洋側	根室支庁	羅臼町	-	-
		標津町	-	-
		別海町	不明	不明
		根室市	-	-
	釧路支庁	浜中町	-	-
		厚岸町	不明	不明
		釧路町	-	-
		釧路市	-	-
		白糠町	不明	不明
	太平洋側 津波警報発表地域 計		不明	不明
太平洋側	帯広支庁	浦幌町	-	-
		豊頃町	-	-
		大樹町	-	-
		広尾町	3	4
	日高支庁	えりも町	-	-
		様似町	-	-
		浦河町	-	-
		新ひだか町	1	1
		新冠町	-	-
		日高町	-	-
	胆振支庁	むかわ町	-	-
		厚真町	-	-
		苫小牧市	-	-
		白老町	-	-
		登別市	1	2
		室蘭市	-	-
		伊達市	-	-
		洞爺湖町	-	-
	渡島支庁	豊浦町	-	-
		長万部町	-	-
		八雲町	1	2
		森町	-	-
		鹿部町	-	-
		函館市	5	9
		北斗市	-	-
		木古内町	-	-
		知内町	-	-
		福島町	-	-
		松前町	-	-
	太平洋側 津波注意報発表地域 計		11	18
	合 計		508	1720

問49 貴市町村の立場から見て、今回の住民の津波災害に対する意識について、どのように思いますか。

区分	市町村名	回 答
津波警報発表地域① 到達高さ2m	椎内市	地域(町内会)によって津波災害への意識の違いがあった。
	猿払村	避難した住民は、初めてサイレンを鳴らし、避難指示を出したが、多少混乱したが、スムーズに避難した
	浜頓別町	自然災害による被害が少ない地域ではあるが、本町の沿岸地域においては過去に津波により避難(1960年のチリ沖地震)した経験のある者も多くおり津波災害に対する意識は高いと思われる
	枝幸町	当町は津波の観測がほとんどない地域であり、それまでは「津波は来ない」と認識する町民がほとんどであったが、今回は多くの町民が迅速に避難しており、津波に対しての意識は高まったと思う。
	雄武町	津波災害に対する意識はあるが、経験がないため、今後の津波災害に対する啓蒙が必要。
	興部町	これまでに津波災害の経験が無いことも含めて、津波災害に対する警戒・危機意識は薄い
	紋別市	市民には少なからずとも2004年のスマトラ島地震の猛威的な被害の記憶があり、当市にとっては初の津波警報であったので、避難意識は強かったと思われる。
	湧別町	スマトラ島での津波の記憶も新しく、非常に意識が高いと思われる。
	佐呂間町	災害が続いているため、住民の災害に対する意識は、かなり敏感になっている
	北見市	今まで津波警報がなく、また、津波による被害もないため津波災害に対する意識が低い。
	網走市	避難勧告地区、避難施設の確認等の市民からの電話問い合わせも多く、津波災害に対する意識は高いと思われる。
	小清水町	住民の意識として災害が無い地域とされている中で、津波災害に対する意識は高いと思われる。
津波警報発表地域② 到達高さ1m	斜里町	過去に本町沿岸での津波被害がなかったため、津波に対する住民の意識は低かったが、今回を契機に津波を含め災害全般に対する対応意識が変わったと思う。
	羅臼町	地震による揺れが感じられなかったためか、住民の危機感が少なかったように思われる。
	標津町	各報道機関の情報(テレビやラジオ等)が充実しており、住民の意識は高かったと感じているが、津波到達予想時刻を過ぎると各自の判断で帰宅した住民もいたようなので、広報の方法を検討したいと感じた
	別海町	自主防災組織における避難訓練や平成18年10月の低気圧災害の後ということもあり、災害意識は高いと思われた。
	根室市	今回の津波警報では、市で把握している人数よりも多くの住民が避難しているとの話を聞いているので、沿岸地域の住民については、比較的意識が高かったと思われる。
	浜中町	過去に大きな津波災害を受けているため、住民の意識は高いものがあるが、避難に関しては、経験による自己判断で避難しないかたが64%もいることが不安である。
	厚岸町	意識はかなり高いものと判断するが、今回の場合は、津波警報における、津波の高さ予測が1mであったため避難者が少なかったことと想定する。
	釧路町	海岸部に面している地域にも関わらず、独自の判断で津波の脅威や避難の緊急性を認識していない行動が見られた。
	釧路市	津波に関する危機意識が低かったと考えられる。
	白糠町	地震の揺れが小さかったため、津波に関しての意識は薄いように思われた。
	浦幌町	漁船の係留の確認等津波に対する意識はあると思われる。
	豊頃町	平成15年の十勝沖地震の経験もあり、津波に対する防災意識は強く持っている。
津波注意報発表地域 到達高さ50cm	大樹町	
	広尾町	冷静に行動されていたし、十分注意を払っていたと思う。
	えりも町	最近、平成15年十勝沖地震を経験していることもあり、ある程度意識はあったと思われる
	様似町	今回は、夜間ということもあり少なかったようだが、津波情報の際に海を見に行く方が少なくない。これまで大きな津波被害が発生していないことから、変な安心感があるようである。
	浦河町	
	新ひだか町	海岸地区の住民は、警戒意識が強い。特に、テレビの報道等に対し敏感で、町の広報より、先に問い合わせが多くある状況であった。
	新冠町	避難に関しては、それほど過敏にはなっていなかった。
	日高町	
	むかわ町	今回の件だけで住民の意識の判断はできない。
	厚真町	今回は、震源に近い道東地域の津波報道において潮位の変化が少なかったことや本町の潮位に当初、変動が見られなかったものがあるが、今後は、予想困難な津波に対しての認識を新たにすることが必要である。
	苫小牧市	津波注意報発表後、20件程度、市民からの問い合わせがあった。津波に対する意識は最近の大型津波の発生状況から意識の高まりがあると考えられる。
	白老町	津波災害を経験したことがなく、今回の白老町は津波注意報でもあり、災害になる可能性が低いと判断している。
	登別市	気象庁において、地震情報と津波情報が逆であったことから、なぜ津波なのかとの問い合わせと、津波に関する推移について問い合わせが多かった。
	室蘭市	
	伊達市	住民から数件の問い合わせがあり、注意報にもかかわらず山の手の住民から避難すべきかとの問い合わせがあり、津波の程度が住民には理解されていない。
	洞爺湖町	今後も啓発等の必要性を感じる。
	豊浦町	警報でなく注意報だったため特に問題ない
	長万部町	よくわかりません。
	八雲町	注意報だったので海岸付近に住む住民には危機感はないように感じられた。
	森町	過去370年前に火山体崩壊による津波被害はあったが、その後全く津波による被害がないため、津波災害に対する 防災意識は低い。
	鹿部町	
	函館市	漁業者が多い沿岸地域は意識が高いと感じた
	北斗市	
	木古内町	津波注意報であり、防災無線でも避難勧告でない旨の放送を行ったこと及び役場にも情報の確認の電話が多数あったことで避難はなかったが、津波に対する意識は高いと考える。
	知内町	
	福島町	
	松前町	

問50 貴市町村の立場から見て、避難しなかった住民について、住民が避難しなかったのはなぜだと思いますか。

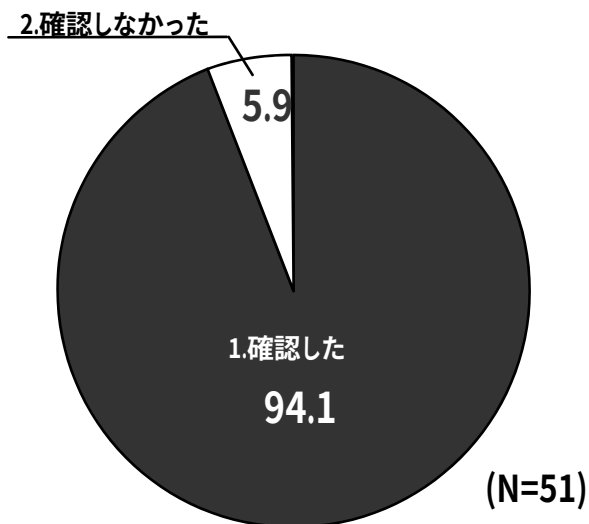
区分	市町村名	回 答
津波警報発表地域① 到達高さ2m	椎内市	住民意識の差、伝達方法に課題、
	猿払村	
	浜頓別町	生命や財産に被害が出る程の津波ではないと判断したから
	枝幸町	津波の予想される高さが2mということもあり、悪天候時の高潮よりも低いので心配ない(大事には至らない)と考えたと思われる。
	雄武町	津波災害に対する意識はあるが、津波に対する知識・経験がないため。
	興部町	津波被害の経験の無さや、個別住居等の地形的な要因(標高)による独自判断など、危機意識の薄さがあること、行政の避難勧告方法についても住民の危機意識を十分に高めるに至っていなかったと考える。
	紋別市	過去に津波警報が発令されたことがないことを知らない市民や近日に転居してきた市民、スマトラ島地震の記憶があり、あの程度でも走れば被害に遭わないと鷹をくくする若い世代、本当の興味本意の市民などの事例が挙げられる。
	湧別町	自宅まで津波が到達しないであろうとの臆測
	佐呂間町	沿岸部より比較的遠い場所に住居があったため、大丈夫だと判断したのではないかとと思う
	北見市	当市の津波による被害の前例がないため、被害に遭わないと思い避難しなかった。
	網走市	当市においては、地震、津波等での大規模災害が比較的に少ないため、今回も大丈夫だという安堵感によるもの。津波警報、避難勧告発令を未知であった者等が考えられる
	小清水町	住民の意識として災害が無い地域とされており、津波災害に対しても意識が薄いと思われる。
津波警報発表地域② 到達高さ1m	斜里町	過去に本町沿岸で津波被害がないことや、津波の高さと波浪時の高さを混同して2mでは自分のところまで被害が来ないだろうと自己判断していたのではないかとと思われる。
	羅臼町	地震による揺れが感じられなかったため、危機感が少なく自己判断が多かったと思われる
	標津町	地理的な関係から、内陸の住民には多少当てはまるかと思うが、海岸域の住民については殆どが避難したと思われる。指定した避難場所(高台)以外へ避難した住民(内陸の隣接町など)も多く、正確な避難住民数を把握することは不可能である。
	別海町	津波警報が発令されたが震度は2ということもあり、また、今までの経験上大きな津波が来なかったこともあったためだと思われる。
	根室市	当市は、過去に地震や津波による被害を多く受けており、過去の経験により自己判断で避難しなかったと思われる。
	浜中町	過去の経験の基づき、このくらいの地震では大きな津波はないだろうとの自己判断があり、テレビ等の情報を確認しながら様子を見ているためと思われる。
	厚岸町	津波警報における、津波の高さ予測が1mであったため避難者が少なかったことと想定する。
	釧路町	昔からの地域性や独自の判断によること。また、マスメディアの十分な情報伝達が逆に避難行動を鈍らせたと思う。
	釧路市	津波に関する危機意識が低かったと考えられる。
	白糠町	過去に大きな津波の経験が無いから。それほど大きな地震でなかったため。
津波注意報発表地域 到達高さ50cm	浦幌町	津波注意報であったためと思われる。
	豊頃町	地震を感じない中での「津波注意報」に住民には不安があったと思われるが、町の防災無線による注意喚起、テレビ等報道機関の情報を受け、冷静に対応していたため。
	大樹町	
	広尾町	体感の地震が無かったことと、津波注意報で津波の高さが50cm程度との情報だったため。
	えりも町	警報ではなく注意報だったことや、テレビ等の報道の内容や、地震の揺れを直接感じなかったこと
	様似町	津波の高さが50cm程度ということで、海岸に入る方以外は避難の必要がないと考えたものと推測する。
	浦河町	
	新ひだか町	津波注意報の発令だったため、報道等で波の高さが避難するに及ばないと判断したからと思われる。
	新冠町	地震のゆれが小さかったこと。 津波到達予想時間までに、ある程度時間があり、津波第1波がそれほど大きくなかったことと思われる。
	日高町	
	むかわ町	津波注意報と津波予報が数センチとの情報。また、潮位の変化がなかったためと考えられる。
	厚真町	自主避難しなかったのは、津波災害への認識不足と思われる。
	苫小牧市	過去に津波被害を経験していないため、自分は大丈夫だという意識があるため。
	白老町	問49と同じ
	登別市	この地区については、護岸整備が進んでおり50cm位の予想では安全と考えていたため
	室蘭市	
	伊達市	
	洞爺湖町	
	豊浦町	
	長万部町	あくまでも推測ですが、避難するほど危険ではないと個々が判断した結果でないでしょうか。
	八雲町	問49と同じ
	森町	問49と同じ
	鹿部町	
	函館市	0.5mの津波は影響ないと感じているから
	北斗市	
	木古内町	津波注意報であり、防災無線でも避難勧告でない旨の放送を行ったこと及び役場にも情報の確認の電話が多数あったことで避難はなかった。
	知内町	
	福島町	
	松前町	

5. 潮位変化の確認状況、水門・閘門等の操作状況についてお聞きします。

問51 潮位変化の確認を行いましたか。

全体

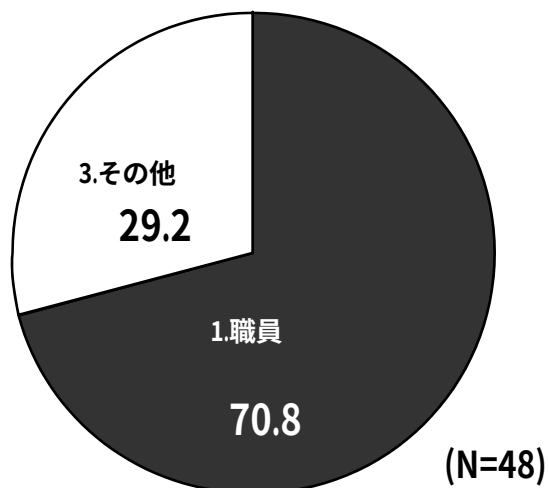
	度数	構成比 (%)
1.確認した	48	94.1
2.確認しなかった	3	5.9
計	51	100.0



問52 潮位変化の確認は誰が行いましたか。

全体

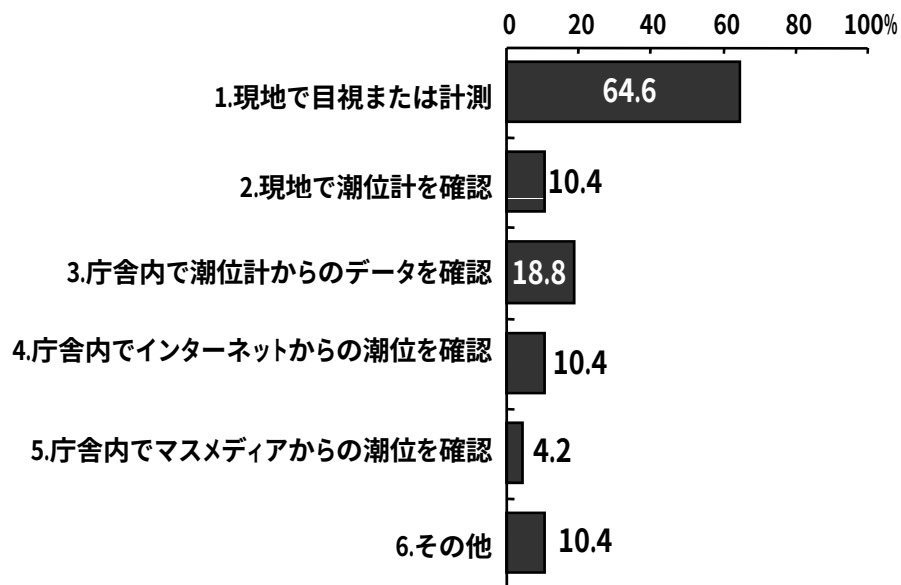
	度数	構成比 (%)
1.職員	34	70.8
2.委託会社	0	0.0
3.その他	14	29.2
計	48	100.0
無回答	3	
合計	51	



問53 潮位変化の確認はどのように行いましたか。

全体

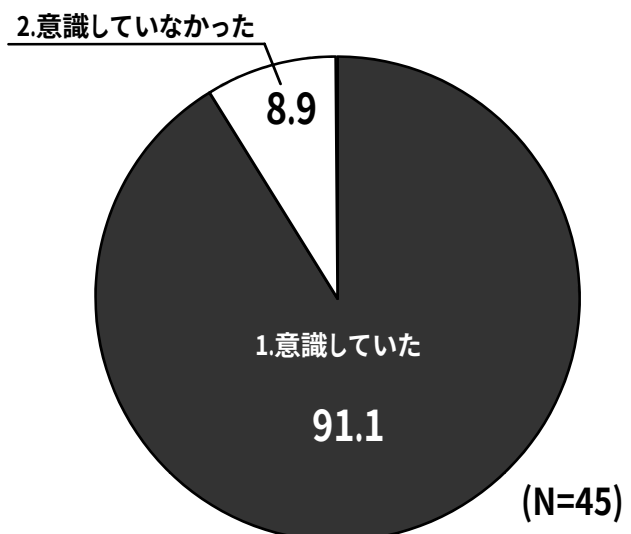
	度数	構成比 (%)
1.現地で目視または計測	31	64.6
2.現地で潮位計を確認	5	10.4
3.庁舎内で潮位計からのデータを確認	9	18.8
4.庁舎内でインターネットからの潮位を確認	5	10.4
5.庁舎内でマスメディアからの潮位を確認	2	4.2
6.その他	5	10.4
サンプル数	48	—
無回答	3	—
合計	51	—



問54 潮位変化の現地確認について、現地確認を行っている方の津波来襲時の安全確保を意識していましたか。

全体

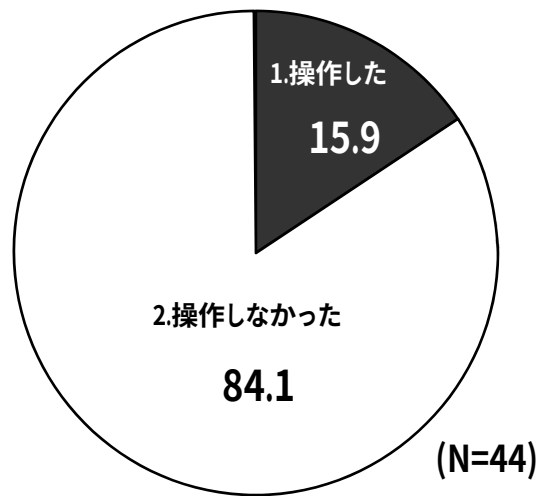
	度数	構成比 (%)
1.意識していた	41	91.1
2.意識していなかった	4	8.9
計	45	100.0
無回答	6	—
合計	51	—



問55 水門・閘門・陸門などの津波防御施設について、操作を行いましたか。

全体

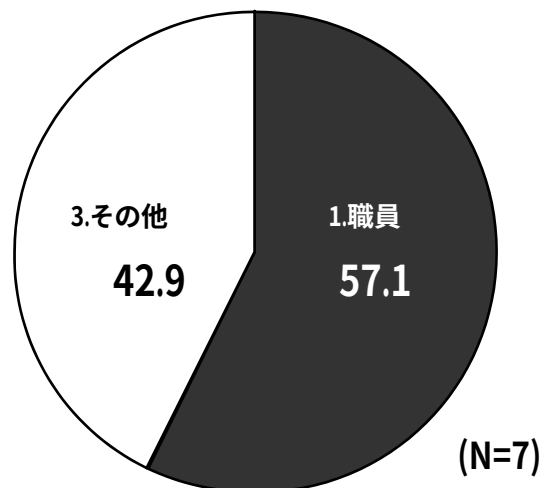
	度数	構成比 (%)
1.操作した	7	15.9
2.操作しなかった	37	84.1
計	44	100.0
無回答	7	
合計	51	



問56 水門・閘門・陸門などの津波防御施設の操作を誰が行いましたか。

全体

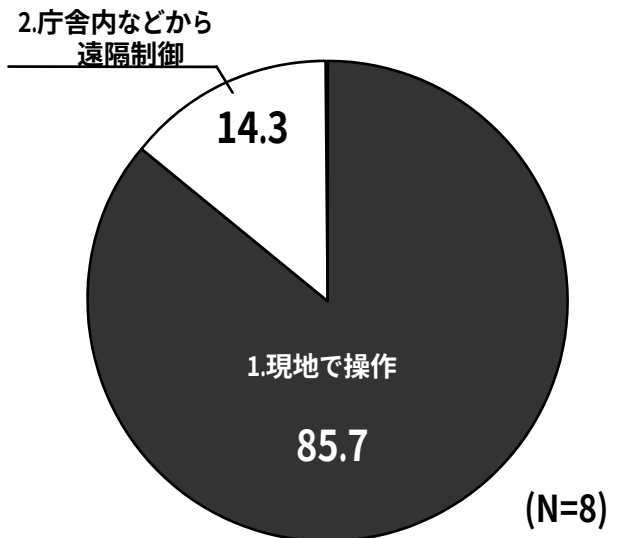
	度数	構成比 (%)
1.職員	4	57.1
2.委託会社	0	0.0
3.その他	3	42.9
計	7	100.0
非該当	44	
合計	51	



問57 水門・閘門・陸門などの津波防御施設の操作はどのように行いましたか。

全体

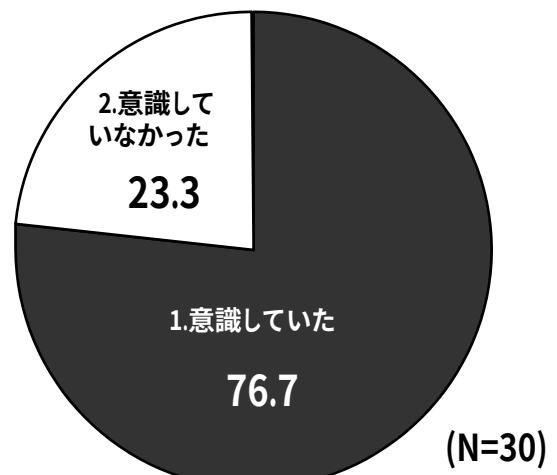
	度数	構成比 (%)
1.現地で操作	6	85.7
2.庁舎内などから遠隔制御	1	14.3
3.その他	0	0.0
計	7	100.0
非該当	44	
合計	51	



問58 水門・閘門・陸門などの津波防御施設の操作について、現地で作業を行う方の津波来襲時の安全確保を意識していましたか。

全体

	度数	構成比 (%)
1.意識していた	23	76.7
2.意識していなかった	7	23.3
計	30	100.0
無回答	21	
合計	51	



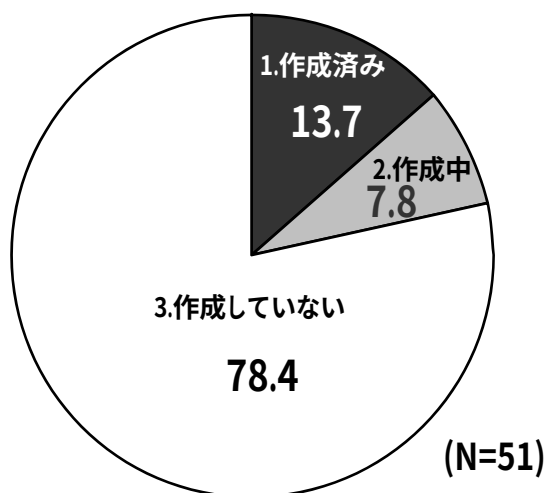
6. ハザードマップの作成状況、避難訓練・講演会等の実施状況などについてお聞きます。

問59 貴市町村管内では、以下の災害に関するハザードマップが作成されていますか。

(1) 地震

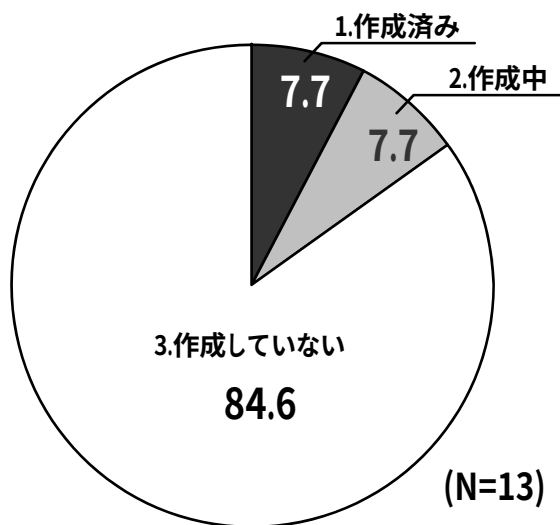
全体

	度数	構成比 (%)
1.作成済み	7	13.7
2.作成中	4	7.8
3.作成していない	40	78.4
計	51	100.0



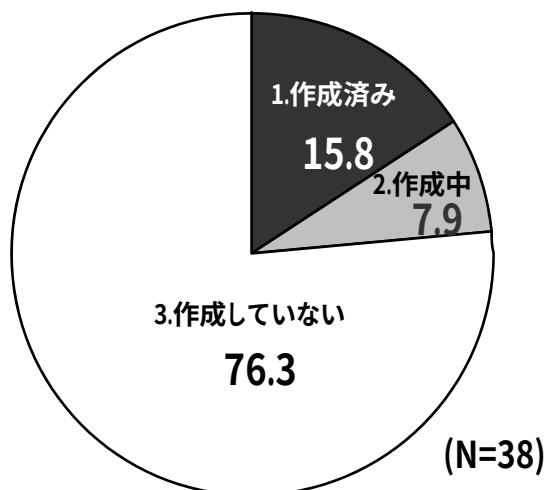
オホーツク海側

	度数	構成比 (%)
1.作成済み	1	7.7
2.作成中	1	7.7
3.作成していない	11	84.6
計	13	100.0



太平洋側

	度数	構成比 (%)
1.作成済み	6	15.8
2.作成中	3	7.9
3.作成していない	29	76.3
計	38	100.0

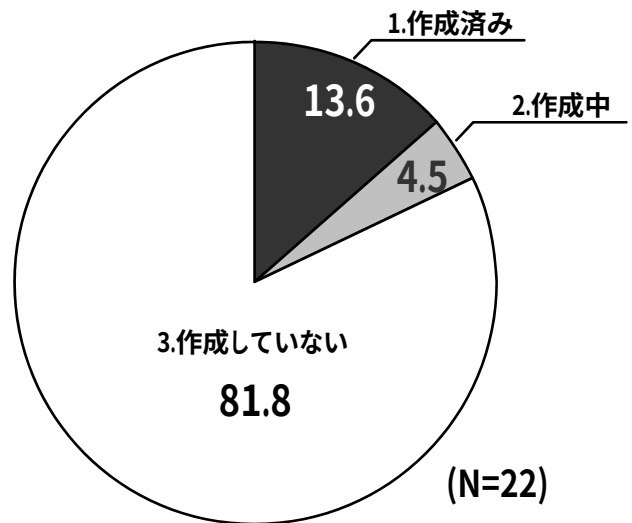


問59 貴市町村管内では、以下の災害に関するハザードマップが作成されていますか。

(1) 地震

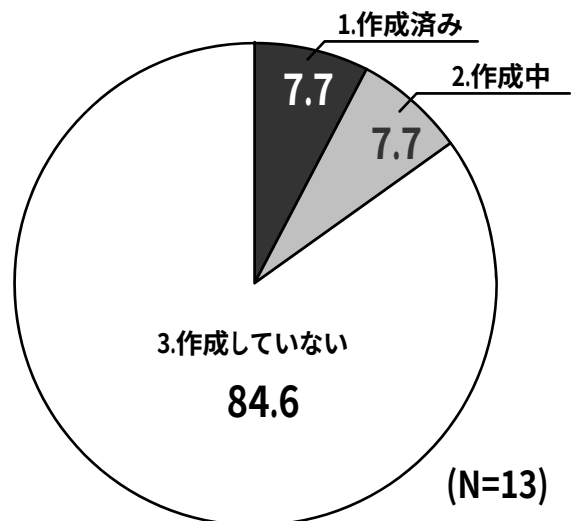
津波警報発表地域（全体）

	度数	構成比 (%)
1.作成済み	3	13.6
2.作成中	1	4.5
3.作成していない	18	81.8
計	22	100.0



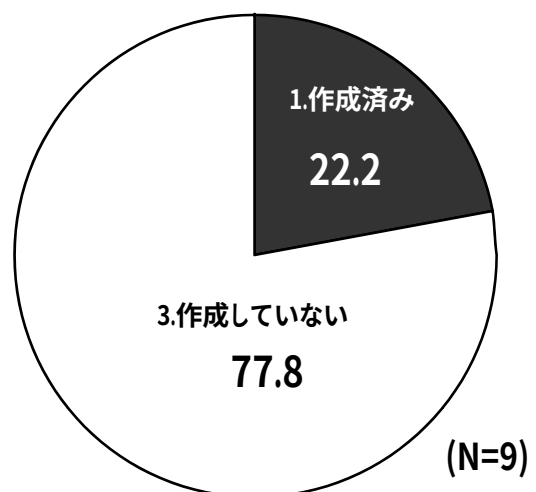
津波警報発表地域（オホーツク海側）

	度数	構成比 (%)
1.作成済み	1	7.7
2.作成中	1	7.7
3.作成していない	11	84.6
計	13	100.0



津波警報発表地域（太平洋側）

	度数	構成比 (%)
1.作成済み	2	22.2
2.作成中	0	0.0
3.作成していない	7	77.8
計	9	100.0

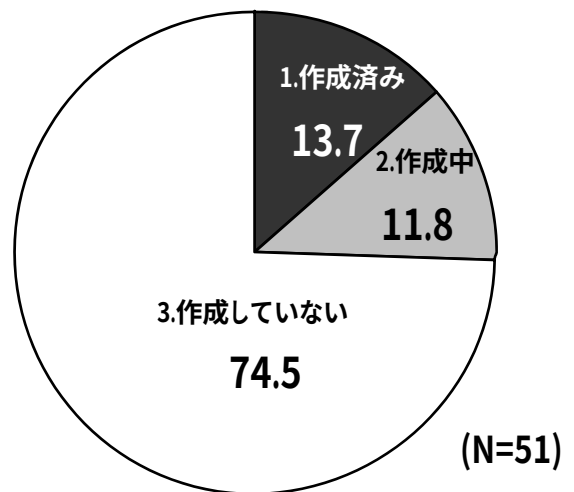


問59 貴市町村管内では、以下の災害に関するハザードマップが作成されていますか。

(2) 津波

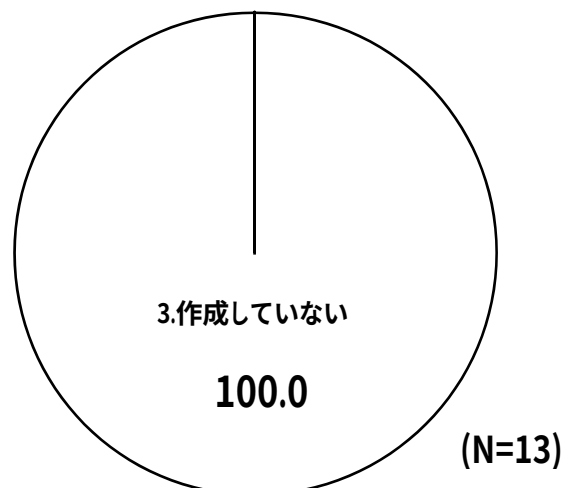
全体

	度数	構成比 (%)
1.作成済み	7	13.7
2.作成中	6	11.8
3.作成していない	38	74.5
計	51	100.0



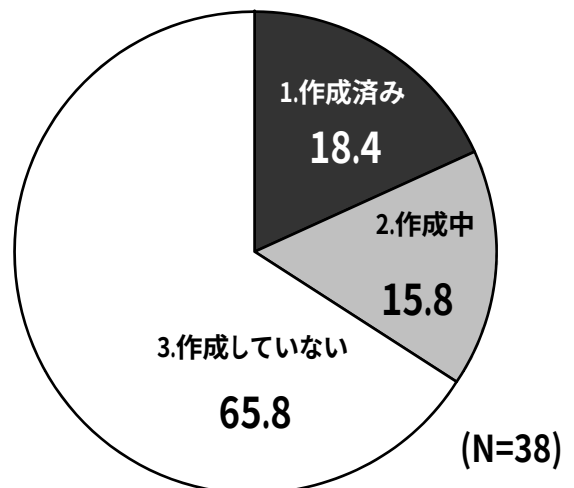
オホーツク海側

	度数	構成比 (%)
1.作成済み	0	0.0
2.作成中	0	0.0
3.作成していない	13	100.0
計	13	100.0



太平洋側

	度数	構成比 (%)
1.作成済み	7	18.4
2.作成中	6	15.8
3.作成していない	25	65.8
計	38	100.0

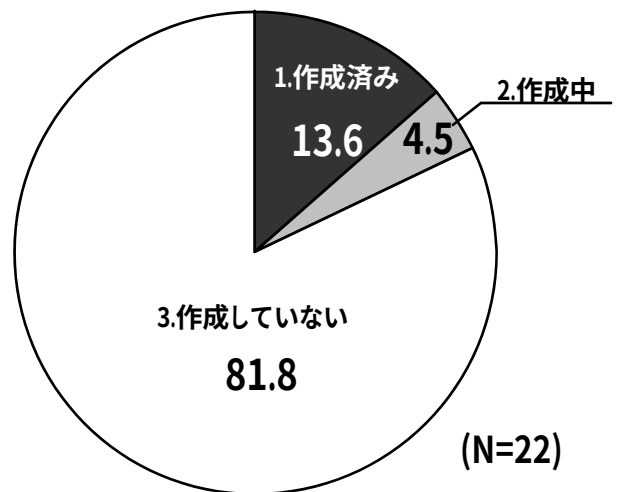


問59 貴市町村管内では、以下の災害に関するハザードマップが作成されていますか。

(2) 津波

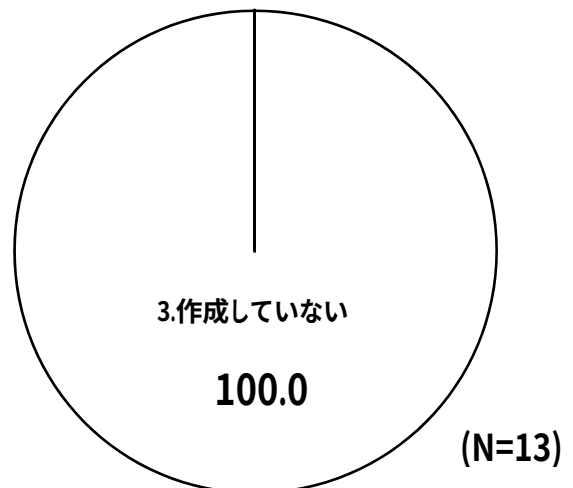
津波警報発表地域（全体）

	度数	構成比(%)
1.作成済み	3	13.6
2.作成中	1	4.5
3.作成していない	18	81.8
計	22	100.0



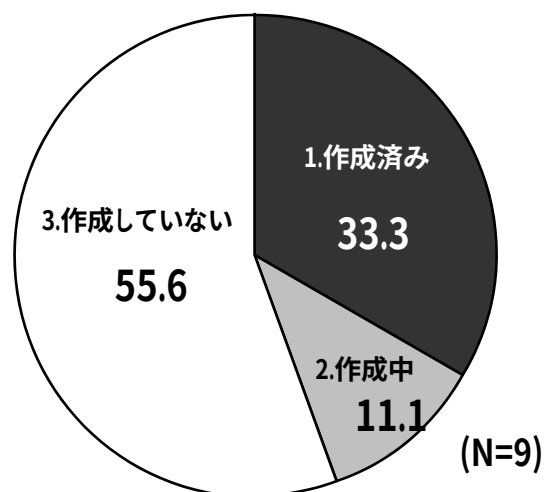
津波警報発表地域（オホーツク海側）

	度数	構成比(%)
1.作成済み	0	0.0
2.作成中	0	0.0
3.作成していない	13	100.0
計	13	100.0



津波警報発表地域（太平洋側）

	度数	構成比(%)
1.作成済み	3	33.3
2.作成中	1	11.1
3.作成していない	5	55.6
計	9	100.0

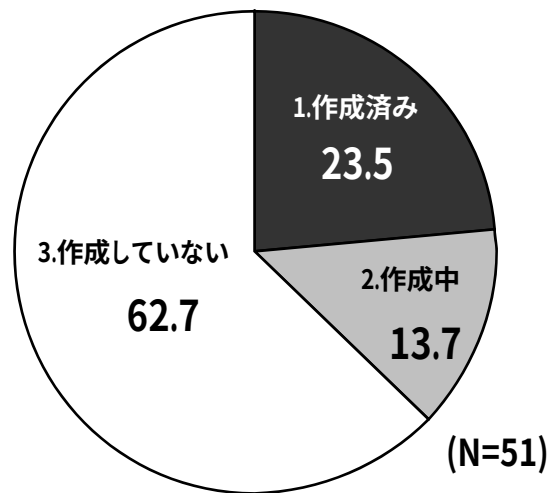


問59 貴市町村管内では、以下の災害に関するハザードマップが作成されていますか。

(3) 洪水

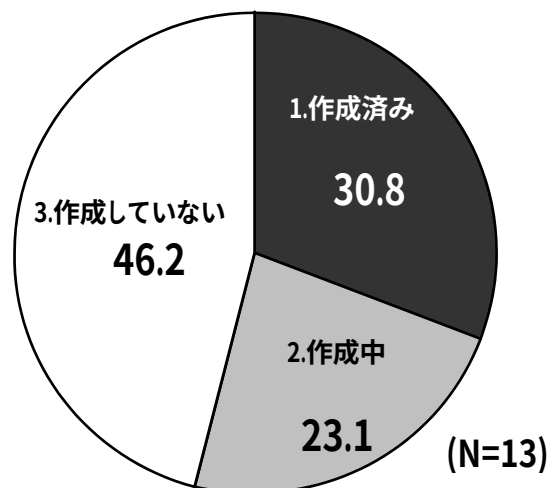
全体

	度数	構成比 (%)
1.作成済み	12	23.5
2.作成中	7	13.7
3.作成していない	32	62.7
計	51	100.0



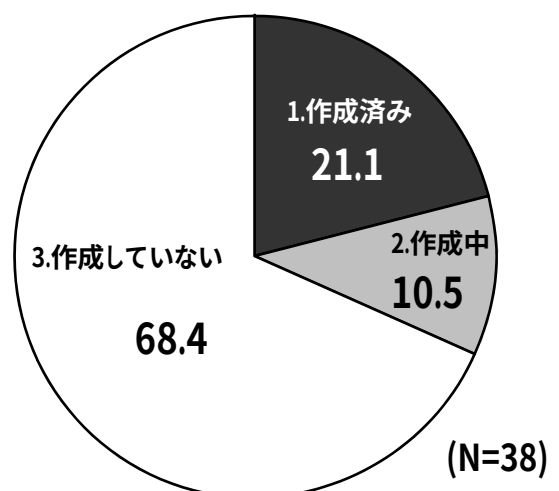
オホーツク海側

	度数	構成比 (%)
1.作成済み	4	30.8
2.作成中	3	23.1
3.作成していない	6	46.2
計	13	100.0



太平洋側

	度数	構成比 (%)
1.作成済み	8	21.1
2.作成中	4	10.5
3.作成していない	26	68.4
計	38	100.0

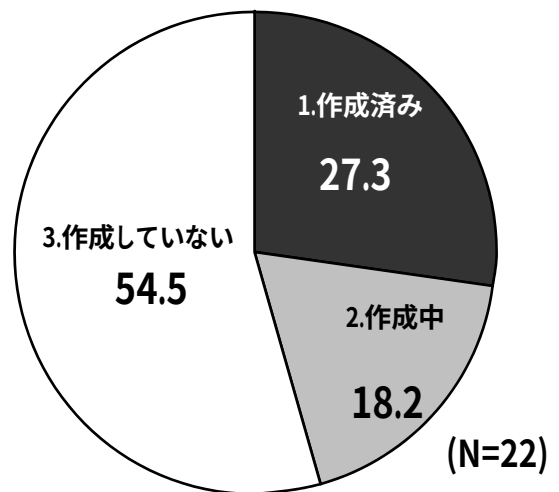


問59 貴市町村管内では、以下の災害に関するハザードマップが作成されていますか。

(3) 洪水

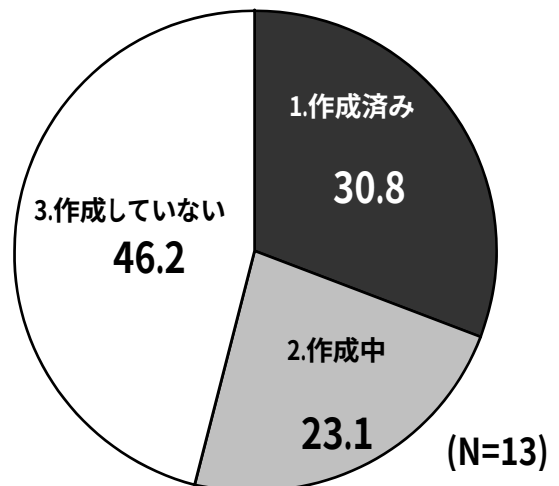
津波警報発表地域（全体）

	度数	構成比 (%)
1.作成済み	6	27.3
2.作成中	4	18.2
3.作成していない	12	54.5
計	22	100.0



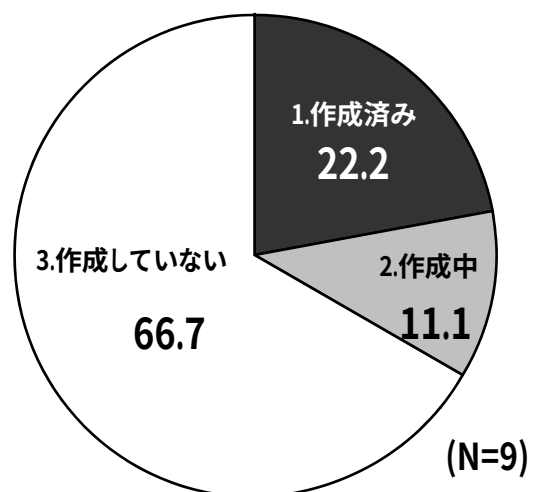
津波警報発表地域（オホーツク海側）

	度数	構成比 (%)
1.作成済み	4	30.8
2.作成中	3	23.1
3.作成していない	6	46.2
計	13	100.0



津波警報発表地域（太平洋側）

	度数	構成比 (%)
1.作成済み	2	22.2
2.作成中	1	11.1
3.作成していない	6	66.7
計	9	100.0

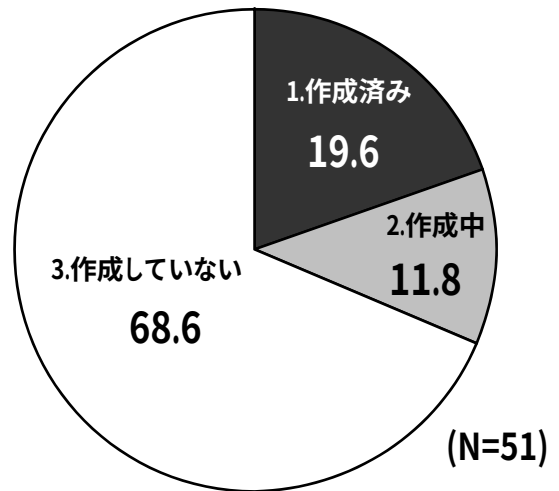


問59 貴市町村管内では、以下の災害に関するハザードマップが作成されていますか。

(4) 土砂災害

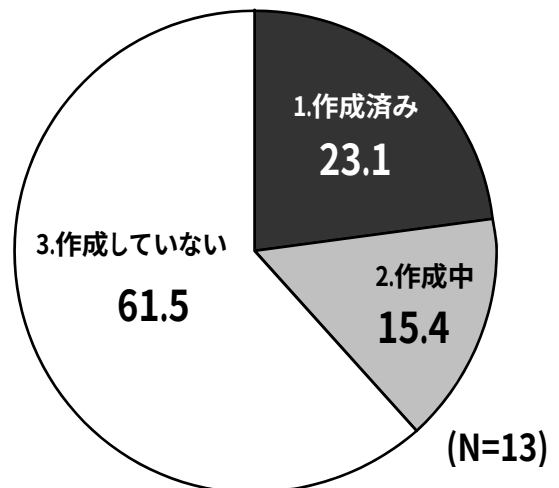
全体

	度数	構成比 (%)
1.作成済み	10	19.6
2.作成中	6	11.8
3.作成していない	35	68.6
計	51	100.0



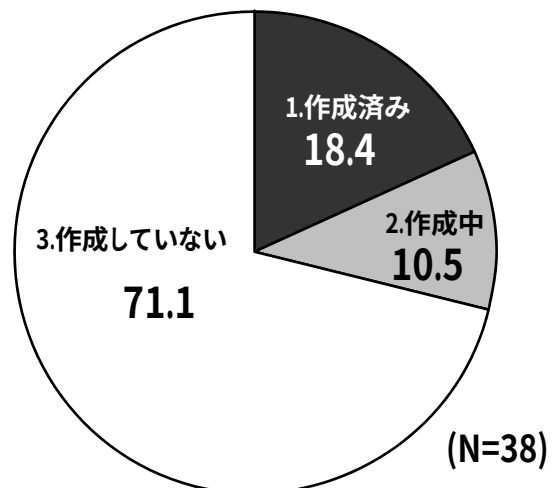
オホーツク海側

	度数	構成比 (%)
1.作成済み	3	23.1
2.作成中	2	15.4
3.作成していない	8	61.5
計	13	100.0



太平洋側

	度数	構成比 (%)
1.作成済み	7	18.4
2.作成中	4	10.5
3.作成していない	27	71.1
計	38	100.0

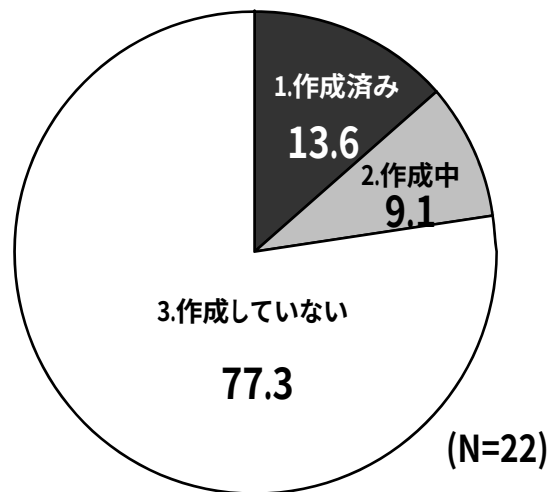


問59 貴市町村管内では、以下の災害に関するハザードマップが作成されていますか。

(4) 土砂災害

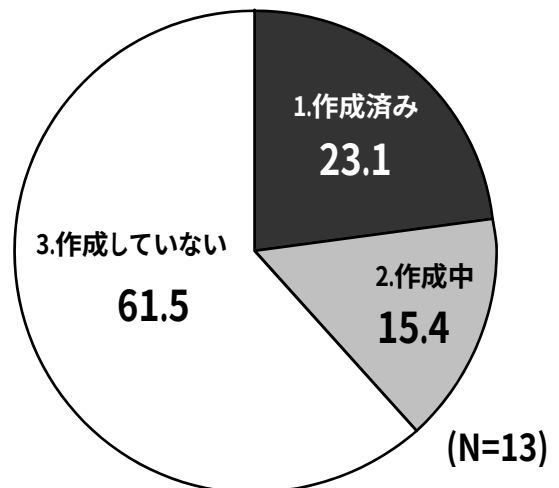
津波警報発表地域（全体）

	度数	構成比 (%)
1.作成済み	3	13.6
2.作成中	2	9.1
3.作成していない	17	77.3
計	22	100.0



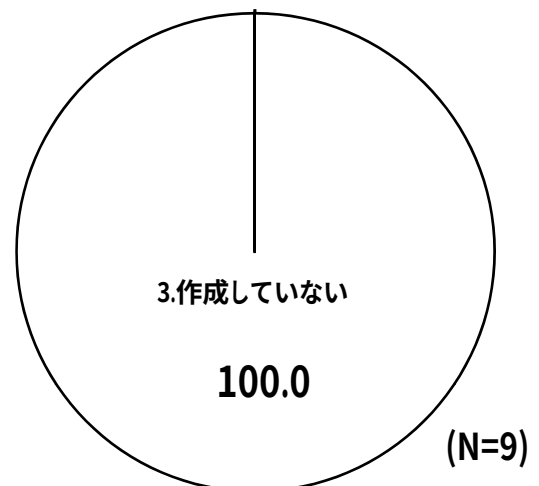
津波警報発表地域（オホーツク海側）

	度数	構成比 (%)
1.作成済み	3	23.1
2.作成中	2	15.4
3.作成していない	8	61.5
計	13	100.0



津波警報発表地域（太平洋側）

	度数	構成比 (%)
1.作成済み	0	0.0
2.作成中	0	0.0
3.作成していない	9	100.0
計	9	100.0

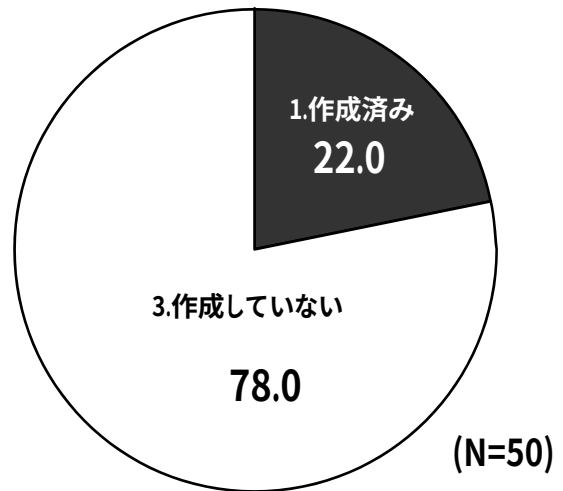


問59 貴市町村管内では、以下の災害に関するハザードマップが作成されていますか。

(5) 火山

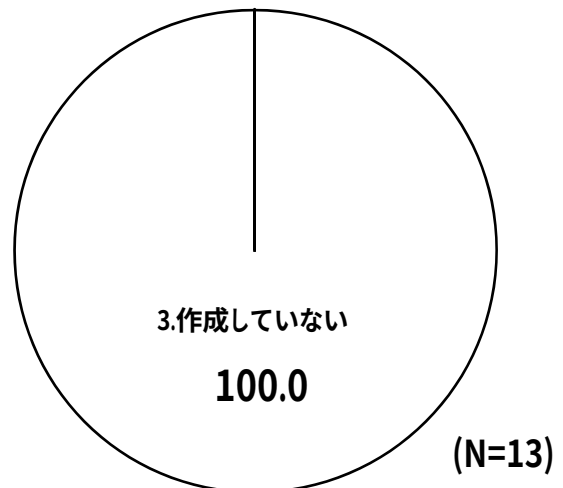
全体

	度数	構成比 (%)
1.作成済み	11	22.0
2.作成中	0	0.0
3.作成していない	39	78.0
計	50	100.0
無回答	1	
合計	51	



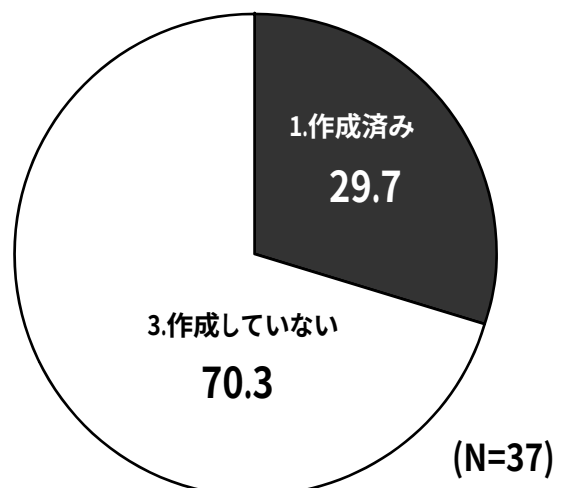
オホーツク海側

	度数	構成比 (%)
1.作成済み	0	0.0
2.作成中	0	0.0
3.作成していない	13	100.0
計	13	100.0



太平洋側

	度数	構成比 (%)
1.作成済み	11	29.7
2.作成中	0	0.0
3.作成していない	26	70.3
計	37	100.0
無回答	1	
合計	38	

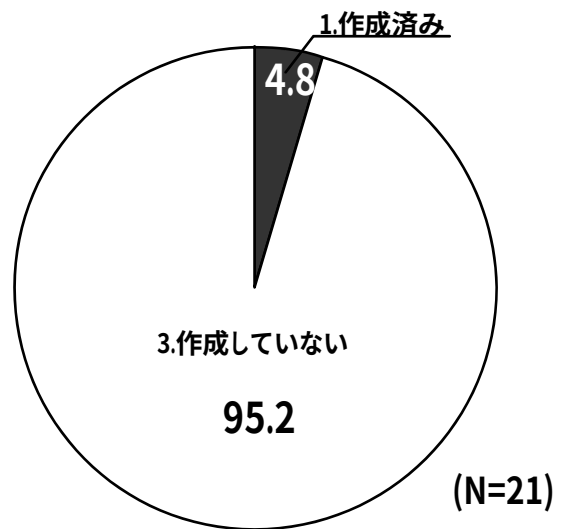


問59 貴市町村管内では、以下の災害に関するハザードマップが作成されていますか。

(5) 火山

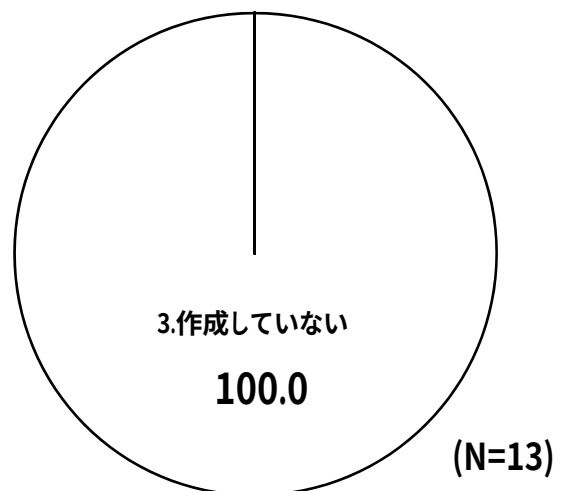
津波警報発表地域（全体）

	度数	構成比 (%)
1.作成済み	1	4.8
2.作成中	0	0.0
3.作成していない	20	95.2
計	21	100.0
無回答	1	
合計	22	



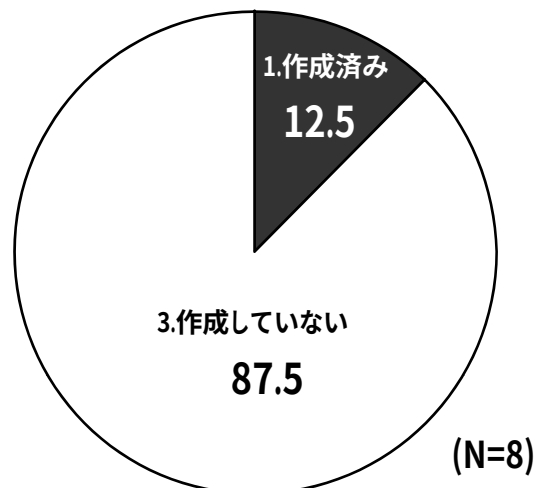
津波警報発表地域（オホーツク海側）

	度数	構成比 (%)
1.作成済み	0	0.0
2.作成中	0	0.0
3.作成していない	13	100.0
計	13	100.0



津波警報発表地域（太平洋側）

	度数	構成比 (%)
1.作成済み	1	12.5
2.作成中	0	0.0
3.作成していない	7	87.5
計	8	100.0
無回答	1	
合計	9	

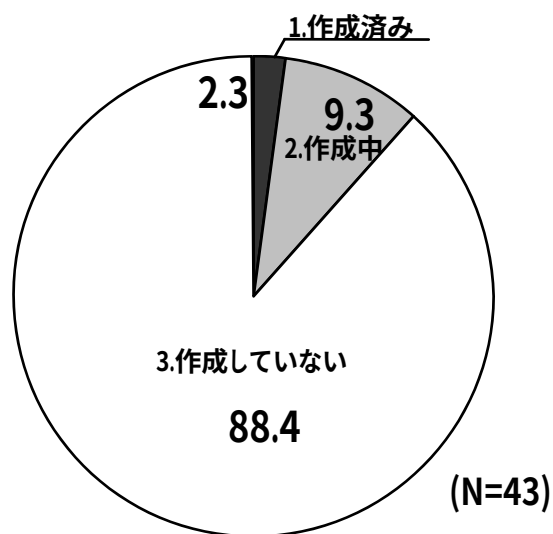


問59 貴市町村管内では、以下の災害に関するハザードマップが作成されていますか。

(6) その他

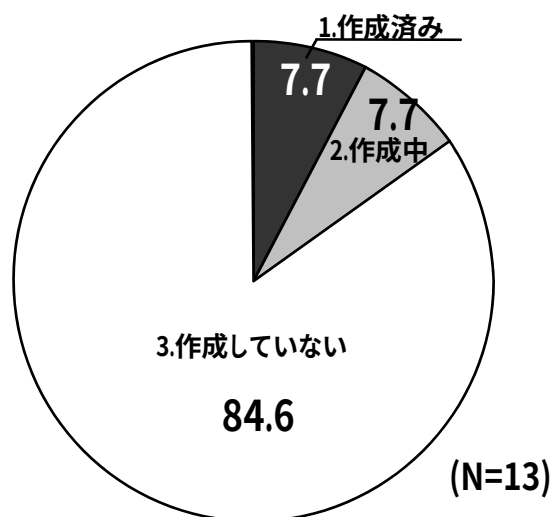
全体

	度数	構成比 (%)
1.作成済み	1	2.3
2.作成中	4	9.3
3.作成していない	38	88.4
計	43	100.0
無回答	8	
合計	51	



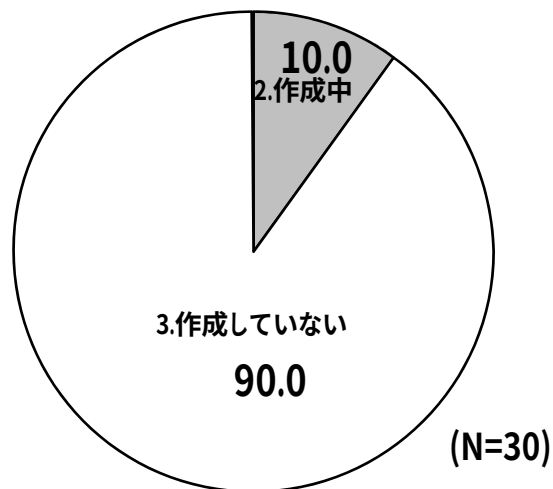
オホーツク海側

	度数	構成比 (%)
1.作成済み	1	7.7
2.作成中	1	7.7
3.作成していない	11	84.6
計	13	100.0



太平洋側

	度数	構成比 (%)
1.作成済み	0	0.0
2.作成中	3	10.0
3.作成していない	27	90.0
計	30	100.0
無回答	8	
合計	38	

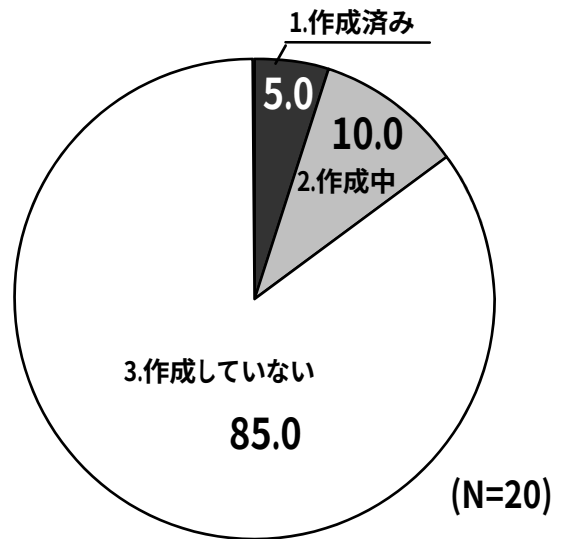


問59 貴市町村管内では、以下の災害に関するハザードマップが作成されていますか。

(6) その他

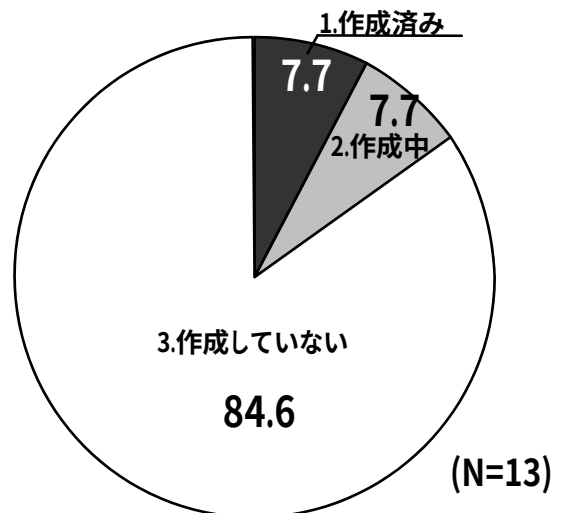
津波警報発表地域（全体）

	度数	構成比 (%)
1.作成済み	1	5.0
2.作成中	2	10.0
3.作成していない	17	85.0
計	20	100.0
無回答	2	
合計	22	



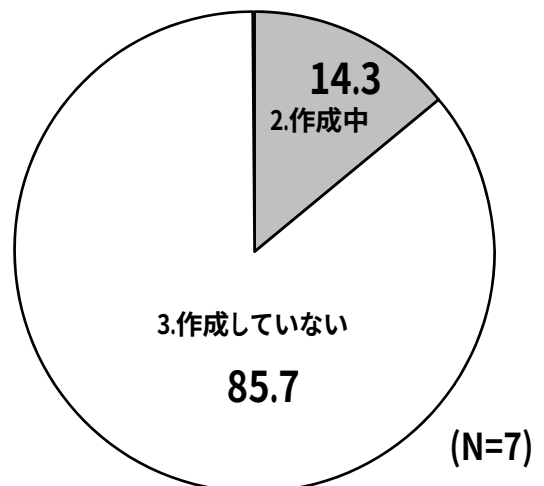
津波警報発表地域（オホーツク海側）

	度数	構成比 (%)
1.作成済み	1	7.7
2.作成中	1	7.7
3.作成していない	11	84.6
計	13	100.0



津波警報発表地域（太平洋側）

	度数	構成比 (%)
1.作成済み	0	0.0
2.作成中	1	14.3
3.作成していない	6	85.7
計	7	100.0
無回答	2	
合計	9	

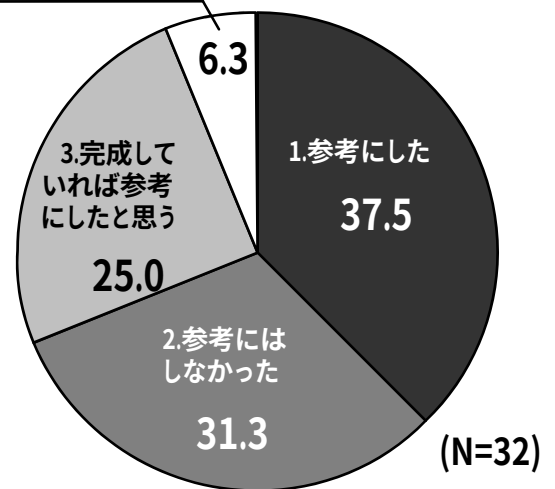


問60 今回の地震における避難勧告・避難指示や災害対策本部設置の判断に際して、上記のハザードマップの情報は参考にしましたか。

全体

	度数	構成比 (%)
1.参考にした	12	37.5
2.参考にはしなかった	10	31.3
3.完成していれば、参考にしたと思う	8	25.0
4.参考にするとは思わない	2	6.3
計	32	100.0
非該当	19	
合計	51	

4.参考にするとは思わない

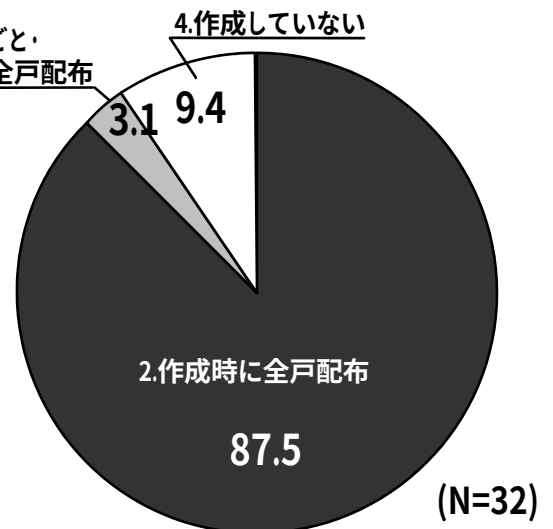


問61 貴市町村では、ハザードマップの配布はどのようにされていますか。現在作成中の場合は、予定されている配布方法でも結構です。

全体

	度数	構成比 (%)
1.希望者のみに配布	0	0.0
2.作成時に全戸配布	28	87.5
3.数年ごと・定期的に全戸配布	1	3.1
4.作成していない	3	9.4
計	32	100.0
非該当	19	
合計	51	

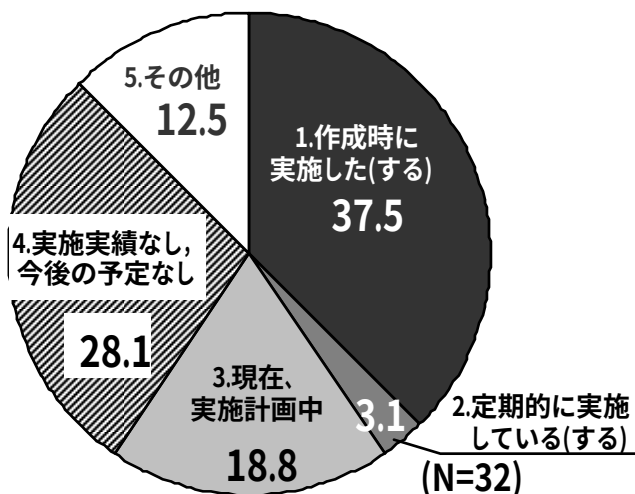
3.数年ごと・定期的に全戸配布



問62 貴市町村では、ハザードマップについての説明会・講習会・学習会などが実施されていますか。現在作成中の場合は、予定されている方法でも結構です。

全体

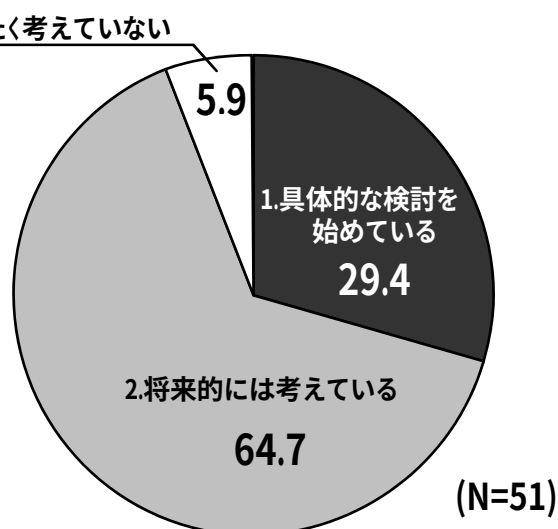
	度数	構成比 (%)
1.作成時に実施した(する)	12	37.5
2.定期的の実施している(する)	1	3.1
3.現在、実施計画中	6	18.8
4.実施実績なし、今後の予定なし	9	28.1
5.その他	4	12.5
計	32	100.0
非該当	19	
合計	51	



問63 今回の津波を踏まえて、津波ハザードマップの作成または見直しを考えていますか。

全体

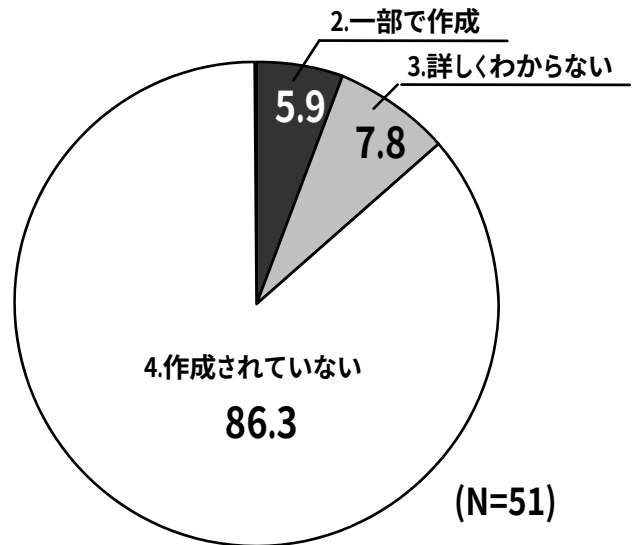
	度数	構成比 (%)
1.具体的な検討を始めている	15	29.4
2.将来的には考えている	33	64.7
3.まったく考えていない	3	5.9
計	51	100.0



問64 貴市町村では、狭い範囲（地区・集落）を対象として、住民も参加して作成する「地域密着型防災マップ」が作成されていますか。

全体

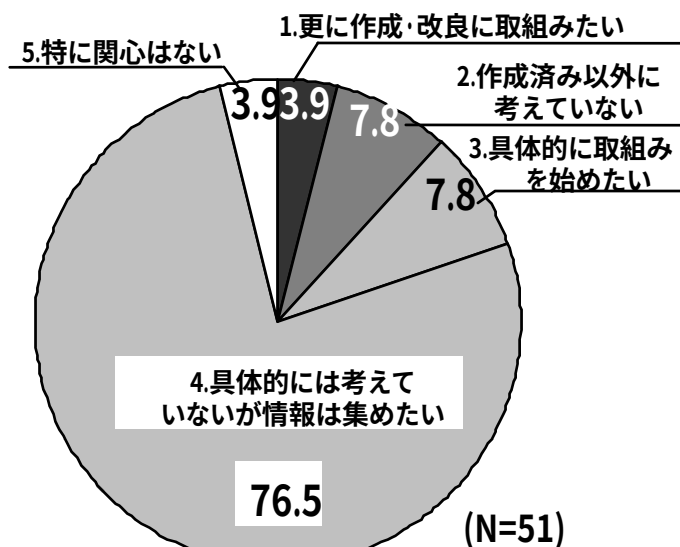
	度数	構成比 (%)
1.ほぼ全域で作成	0	0.0
2.一部で作成	3	5.9
3.詳しくわからない	4	7.8
4.作成されていない	44	86.3
計	51	100.0



問65 今後、貴市町村において「地域密着型防災マップ」に対してどのようにお考えですか。

全体

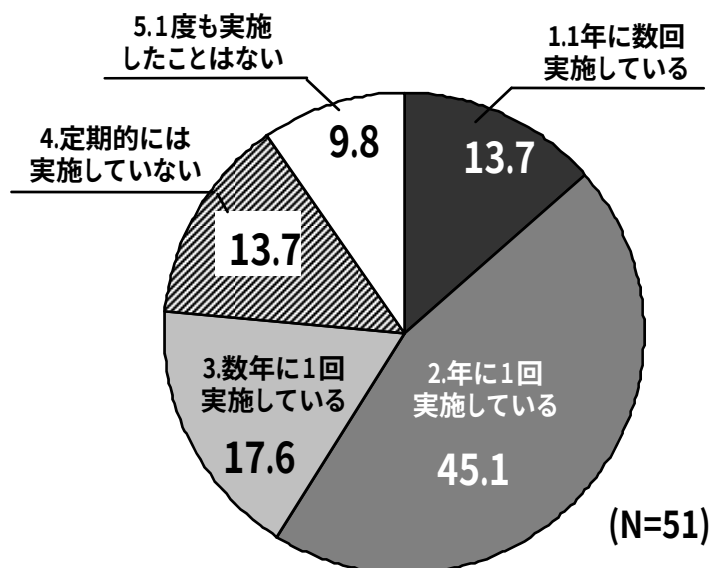
	度数	構成比 (%)
1.更に作成・改良に取り組みたい	2	3.9
2.作成済み以外に考えていない	4	7.8
3.具体的に取り組みを始めたい	4	7.8
4.具体的には考えていないが、情報は集めたい	39	76.5
5.特に興味はない	2	3.9
計	51	100.0



問66 貴市町村において、住民を対象とした避難訓練や防災訓練を実施していますか。

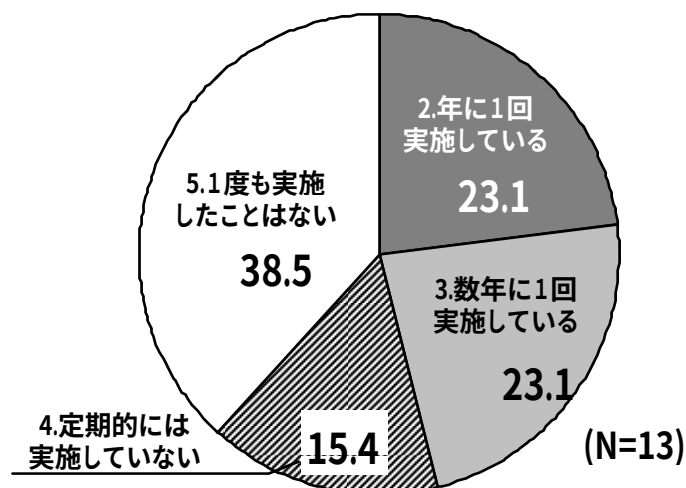
全体

	度数	構成比 (%)
1.1年に数回実施している	7	13.7
2.年に1回実施している	23	45.1
3.数年に1回実施している	9	17.6
4.定期的には実施していない	7	13.7
5.1度も実施したことはない	5	9.8
計	51	100.0



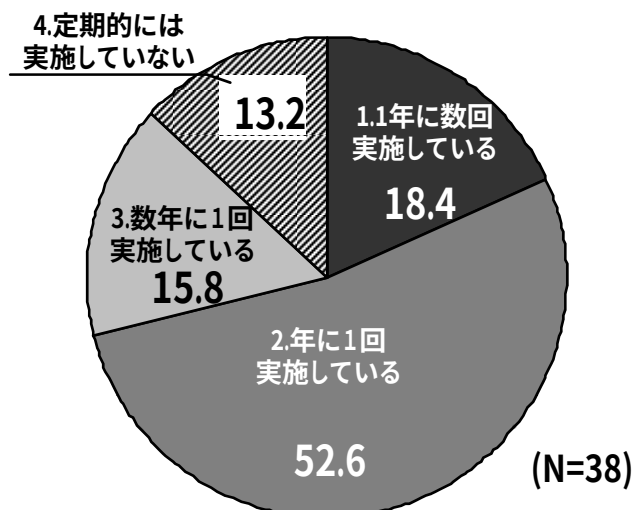
オホーツク海側

	度数	構成比 (%)
1.1年に数回実施している	0	0.0
2.年に1回実施している	3	23.1
3.数年に1回実施している	3	23.1
4.定期的には実施していない	2	15.4
5.1度も実施したことはない	5	38.5
計	13	100.0



太平洋側

	度数	構成比 (%)
1.1年に数回実施している	7	18.4
2.年に1回実施している	20	52.6
3.数年に1回実施している	6	15.8
4.定期的には実施していない	5	13.2
5.1度も実施したことはない	0	0.0
計	38	100.0

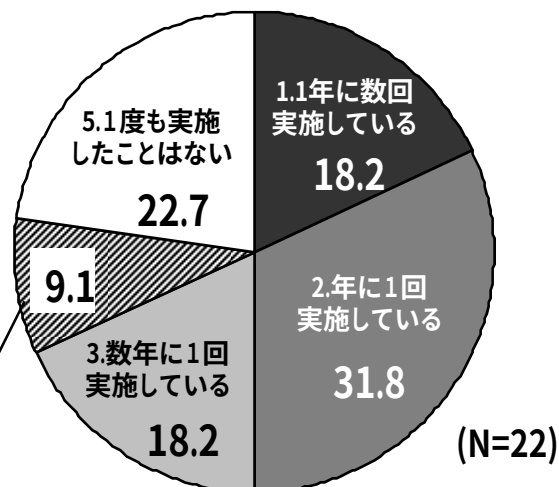


問66 貴市町村において、住民を対象とした避難訓練や防災訓練を実施していますか。

津波警報発表地域（全体）

	度数	構成比 (%)
1.1年に数回実施している	4	18.2
2.年に1回実施している	7	31.8
3.数年に1回実施している	4	18.2
4.定期的には実施していない	2	9.1
5.1度も実施したことはない	5	22.7
計	22	100.0

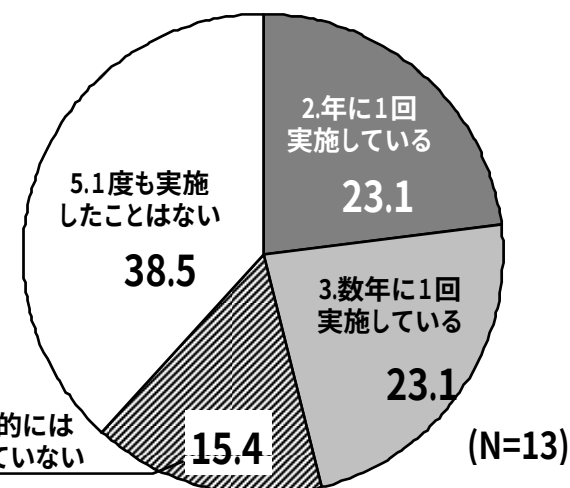
4.定期的には
実施していない



津波警報発表地域（オホーツク海側）

	度数	構成比 (%)
1.1年に数回実施している	0	0.0
2.年に1回実施している	3	23.1
3.数年に1回実施している	3	23.1
4.定期的には実施していない	2	15.4
5.1度も実施したことはない	5	38.5
計	13	100.0

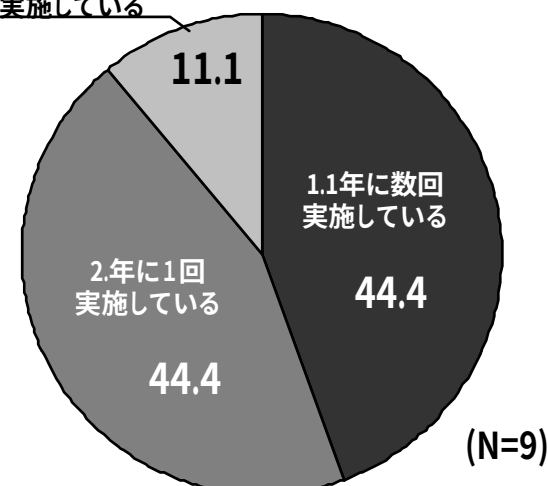
4.定期的には
実施していない



津波警報発表地域（太平洋側）

	度数	構成比 (%)
1.1年に数回実施している	4	44.4
2.年に1回実施している	4	44.4
3.数年に1回実施している	1	11.1
4.定期的には実施していない	0	0.0
5.1度も実施したことはない	0	0.0
計	9	100.0

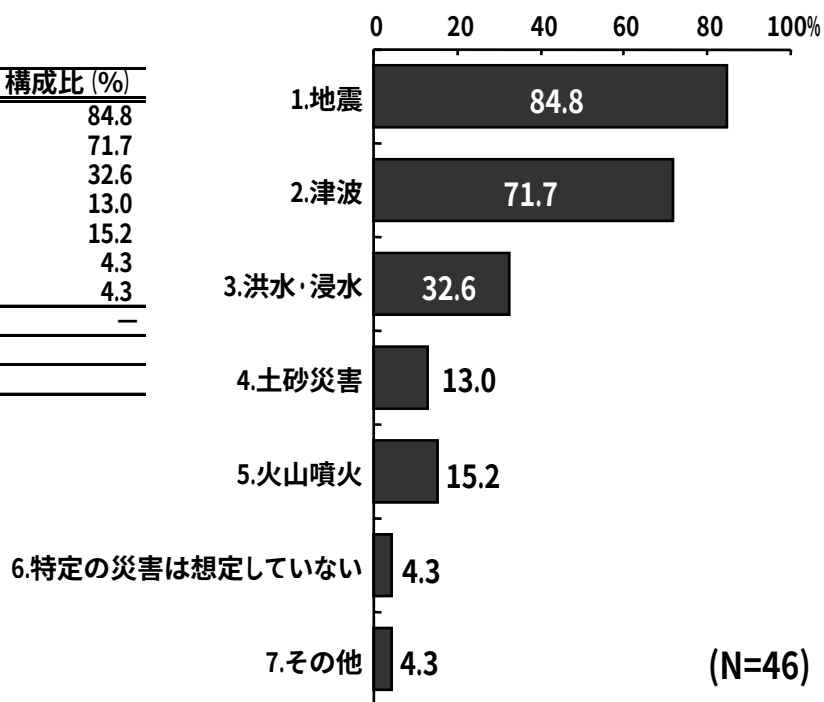
3.数年に1回
実施している



問67 これまでに実施した避難訓練・防災訓練では、どのような災害を想定していましたか。

全体

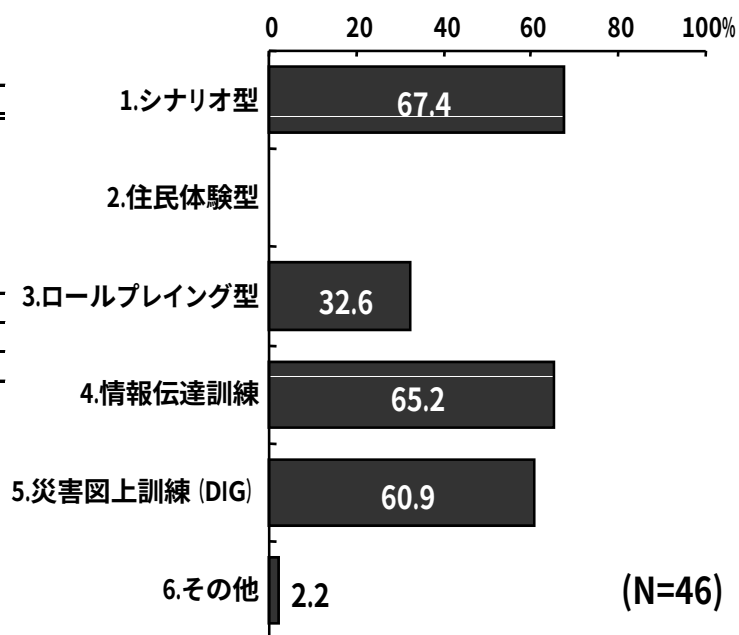
	度数	構成比 (%)
1.地震	39	84.8
2.津波	33	71.7
3.洪水・浸水	15	32.6
4.土砂災害	6	13.0
5.火山噴火	7	15.2
6.特定の災害は想定していない	2	4.3
7.その他	2	4.3
サンプル数	46	—
非該当	5	—
合計	51	—



問68 これまでに実施した避難訓練・防災訓練は、どのような内容でしたか。

全体

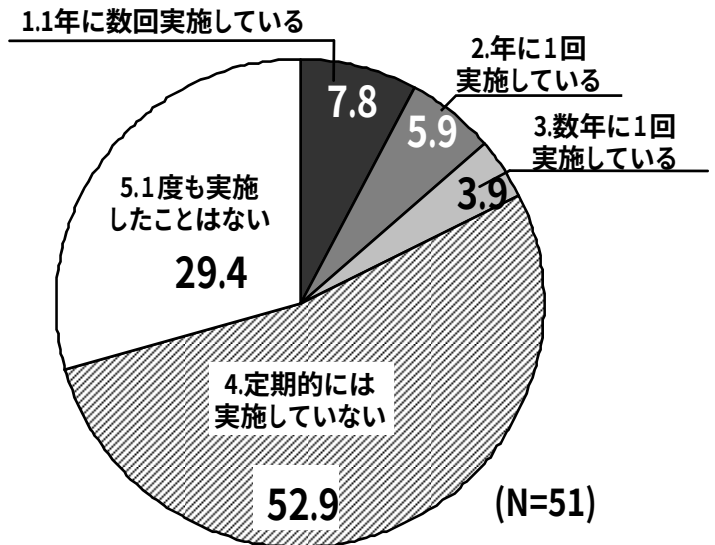
	度数	構成比 (%)
1.シナリオ型	31	67.4
2.住民体験型	0	0.0
3.ロールプレイング型	15	32.6
4.情報伝達訓練	30	65.2
5.災害図上訓練 (DIG)	28	60.9
6.その他	1	2.2
サンプル数	46	—
非該当	5	—
合計	51	—



問69 貴市町村において、住民を対象とした防災講演会や住民説明会等を実施していますか。

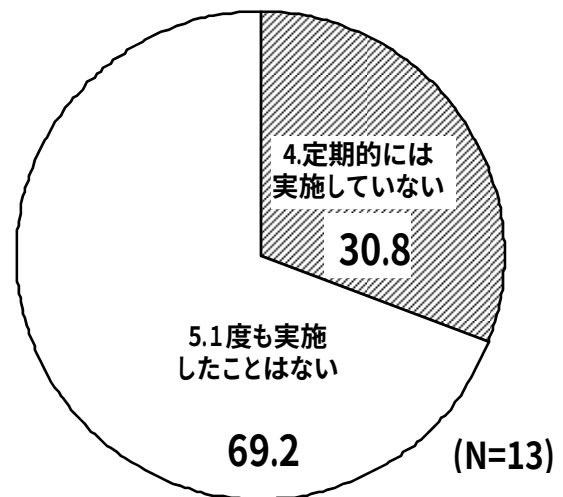
全体

	度数	構成比 (%)
1.1年に数回実施している	4	7.8
2.年に1回実施している	3	5.9
3.数年に1回実施している	2	3.9
4.定期的には実施していない	27	52.9
5.1度も実施したことはない	15	29.4
計	51	100.0



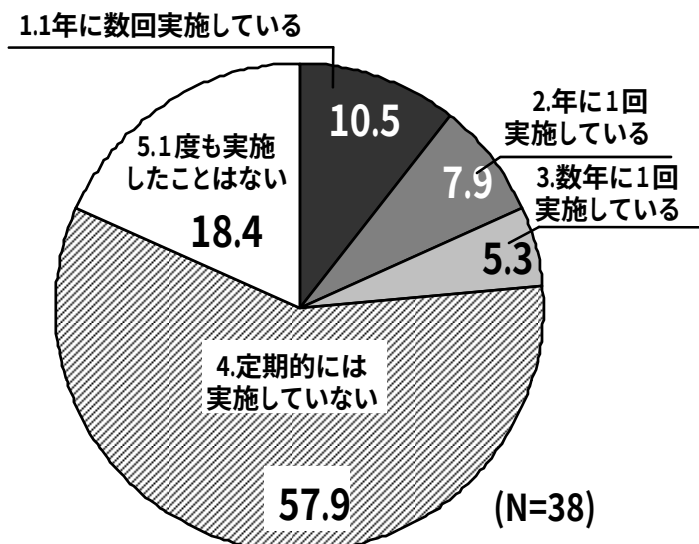
オホーツク海側

	度数	構成比 (%)
1.1年に数回実施している	0	0.0
2.年に1回実施している	0	0.0
3.数年に1回実施している	0	0.0
4.定期的には実施していない	4	30.8
5.1度も実施したことはない	9	69.2
計	13	100.0



太平洋側

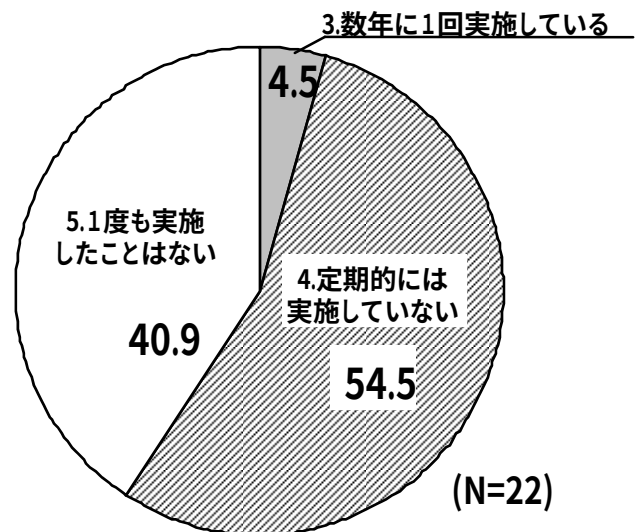
	度数	構成比 (%)
1.1年に数回実施している	4	10.5
2.年に1回実施している	3	7.9
3.数年に1回実施している	2	5.3
4.定期的には実施していない	22	57.9
5.1度も実施したことはない	7	18.4
計	38	100.0



問69 貴市町村において、住民を対象とした防災講演会や住民説明会等を実施していますか。

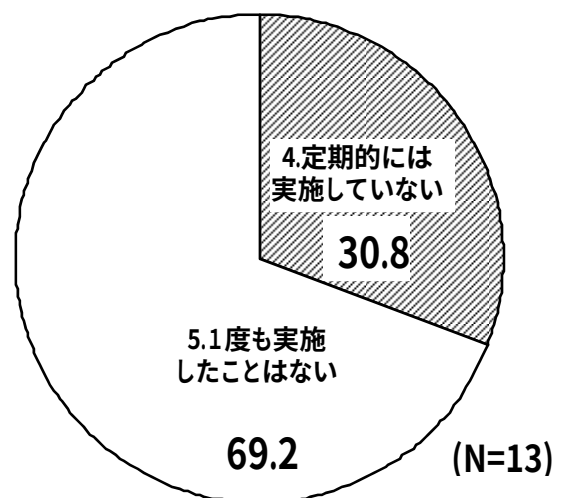
津波警報発表地域（全体）

	度数	構成比 (%)
1.1年に数回実施している	0	0.0
2.年に1回実施している	0	0.0
3.数年に1回実施している	1	4.5
4.定期的には実施していない	12	54.5
5.1度も実施したことはない	9	40.9
計	22	100.0



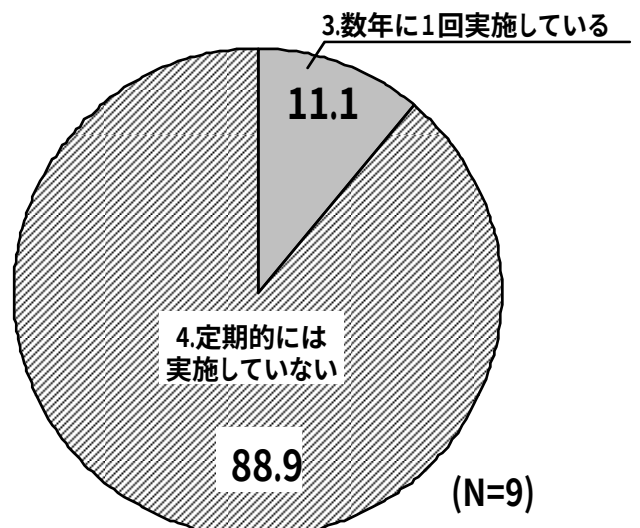
津波警報発表地域（オホーツク海側）

	度数	構成比 (%)
1.1年に数回実施している	0	0.0
2.年に1回実施している	0	0.0
3.数年に1回実施している	0	0.0
4.定期的には実施していない	4	30.8
5.1度も実施したことはない	9	69.2
計	13	100.0



津波警報発表地域（太平洋側）

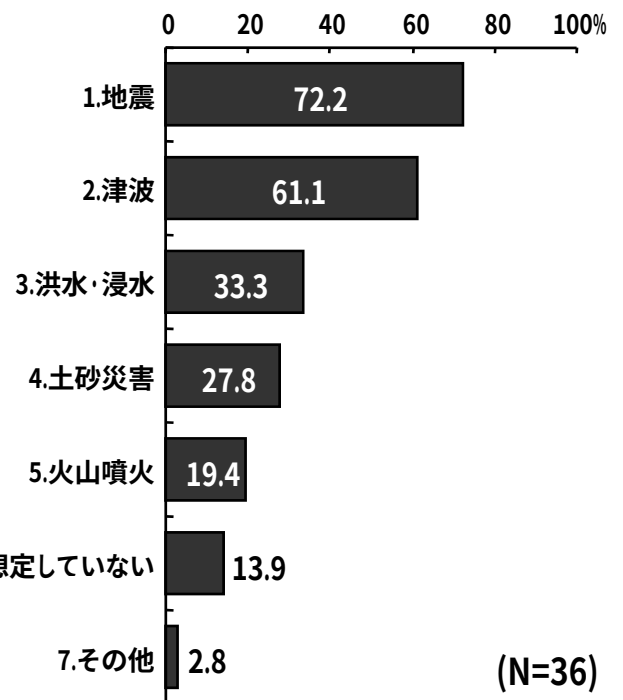
	度数	構成比 (%)
1.1年に数回実施している	0	0.0
2.年に1回実施している	0	0.0
3.数年に1回実施している	1	11.1
4.定期的には実施していない	8	88.9
5.1度も実施したことはない	0	0.0
計	9	100.0



問70 これまでに実施した防災講演会や住民説明会等では、どのような災害を想定していましたか。

全体

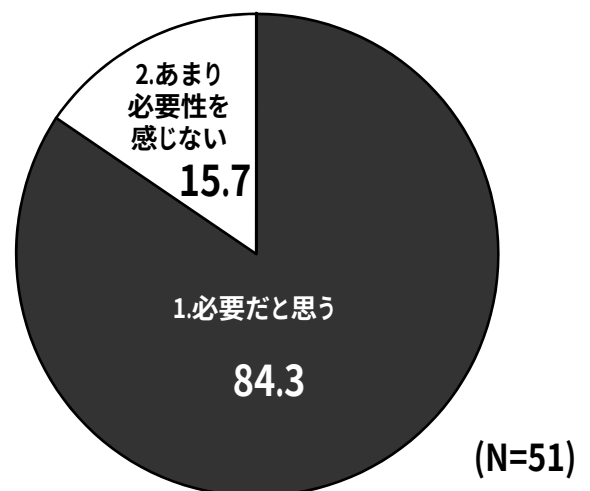
	度数	構成比 (%)
1.地震	26	72.2
2.津波	22	61.1
3.洪水・浸水	12	33.3
4.土砂災害	10	27.8
5.火山噴火	7	19.4
6.特定の災害は想定していない	5	13.9
7.その他	1	2.8
サンプル数	36	—
非該当	15	—
合計	51	—



問71 今回の地震・津波を踏まえて、貴市町村において、住民を対象とした、津波に関する防災講演会や住民説明会等の実施の必要性についてどのようにお考えですか。

全体

	度数	構成比 (%)
1.必要だと思う	43	84.3
2.あまり必要性を感じない	8	15.7
3.不要だと思う	0	0.0
計	51	100.0



第2章

行政ヒアリング調査結果

行政ヒアリング調査結果一覧－１（釧路市・太平洋沿岸）

自治体名		釧路市
ヒアリング日時		12月11日(月)
0	当日の動き	20:15 地震発生(震源地:千島列島、釧路市:震度2) 20:29 津波警報(太平洋沿岸東部) 防災無線放送で避難勧告 (NHK・消防と協定)(釧路1回目) 20:43 オフトーク通信で避難勧告(音別1回目) 20:45 災害対策本部設置(釧路)・災害対策、地域本部設置(音別) 避難勧告確認 (釧路:2,507世帯／4,567人、音別:173世帯／343人、 計:2,680世帯／4,910人) 20:58 オフトーク通信で避難勧告(音別2回目) 21:15 防災無線放送(釧路2回目) 21:43 津波の第1波を観測(釧路港:20cm) 23:30 津波警報解除 津波注意報に変わる 避難勧告解除 23:40 災害警戒本部へ切り替え(釧路) 災害警戒地域本部へ切り替え(音別) 23:50 オフトーク通信で避難勧告解除(音別) 1:30 津波注意報解除 災害警戒本部解散(釧路)・災害警戒、地域本部解散(音別)
1	地震のゆれ	◆地震のゆれは感じなかった。
2	津波に関する避難勧告・指示の基準	◆津波予報や地震の状況により、基準を決めている。 ◆津波注意報・警報発表時はともに避難勧告。 ◆避難指示はなし。
3	職員の徴集基準	◆徴集基準は決まっている ◆震度4以上、津波注意報・警報時で徴集。 ◆各関係機関より、1,036人を動員
4	情報発信	◆避難勧告(釧路:2,507世帯／4,567人、音別:173世帯／343人、 計:2,680世帯／4,910人) ◆防災行政無線(屋外拡声器):37箇所より情報発信 ◆防災行政無線(戸別受信機):音別で700個(NTTの有線回線) ◆夜間であったため、消防本部より情報発信。昼間であれば、役所より行うことになっている。 ◆NHKと協定。
5	住民の避難状況	◆避難所に避難した住民は、357人／4,910人。 ◆高台やその他未確認分を含めると357人×2～3倍の避難人数と考えられる。 ◆H15では1,200人程度で、今回のほうが少ないと思われる。 ◆今回の地震では、ゆれが小さかったことや過去の津波経験、さらに近年の地震の頻発により、避難率が低調に終わったと思われる。 ◆これまでの地震による被害は、S27十勝沖地震で倒壊により17名の方が、また釧路沖地震では2名の方が亡くなっている。 ◆高台に逃げた人など、正確な人数の把握は難しい。 ◆災害時には民間ホテルで受入れ可能なように提携している。食料配布もOK。
6	住民の避難手段	◆車による避難が多かった。 ◆車の渋滞が課題。朝のラッシュ時のような渋滞。 ◆住民の避難に加え、法人の避難。(会社へ出勤等) ◆車で釧路空港まで逃げた人がいた。 ◆車による避難を考慮した避難計画の策定が必要。 ◆冬期避難を考えると、車による避難は規制できない。車内での滞在。

行政ヒアリング調査結果－２（釧路市・太平洋沿岸）

自治体名		釧路市
ヒアリング日時		12月11日(月)
7	ゆれが小さかったこと・津波警報が先に出たこと・震源が遠かったことの影響	◆ ゆれを感じなかったことは、安心感を与えたのではないか。不安感がない。 ◆ 津波情報が震度情報より先に出たことは、ゆれを体感できなかったため、それほど意識されなかったのではないか。 ◆ 一部の報道では、川を覗き込む住民がいて、市が注意したとの報道があった。
8	ハザードマップ・防災訓練	◆ 現在、北海道が行った500年確率の浸水予測をもとにハザードマップを作成している。 ◆ 500年確率の津波については、港湾地区で5～6mの浸水区域を表示するように考えている。 ◆ 作成したハザードマップは、全戸に配布予定。 ◆ 説明会を開催し、前回との変更点の説明を行うことを考えている（17地区）。
9	今回、明らかになった課題	◆車の渋滞が課題。車を考慮した避難計画の策定が必要。
10	その他	◆ 総合防災訓練では、津波災害時も想定し実施している。 ◆ 災害時要援護者に対しては、地域を対象にした啓蒙や訓練が必要と考えている。 ◆ 地震時には、津波に加え、火災が重要な問題と考えている。 ◆ 自主防災組織はあるものの、都市化などにより、町内会に入っている人が50％程度であることから、それ以外の情報伝達方法を考える必要がある。 ◆ 特に、特定地域に対して津波避難訓練が必要と考えている。 ◆ ボランティア活動も重要。

行政ヒアリング調査結果－３（釧路町・太平洋沿岸）

自治体名		釧路町
ヒアリング日時		12月11日(月)
0	当日の動き	20:15 地震発生 (震源地:千島列島、震度1) 20:29 津波警報(太平洋沿岸東部) 20:35 避難勧告発令(全地区)(自動放送) 避難勧告(全域) 9,076世帯 22,074人 ※その他に山沿いを除き4回の避難 勧告。うち2回は市街地(川沿い)。 昆布森地区沿岸は4回。 20:40 災害対策本部設置・温水プール来館 者退館指示 20:50 調査及び避難所解説のため職員 派遣・沿岸地区4小中学校開放 21:43 津波の第1波を観測 (釧路港:20cm) 23:30 津波警報解除 津波注意報に変更 23:35 満潮 23:40 各避難所職員帰庁指示 23:50 避難勧告解除・対策本部の縮小 0:30 対策本部解散 1:30 津波注意報解除
1	地震のゆれ	◆ 若干ゆれたように感じた。 ◆ 感じた人と感じない人は、半々くらいではないか。
2	津波に関する避難 勧告・指示の基準	◆ 避難勧告・避難指示それぞれの基準は無い。 ◆ 津波警報発令時などその時の状況を考慮し、避難指示または勧告を出すこと になっている。
3	職員の徴集基準	◆ 徴集基準は決まっている ◆ 震度4以上、津波注意報・警報で徴集。 ◆ ほとんどが出動した。
4	情報発信	◆ 20:35に自動放送により全域へ避難勧告(9,076世帯/22,074人) ◆ 自動放送は防災行政無線(屋外拡声器)により実施 ◆ 夜間であったため、消防より情報発信。 ◆ 昼間であれば、役場が実施。 ◆ 初回その他、山沿いを除いて4回の避難勧告。川沿いの市街地は2回、昆布森地区沿岸は4回。 ◆ 消防団も含め12台の広報車により避難勧告を実施 ◆ 昆布森地区などに防災行政無線が到達しないところがあるのが課題。
5	住民の避難状況	◆ 避難所に避難した住民は、298人/22,074人。 ◆ 298人の内訳は、避難所が131人、避難所駐車場が150人、避難場所・高台が600人。 ◆ 数字だけ見ると低く見えるが、実際には昆布森地区沿岸では30～40%が逃げている(300世帯、800人くらい)。 ◆ しかし、昆布森地区の漁業に携わっている人は、これまでの経験から、自分で判断して逃げない人がいたと聞いている。 ◆ 高台に逃げた人など、正確な人数の把握は難しい。
6	住民の避難手段	◆ 車による避難が多かった。(高台への避難) ◆ 冬期避難、避難所までの距離、長時間の滞在、情報取得を考えると、車による避難は必ずしもだめと言えない。

行政ヒアリング調査結果一覧－４（釧路町・太平洋沿岸）

自治体名		釧路町
ヒアリング日時		12月11日(月)
7	ゆれが小さかったこと・津波警報が先に出たこと・震源が遠かったことの影響	◆ ゆれを小さいのに、津波警報が出たことは、どうしてだろうという疑問が生じたのではないか。 ◆ しかし、それでも情報取得はしようとしていたのではないか。 ◆ 地震は頻繁、今回ゆれは小さかった。幸いにも過去は津波が来なかった、被害がなかった。このような理由により、住民は逃げなかった。
8	ハザードマップ・防災訓練	◆ 平成8年くらいに作成したものがある。 ◆ 来年度以降の耐震化事業の中で、500年確率のハザードマップを作成したいと考えている。必要性は感じている。 ◆ 防災行政無線の高台への設置を考えている ◆ ハザードマップの作成時は、災害イメージの固定化に注意。安心マップに成りかねない。 ◆ まず、情報開示を行った後に、逃げる住民をどのように作るかが課題。
9	今回、明らかになった課題	◆ 避難先での情報取得が課題。いつまで避難していれば良いんだといった情報。 ◆ 情報がなければ、戻って被害に会う可能性がある。 ◆ 役場の言うことを聞かずに戻った住民もいた。 ◆ 住民と行政の心の距離感を埋める必要がある。 ◆ 避難した住民への情報提供が課題・・・住民からの苦情があった(いつまでいればいい?) ◆ 車による避難計画。車の中では寒くても滞在できる、情報を取得できるなどメリットも。 ◆ 津波が来たらすぐ避難。心の中では知っていても、逃げない住民。逃げる住民をどのように作るかが課題。
10	その他	◆ チリ地震や十勝沖地震では、沿岸地域で若干被害があったものの、大きなものではなかった。 ◆ 過去のなんでもなかったという経験が、津波避難率低調の原因と思われる。 ◆ 今回は大丈夫だった。次も、その次も大丈夫だろう。しかし、その次は・・・津波避難は、最後の1回が丈夫なように逃げるものである。 ◆ 津波てんでんこについて説明。

行政ヒアリング調査結果一覧－５（厚岸町・太平洋沿岸）

自治体名		厚 岸 町
ヒアリング日時		12月11日(月)
0	当日の動き	20:15 地震発生(震源地:千島列島、震度1) 20:29 津波警報(太平洋沿岸東部) 20:34 防災行政無線(消防防災無線)と消防広報車で周知 「津波警報が発表されたこと」と「海岸に近づかないこと」の注意喚起 20:45 災害対策本部設置 20:53 避難勧告発令(役場防災無線)と消防広報車で周知 沿岸地域:2,750世帯 7,000人 21:03 避難勧告(再勧告)[役場防災無線] 津波到達予想時刻についても放送 21:29 津波の第1波を観測(根室港:10cm) 21:30 指定避難所以外の避難所開設(5箇所) 21:43 津波の第1波・最大波を観測 (釧路港:第1波20cm、根室港:最大波40cm) 21:50 避難勧告(再々勧告)[役場防災無線] 23:30 津波警報解除 津波注意報に変更 23:50 避難勧告解除 0:15 総務課のみの配備体制に変更 0:30 対策本部解散 1:30 津波注意報解除 総務課配備体制の解除
1	地震のゆれ	◆地震はほとんど感じなかった。
2	津波に関する避難勧告・指示の基準	◆避難勧告は、津波注意報・警報時。 ◆避難指示は、首長判断による。
3	職員の徴集基準	◆震度4以上、津波注意報・警報で徴集。 ◆272名が出動。職員のほとんどが出動した。
4	情報発信	◆20:53に避難勧告(20:34は避難勧告ではなく、注意喚起)。 ◆情報発信は、屋外拡声器、戸別受信機、広報車により実施。 ◆H5、6年釧路沖地震・東方沖地震(死者なし・道路陥没程度、チリ沖は3名なくなっている)を契機に戸別受信機を全戸配布(整備費:数億、維持管理費:数百万／年)
5	住民の避難状況	◆避難所に避難した住民は、1,148人／7,000人。 ◆数字だけ見ると低く見えるが、実際には高台に逃げた人やそのほかのところに逃げた人がいると思うので、もう少し数字は高いと思う。 ◆高台に逃げた人など、正確な人数の把握は難しい。
6	住民の避難手段	◆車による避難が多かった。(高台への避難) ◆冬期避難、避難所までの距離、長時間の滞在、情報取得を考えると、車による避難は必ずしもだめと言えない。

行政ヒアリング調査結果一覧－ 6 （厚岸町・太平洋沿岸）

自治体名		厚 岸 町
ヒアリング日時		12 月 11 日 (月)
7	ゆれが小さかったこと・津波警報が先に出たこと・震源が遠かったことの影響	◆ゆれがちいさかったことは、マイナス要因になったと考えられる。 ◆津波情報が先に出たが、ゆれが小さかったため、津波情報が先立ったことは、それほど影響していないと思われる。 ◆釧路・根室管内は、震度4～6が多発。しかも、いずれも大きな津波が来襲していない状況。 ◆地震は頻繁、今回ゆれは小さかった。幸いにも過去は津波が来なかった、被害がなかった。このような理由により、住民は逃げなかった。 ◆本当に津波が来襲した場合は、住民の意識として非常に危険な状況にあると思われる。
8	ハザードマップ・防災訓練	◆平成8年に標高10mまで塗った津波ハザードマップを作成した。 ◆H16に開発のほうで作成を行っている。津波に関しては、開発の道路部局や港湾部局となにかしらの取り組みは行っている。 ◆今年9月上旬に防災訓練を行っている。2年に1回。住民の関心が低い。 ◆防災訓練では、500年確率の津波の動画を見せたりしているが。
9	今回、明らかにになった課題	◆津波が来たらすぐ避難。心の中では知っていても、逃げない住民。逃げる住民をどのように作るかが課題。 ◆避難先での情報提供が課題。いつまで避難していれば良いのか、見通しがない状況に住民は不安感。 ◆避難した住民への情報提供が課題・・・住民からの苦情があった（いつまでいればいい？） ◆車の渋滞が課題。渋滞は2箇所ほど想定される。 ◆避難率が上がった場合、さらに渋滞が予想される。車による避難計画・避難路計画が必要。 ◆錦タワーのような施設整備も有効と考えられる。 ◆車の中では寒くても滞在できる、情報を取得できるなどメリットもある。
10	その他	◆チリ地震では3名の方がなくなったが、十勝沖地震などでは沿岸地域で若干被害があったものの、大きなものではなかった。 ◆過去のなんでもなかったという経験が、津波避難が低い原因と思われる。 ◆今回は大丈夫だった。次も、その次も大丈夫だろう。しかし、その次は・・・。津波避難は、最後の1回が大丈夫なように逃げるものである。 ◆避難に当たって、長時間になったらどうするんだとか、食べ物はと言った苦情があった。 ◆津波てんでんこについて説明。

行政ヒアリング調査結果一覧－ 7 （浜中町・太平洋沿岸）

自治体名		浜 中 町
ヒアリング日時		12 月 11 日 (月)
0	当日の動き	20:15 地震発生(震源地:千島列島、根室市:震度1) 20:29 津波警報(太平洋沿岸東部) 災害対策本部設置 20:33 海岸地区に避難勧告 防災行政無線(消防防災無線)により放送 海岸地区:1,424世帯 4,272人 20:37 海岸地区に避難勧告(2回目) 防災行政無線(消防防災無線)により放送 20:48 水門閉鎖完了 20:00 陸間閉鎖・桶管閉鎖完了 21:29 津波の第1波を観測(根室港:10cm) 21:30 指定避難所以外の避難所開設(5箇所) 21:43 津波の最大波を観測(根室港:最大波40cm) 21:49 津波の最大波を観測(厚岸港:最大波35cm) 23:30 津波警報解除 津波注意報に変更 1:30 津波注意報解除 避難勧告の解除 1:56 災害対策本部解散
1	地震のゆれ	◆ 地震はほとんど感じなかった。
2	津波に関する避難 勧告・指示の基準	◆ 津波注意報・警報時・・・避難勧告 ◆ 大津波警報時・・・避難指示
3	職員の徴集基準	◆ 震度4以上、津波注意報・警報で徴集。 ◆ 職員のほとんどが出動した。
4	情報発信	◆ 20:33に避難勧告。 ◆ 本当は20:29津波警報発表と同時に自動放送で全戸に情報が流れるはずが流れなかった。システムの障害。訂正中。 ◆ 鳴らなかった場合や夜間など、消防から広報を実施するように、事前に申し合わせている。 ◆ 屋外拡声器、戸別受信機、広報車により実施。 ◆ 戸別受信機全戸配布。ポータブル型。持ち運び可能 ◆ 屋外拡声器は45基設置。
5	住民の避難状況	◆ 避難所に避難した住民は、1,537人／4,272人。 ◆ 霧多布地区では、1,200人と大部分の人が避難している。 ◆ 数字だけ見ると低く見えるが、実際には高台に逃げた人やそのほかのところに逃げた人がいると思うので、もう少し数字は高いと思う。でも100%には遠い数字。 ◆ 高台に逃げた人など、正確な人数の把握は難しい。 ◆ 若い人であっても、むしろチリ地震の怖さを知っているはずの高齢者よりも逃げている。 ◆ 近年起こっているスマトラ沖地震や南西沖地震などが影響していると考えられる。 ◆ 災害弱者の援助は、役場で3～4人は対処したが、実際には難しい。 ◆ これ以上は、各町内会で対応しえらうしかない。今回の地震でも、災害弱者への支援が見られた。 ◆ 霧多布地区では、避難困難者の名簿を作っており、今後は別の地区でも実施する予定。
6	住民の避難手段	◆ 車による避難が多かった。(高台への避難) ◆ 冬期避難、避難所までの距離、長時間の滞在、情報取得を考えると、車による避難は必ずしもだめと言えない。

行政ヒアリング調査結果一覧－ 8 （浜中町・太平洋沿岸）

自 治 体 名		浜 中 町
ヒアリング日時		12 月 11 日 (月)
7	ゆれが小さかったこと・津波警報が先に出たこと・震源が遠かったことの影響	◆ ゆれがちいさかったことは、マイナス要因になったと考えられる。 ◆ 津波情報が先に出たが、ゆれが小さかったため、津波情報が先立ったことは、それほど影響していないと思われる。
8	ハザードマップ・防災訓練	◆ 津波ハザードマップはないが、必要性は感じている。 ◆ 配布時に津波避難の啓発が出来れば。 ◆ 500年確率の津波では、浜中町は9m浸水。 ◆ 津波に関する防災訓練は行っている。ゆうゆでは炊き出し等も行った。しかし、最近の参加率低下が懸念。 ◆ 町内会WSなどを開催し、北海道が作った500年確率の津波の動画を見せたりしている。 ◆ 津波に関する教育的なことを広報誌に記載る。 ◆ 高校の出前講座で、津波の勉強や防災ステーション（水門・陸間の遠隔操作システム、設備も完備の見学。
9	今回、明らかになった課題	◆ 津波が来たらすぐ避難。心の中では知っていても、逃げない住民。逃げる住民をどのように作るかが課題。 ◆ 避難場所のゆうゆで、駐車場にいる人からスピーカーの放送が聞き取れないという苦情があった。 ◆ 避難した住民への情報提供が課題・・・住民からの苦情があった（いつまでいればいい？） ◆ 車の中では寒くても滞在できる、情報を取得できるなどメリットもある。 ◆ 戸別受信機はポータブル型。しかし、それを認識していない住民が多い。PR 不足。周知徹底が必要。 ◆ 避難勧告が解除になっていないのに、注意報への変更で帰る人が見られた。
10	その他	◆ 昭和35年のチリ地震では11名の方がなくなり、家屋被害なども大きな被害であった。 ◆ また、昭和27年の十勝沖地震では13名の方がなくなり、家屋被害は多大なものであった。 ◆ しかし、最近の地震では津波による被害は無し。 ◆ 最近の地震経験が、津波避難率が低い原因。 ◆ 今回は大丈夫だった。次も、その次も大丈夫だろう。しかし、その次は・・・。津波避難は、最後の1回が丈夫なように逃げるものである。 ◆ 避難に当たって、長時間になったらどうするんだとか、食べ物はと言った苦情があった。 ◆ 津波てんでんこについて説明。

行政ヒアリング調査結果一覧－ 9 （根室市・太平洋沿岸）

自治体名		根 室 市
ヒアリング日時		12月8日(金)
0	当日の動き	20:15 地震発生(震源地:千島列島、根室市:震度1) 20:29 津波警報(太平洋沿岸東部) 20:33 災害対策本部 避難勧告(全域) 13,159世帯 31,426人 同報無線による放送の実施 20:40 防潮堤扉の閉鎖作業開始 市内パトロールの実施 20:45 広報活動の実施 避難所の開設 21:29 津波の第1波を観測(花咲港:40cm) 23:30 津波警報解除 津波注意報に変わる 注意喚起に切り替え 23:45 避難勧告解除 1:30 津波注意報解除 1:40 防潮堤開放 災害対策本部解散
1	地震のゆれ	◆地震のゆれは感じなかった。
2	津波に関する避難 勧告・指示の基準	◆津波警報時(1m)・・・避難勧告 ◆津波警報時(2m)・・・避難指示 ◆大津波警報・・・避難指示 ◆H18年度に決めたばかり。今回の運用が初めて。
3	職員の徴集基準	◆震度4以上、津波注意報・警報で徴集。 ◆津波警報・・・第3次(全職員) ◆本庁舎・第2庁舎では、232人／250人程度と、ほとんどが出動した。 ◆道の防災システムより、職員個人へメールで連絡が入った。
4	情報発信	◆全世帯へ避難勧告(13,159世帯／31,426人) ◆防災行政無線(屋外拡声器)37箇所より情報発信 ◆夜間であったため、消防本部より情報発信。 ◆昼間であれば、役所より行うことになっている。 ◆防災行政無線(戸別受信機):約600世帯(試験的な配布) ◆歯舞漁協との提携。歯舞漁港の無線を利用。 ◆ローカルFMと提携。夜間であったため、消防本部よりFM局へ通報。
5	住民の避難状況	◆避難所に避難した住民は、900人／31,426人。 ◆900人の内訳は、避難所が131人、避難所駐車場が150人、避難場所・高台が600人。 ◆数字だけ見ると低く見えるが、避難が必要そうな地域では避難している。 ◆避難場所の駐車場と高台では、車の中での避難。 ◆浜松地区ではほぼ100%が避難。
6	住民の避難手段	◆車による避難が多かった。 ◆避難所までの距離があること、寒いこと、長期滞在、情報取得などを考えると、車による避難は必ずしもだめだと言えない。

行政ヒアリング調査結果一覧－１０（根室市・太平洋沿岸）

自治体名		根 室 市
ヒアリング日時		12月8日(金)
7	ゆれが小さかったこと・津波警報が先に出たこと・震源が遠かったことの影響	◆ゆれを感じなかったので、津波警報が出ても半信半疑であったのではないか。 ◆ゆれが小さいことは避難に対して－イメージだと思う ◆津波警報が先に出たことは、起きている人には＋、寝ている人には－だったと思う。 ◆夜間で室内にいる状況では、同放送無線の放送が聞こえない場合がある。 ◆同放送無線をうるさいと感じた住民もいた。 ◆チリ沖地震を経験者（50歳以上）には、揺れが小さいこと、震源が遠いことは、＋に働いたのではないか。 ◆チリ沖のように震源が遠くゆれがない地震より、東方沖・根室半島沖のような地震のゆれが大きい地震のほうが、津波を強く意識するのではないか。
8	ハザードマップ・防災訓練	◆まだ作成していない。 ◆作成時期は未定だが、必要性は感じている。 ◆北海道が行った浸水予想は、局所的。目安、単なる1つのシナリオ。 ◆住民への見せ方が重要。
9	今回、明らかになった課題	◆避難勧告・指示を出す対象エリアの整理が必要。本当に避難が必要な対象エリアの把握が必要。 ◆冬場の避難計画の精緻化が必要。 ◆冬場の避難を考えると、避難先に箱物が必要。 ◆津波注意報の解除が早すぎた。解除後に最大波がくるなど、改善が必要である。 ◆解除が早かったが、住民は長いと感じる。避難後のケアが問題。 ◆避難した住民への情報提供が課題・・・住民からの苦情があった（いつまでいればいい？） ◆車による避難計画。車の中では寒くても滞在できる、情報を取得できるなどメリットも。
10	その他	◆今回の地震はよい例だった。 ◆オホーツク海側に2m以上、太平洋側に1m以上の津波警報。オホーツク海側が大きいことは初めてでは。 ◆根室市では、110の町内会長宛にアンケート調査を行っており、締め切りは12月20日。アンケート調査結果を頂き、参考にさせて頂くことを了解してもらった。 ◆友知、浜松は、大半が沖だししたと聞いている。 ◆自分たちの財産・生活手段を守ること、津波到達まで時間があったことが、主な理由と考えられる。 ◆沖だし調査を行う必要がある。 ◆浜松では陸門50基、水門2基がある。 ◆20:40に操作開始、20:50に閉鎖を完了。

行政ヒアリング調査結果一覧－ 1 1 （別海町・太平洋沿岸）

自治体名		別海町
ヒアリング日時		12月8日(金)
0	当日の動き	20:15 地震発生(震源地:千島列島、別海町:震度2) 20:29 津波警報(太平洋沿岸東部) 20:35 災害対策本部 20:36 避難勧告(海岸線全域) 646世帯 2,301人 23:30 津波警報解除 津波注意報に変わる 23:45 災害対策本部廃止 0:15 災害対策本部廃止 1:30 津波注意報解除
1	地震のゆれ	◆ 地震のゆれは感じなかった。 ◆ ほとんどの住民が感じなかったのではないかな。
2	津波に関する避難勧告・指示の基準	◆ 津波警報時…避難勧告 ◆ 大津波警報…避難指示 ◆ 昨年度決めたばかりで、今回の運用が初めて。 ◆ 10月7日～9日の低気圧被害では、勧告・指示の違いがわからないという問題が生じた。 ◆ 避難勧告・指示に関する資料を作成、住民に配布済
3	職員の徴集基準	◆ 震度5弱以上、津波注意報・警報発令時に徴集。 ◆ 津波注意報…第2次(管理職全員) ◆ 津波警報…第3次(全職員)
4	情報発信	◆ 防災行政無線(屋外拡声器):19箇所より情報発信 ◆ 防災行政無線(戸別受信機):540世帯/646世帯 ◆ 戸別受信機は申請があれば設置、個人負担はない。 ◆ 10月7日～9日の低気圧被害により、申請が増えている。
5	住民の避難状況	◆ 避難所に避難した住民は、501人/2,301人。 ◆ 高台に避難した人を含めると、結果的にはほとんどの人が避難したと思われる。 ◆ 本別海の避難について。 ・ 最も低地が多い。この地域では、250人/300人で、ほとんどの住民が避難。 ・ 車の中での待機が多かった。 ・ 避難場所は、高台にある別海小中学校。 ・ 低地にある地域センター(海岸から100～200m)は、東方沖で津波による水がついているので、津波避難場所として使えない。 ・ 橋を通らなければ避難できない。地震が大きかったら、橋が使えるか不安。 ◆ 走古丹の地域防災センターは、平成11年に津波などの避難を考慮し、ピロティ形式とし自家発電機を設置。
6	住民の避難手段	◆ 車による避難が多かった。 ◆ 避難所までの距離があること、寒いこと、長期滞在、情報取得などを考えると、車による避難は必ずしもだめだと言えない。 ◆ 尾岱沼の信号で渋滞が見られた。警察が1つしかない。交差点の上がりかけて渋滞。

行政ヒアリング調査結果一覧－１２（別海町・太平洋沿岸）

自治体名		別海町
ヒアリング日時		12月8日(金)
7	ゆれが小さかったこと・津波警報が先に出たこと・震源が遠かったことの影響	
8	ハザードマップ・防災訓練	◆ まだ作成していないが、12月の補正予算で作成。 ◆ 北海道が行った浸水予想では、局所的に浸水深2mとなっているだけ。 ◆ 東方沖や根室半島沖地震では2mより大きかった。 ◆ 今回の震源が千島列島沖の場合など、北海道で想定していない地震による津波も有り得る。 ◆ どのようなマップにしたらよいか。そのまま表示して住民に提示することは危険。 ◆ 今回の地震で、多くの安心マップになりかねない。 ◆ 10月の低気圧被害の後、避難訓練を行った。
9	今回、明らかにになった課題	◆ 役場が内陸にあり、現地（沿岸）と離れているので、なかなかすぐに対応できない。 ◆ 避難した住民への情報提供が課題・・・住民からの苦情があった（いつまでいれればいい？） ◆ 情報提供を継続的に行うことができる状況づくりが必要。 ◆ 集まるための施設、滞在・集約型施設、安否確認・情報提供などができる施設が必要 ◆ 沿岸地域での避難所（拠点施設）の設置（本別海・走古丹）
10	その他	◆ 核家族化の状況は見られず、2家族以上で同居している住民が多い（漁師） ◆ 10月7日～9日の低気圧被害があったため住民の意識が高かったと思われる。 ◆ 低気圧被害では、定置網で6億の被害があった。 ◆ 水門・陸閘の有無については把握していない。 ◆ 低気圧被害の話だが、船上げ場で設置した木の防御は、浮いてしまって役に立たない。

行政ヒアリング調査結果一覧－１３（斜里町・オホーツク海沿岸）

自治体名		斜 里 町
ヒアリング日時		12月12日(火)
0	当日の動き	20:15 地震発生(震源地:千島列島、震度1) 20:29 津波警報(オホーツク海沿岸) 20:45 避難勧告(町内全域) 5,500世帯(5,700世帯) 13,500人 屋外スピーカー4箇所 広報車4台 20:45 災害対策本部設置 22:04 津波の第1波を観測(網走港:10cm) 23:06 津波の最大波を観測(網走港:20cm) 23:30 津波警報解除 津波注意報に変更 23:45 避難勧告解除、自主避難へ 0:32 津波注意報解除、自主避難解除 9:00 対策本部解散
1	地震のゆれ	◆ ゆれはほとんど感じなかった。
2	津波に関する避難勧告・指示の基準	◆ 津波警報発令時に避難勧告・指示を発令する。 ◆ 避難勧告・指示の区分けは決まっていない。
3	職員の徴集基準	◆ 震度5弱以上、津波注意報・警報で徴集。 ◆ 職員200人が対応。ほとんどが出動した。
4	情報発信	◆ 20:45に屋外拡声器4基と広報車4台により避難勧告。 ◆ 住民から屋外拡声器や広報車の放送内容が聞き取れないとの意見があった。 ◆ 自治会長からもう少しわかりやすい内容にしろとの意見もあった。 ◆ 冬季の密閉状態を考えると聞こえない可能性がある。 ◆ 特に広報車は、早く走っているので1フレーズ言い終わる前に移動してしまう。 ◆ 聴取可能範囲、風向き、家の影、ハウリングが大きく影響し、放送する人のアナウンス訓練も必要。 ◆ 今後、津波が来た場合には、まず消防サイレンの吹鳴により避難勧告・指示を出すということを、紙面により、全戸配布した。
5	住民の避難状況	◆ 避難所に避難した住民は、2,296人／13,400人。 ◆ 上記は車の中にいる人もカウントした数。車内は1.5人で積み上げ。 ◆ 高台やその他へ避難している人もいたので、正確な数値はわからない。 ◆ 思ったよりも逃げている。
6	住民の避難手段	◆ 車による避難が多かった。(高台への避難など) ◆ 渋滞が見られた。 ◆ 北海道において車で逃げるなは、逃げるなと言っているに等しい。 ◆ 津波に関する知識がなかったが、太平洋側よりも高い避難率であった。 ◆ 今回は驚いて逃げたというところ。今後の住民の津波避難が課題。

行政ヒアリング調査結果一覧－１４（斜里町・オホーツク海沿岸）

自治体名		斜 里 町
ヒアリング日時		12月12日(火)
7	ゆれが小さかったこと・津波警報が先に出たこと・震源が遠かったことの影響	◆ ゆれを感じないのに、津波警報が発表されたので住民は驚いた。 ◆ 津波自体がイメージできない。
8	ハザードマップ・防災訓練	◆ 洪水ハザードマップはあるが、津波ハザードマップは作成していない。 ◆ 地域防災計画の見直しも必要。 ◆ 今回の地震以前には、津波に対する避難所・避難場所の指定がされていなかったため、12/1にチラシを全戸配布した。
9	今回、明らかになった課題	◆ 住民への情報伝達が課題であった。 ◆ 広報車や屋外拡声器による放送内容は、聞き取りにくい。 ◆ 日常的に使用するなど、広報車や屋外拡声器による放送に、住民の方に慣れてもらう必要がある。 ◆ 聴取範囲を考慮すると、屋外拡声器の個数が足りない。 ◆ 電柱設置型や戸別受信機などについて、今後検討する必要がある。 ◆ 津波による避難勧告・指示は、サイレンによることを12/1のチラシで全戸配布。
10	その他	◆ 有史始まって以来の津波警報。 ◆ 今回は、たまたま津波は来なかったが、津波警報が出たことは事実。 ◆ 避難勧告は強制力はないものの、後で何か言われるのではないかという不安感はある。

行政ヒアリング調査結果一覧－１５（網走市・オホーツク海沿岸）

自治体名		網走市
ヒアリング日時		12月12日(火)
0	当日の動き	20:15 地震発生(震源地:千島列島、震度1) 20:29 津波警報(オホーツク海沿岸) 20:30 北海道総合行政無線・FAXにより 津波警報発令を受信(大島係長対応) 20:35 職員が随時集合 20:50 避難勧告(海岸町・北東・南東・鱒浦・藻琴・北浜・卯原内・能取) 2,050世帯 4,120人 港湾放送(スピーカー1箇所)にて避難呼びかけ 広報車 消防本署7台 南出張所5台 消防分団8台 計20台で広報活動 市広報11台(うち7台スピーカー車)で広報巡回実施 20:50 災害対策本部設置 22:07 津波の第1波を観測(網走港:10cm) 23:06 津波の最大波を観測(網走港:20cm) 23:30 津波警報解除 津波注意報に変更 23:32 避難勧告解除 0:10 対策本部解散 0:32 津波注意報解除
1	地震のゆれ	◆ ゆれはほとんど感じなかった。 ◆ この地域では、震度4が過去50年に3回程度しか起こっていない。
2	津波に関する避難勧告・指示の基準	◆ 特に決まっていなかった。
3	職員の徴集基準	◆ 震度4以上、津波注意報・警報で徴集。 ◆ ほとんどが出動した。
4	情報発信	◆ 20:50に港湾の屋外拡声器1基と広報車により沿岸地域へ避難勧告 ◆ 時間は遅れたが、消防や警察で徴集用にならしたサイレンが有効であった。
5	住民の避難状況	◆ 避難所に避難した住民は、1,526人／4,120人。 ◆ 高台やその他へ避難している人に加え、野次馬も含んでいるので、正確な数値はわからない。 ◆ 思ったよりも逃げている感じがする。
6	住民の避難手段	◆ 車による避難が多かった。(高台への避難など) ◆ 渋滞が見られた。高い方向へ逃げる人だけではなく、海の様子を見に行く下へ行く人も見られた。 ◆ 北海道において車で逃げるなは、逃げるなど言っているに等しい。

行政ヒアリング調査結果一覧－１６（網走市・オホーツク海沿岸）

自治体名		網走市
ヒアリング日時		12月12日(火)
7	ゆれが小さかったこと・津波警報が先に出たこと・震源が遠かったことの影響	◆ ゆれを感じない中での津波。 ◆ 本当に来るのか、半信半疑。 ◆ 津波自体がイメージできない。2m以上の津波をイメージできない。高さもそうだが、どこまで遡上するのかイメージできない。
8	ハザードマップ・防災訓練	◆ 津波ハザードマップは作成していない。 ◆ 津波ハザードマップを作成したいと考えている。 ◆ しかし、オホーツク海側での浸水解析が行われていないのが現状。 ◆ これをもとに避難計画や避難路確保の計画を立てたい。 ◆ 津波ハザードマップの作成にどのくらいの費用がかかるか教えてほしい。
9	今回、明らかになった課題	◆ 避難後・避難先での情報取得が課題。 ◆ 住民がほしいのは、いつまで避難していれば良いのかといった情報。避難先で情報を得られるような環境を作る必要がある。 ◆ しかし、市から伝えることの出来る情報は限られている。气象台に聞かなければわからない。 ◆ 消防から、帰ろうとしている市民を避難所にとどめておく方法はないかとの問い合わせがあった。 ◆ 避難勧告に強制力はないため難しい。 ◆ 渋滞が問題。避難率が上がればあがるほど厳しい状況。 ◆ 車による避難計画の策定が必要。 ◆ 屋外スピーカーや広報車の放送内容が聞き取れない、うるさいといった苦情があった。 ◆ 放送内容が聞き取れないことについては、サイレン(吹鳴)が有効。
10	その他	◆ 警報解除または注意報解除は早くてよかった。長ければ、別の問題が生じたと思う。 ◆ しかし、注意報解除後の第4波で最大波がきたところもあるので、油断は出来ない。

行政ヒアリング調査結果一覧－１７（北見市・オホーツク海沿岸）

自治体名		北見市
ヒアリング日時		12月12日(火)
0	当日の動き	20:15 地震発生(震源地:千島列島、震度1) 20:29 津波警報(オホーツク海沿岸)・ 「オホーツク海沿岸21:20、高さ2mの予想」 漁協に一報を入れる 20:42 避難呼びかけ(豊浜・栄浦地区) 消防広報4台 河口海面監視1台 20:50 北見市津波災害対策本部設置、 常呂自治区災害対策本部設置 避難勧告(海岸沿岸全域と河口) 365世帯／1,017人 広報車 自治区本部2台 漁協無線による広報依頼 漁協:20:50～21:15まで7～8回広報する (組合員全戸に無線及び屋外拡声器5箇所による) 20:50 避難所開設(かもめ保育園) 21:20 常呂神社社務所を臨時避難所として開設。錦水小・デイサービスを開設 21:50 震源地が東にずれていたため、津波到達時刻が遅れるとの情報 23:30 津波警報解除 津波注意報に変更 23:45 避難勧告解除 災害対策本部を廃止 0:32 津波注意報解除
1	地震のゆれ	◆ ゆれはほとんど感じなかった。
2	津波に関する避難勧告・指示の基準	◆ 特に決まっていなかった。
3	職員の徴集基準	◆ 震度4以上、津波注意報・警報で徴集。
4	情報発信	◆ 津波に関する初動マニュアルはなかった。 ◆ 自宅(芥川課長)から漁協へ一報。 ◆ 避難勧告(20:50)に先行して避難呼びかけ(20:42)。 ◆ 漁協組合員全戸配布の戸別受信機と屋外拡声器5箇所と広報車で避難勧告。 ◆ 戸別受信機が聞き取りにくいとの意見があった。 ◆ 町内会長が各戸に回ってくれた。 ◆ 漁業労働者に中国人が50～60人程度。その人たちへの情報提供が課題。 ◆ 簡単な誘導計画、フレーズが必要。
5	住民の避難状況	◆ 避難所に避難した住民は、350人／1,017人。 ◆ 実際にはいち早く高台へ車で避難する方もおり、上記よりも大きいと思われる。 ◆ 思ったよりも逃げている。とはいっても3割～4割の避難率。高いとは言えない。 ◆ 避難人数がそれほど多くなかったため、車の渋滞は見られなかった。 ◆ 漁師の方が船の様子を見に行こうとしたが、警察が止めたと聞いている。 ◆ 高台に逃げた人など、正確な人数の把握はできなかった。
6	住民の避難手段	◆ 車による避難が多かった。(高台への避難など)

行政ヒアリング調査結果一覧－１８（北見市・オホーツク海沿岸）

自治体名		北見市
ヒアリング日時		12月12日(火)
7	ゆれが小さかったこと・津波警報が先に出たこと・震源が遠かったことの影響	
8	ハザードマップ・防災訓練	◆ 洪水ハザードマップはあるが、津波ハザードマップは作成していない。
9	今回、明らかになった課題	◆ 防災上の合併による弊害。 ◆ 津波は常呂支所での対応。合併により多くが異動し人員不足。 ◆ 8月、10月そして今回と災害が重なったのも原因。沿岸は、洪水災害に加え津波災害もあり、人員の減った支所で対応するのは大変。 ◆ 身障者や食事制限を受けている人の対応の中では、まだ寝るところやトイレ・食事といった問題について、解決策を検討する必要がある。 ◆ 津波ハザードマップの作成は急務と考えている。 ◆ 津波ハザードマップがなければ、津波来襲時の対応が困難。避難勧告発令区域もわからない。 ◆ 津波の浸水解析をオホーツク海側もやってほしい。北海道も予算は厳しいと思うが、お金の問題ではないと思う。
10	その他	◆ 有史始まって以来の津波警報。出ても注意報であった。 ◆ 経験したことがなかったゆえに、早期の避難勧告、広報活動。津波の予想高さが2mであったため、それ以上の津波が来るかもしれないと思った。 ◆ 地域の人からの苦情は、町内会長に確認したところなかったと聞いている。 ◆ 8月と10月に洪水（常呂川）に関する避難指示が出たこともあり、この時の教訓が生かされた。 ◆ このときは避難が1泊2日に渡った。 ◆ 身障者や食事制限を受けている人など、民間施設で対応するところが前回よりもうまくは言ったと思うが課題もある。（デイサービスセンターでの受け入れ、設備等が充実している） ◆ 本部から連絡要員が来てくれたことは救いであった。 ◆ しかし、本部要員は8h交代制。支所の対応は厳しい。

行政ヒアリング調査結果一覧－１９（紋別市・オホーツク海沿岸）

自治体名		紋別市
ヒアリング日時		12月13日(水)
0	当日の動き	20:15 地震発生(震源地:千島列島、震度1) 20:29 津波警報(オホーツク海沿岸) 20:31 災害対策本部設置 20:35 避難勧告発令(沿岸地域) 1,888世帯 4,197人 広報車 市車両5台 消防車両13台 警察車両8台 計26台 企画調整課より各町内会へ電話連絡 21:03 市内一斉サイレン吹鳴(上渚滑町除く) 21:15 国道238号 渚滑一沙留間一時通行止め 22:17 津波の第1波を観測(紋別港:10cm) 23:15 津波の最大波確認(紋別港:40cm) 23:30 津波警報解除 津波注意報に変更 0:00 避難勧告解除 0:32 津波注意報解除 0:53 対策本部解散
1	地震のゆれ	◆ ゆれはほとんど感じなかった。
2	津波に関する避難勧告・指示の基準	◆ 特に決まっていなかった。
3	職員の徴集基準	◆ 震度4以上、津波注意報・警報で徴集。
4	情報発信	◆ 防災行政無線(屋外スピーカーや戸別受信機)は無し。 ◆ 広報車(26台)や町内会への電話連絡により、避難勧告を周知。 ◆ 町内会への電話は、企画調整課で手分けして行った。 ◆ 少し遅くなったが、21:03に市内一斉にサイレンを吹鳴。 ◆ サイレンの吹鳴は有効だったと考えている。 ◆ 海岸段丘となっているため、海岸沿いの人が全て逃げたかはわからない。 ◆ 釣り客への情報提供が課題。
5	住民の避難状況	◆ 避難所に避難した住民は、314人／4,197人。 ◆ 数字だけ見ると低く見えるが、実際には高台(何箇所かある)、子供のところ、親戚のところに逃げたという話を聞いている。 ◆ イメージ的には、避難所が1／3、親戚の家が1／3、その他が1／3 ◆ 国道沿いの駐車場はいっぱいだったのを確認している。台数は不明。 ◆ 高台に逃げた人など、正確な人数の把握はできなかった。
6	住民の避難手段	◆ 車による避難が多かった。(高台への避難など)

行政ヒアリング調査結果一覧－２０（紋別市・オホーツク海沿岸）

自治体名		紋別市
ヒアリング日時		12月13日(水)
7	ゆれが小さかったこと・津波警報が先に出たこと・震源が遠かったことの影響	◆ ゆれを小さいこと、津波経験がなかったことから、津波警報が出たことは、不意打ちであった。
8	ハザードマップ・防災訓練	◆ 洪水ハザードマップはあるが、津波ハザードマップは作成していない ◆ 防災計画はあったので、津波災害時の基本的事項は入っていた。 ◆ 津波に対する防災訓練は行っていない。
9	今回、明らかになった課題	◆ 議員の話によると、NHKの放送がずれていたらしく、マスコミとの連携体制の強化が必要。 ◆ まず逃げなければならない、予測が外れてよかったということを前提とした避難計画を策定するべき。 ◆ オホーツク海側では津波経験がないことから、津波そのものの事象から理解する必要がある。 ◆ 釣り客への情報提供は課題であった。
10	その他	◆ 有史始まって以来の津波警報であったため、実家がほとんどなかった。他人ごとであった。 ◆ 市民にとっては、不意打ちのようなもの。 ◆ 本当に来るのか、半信半疑だった市民が多かったと思う。

問72 平成18年度に実施した、またはこれから実施予定の、住民を対象とした津波に関する防災講演会や住民説明会等があれば、開催日程および名称をご記入下さい。

区分	市町村名	回 答
津波警報発表地域① 到達高さ2m	稚内市	平成19年1月21日(日) 9:00～16:00 「稚内市民防災講座」
	猿払村	
	浜頓別町	11月20日～24日に開催した住民懇談会で、今回の津波に関する説明等を行った
	枝幸町	
	雄武町	
	興部町	
	紋別市	
	湧別町	
	佐呂間町	
	北見市	
	網走市	未定
	小清水町	
	斜里町	平成19年4月以降、ハザードマップを用いた住民説明会、出前講座等を検討している。
津波警報発表地域② 到達高さ1m	羅臼町	
	標津町	
	別海町	○平成18年度別海町防災訓練(西春別地区) 9月 1日 ○平成18年度床丹地区防災訓練 11月 6日 ○平成18年度福祉講座・災害図上訓練(DIG) 講座 11月28日 ○平成18年度自主防災組織研修会 12月12日
	根室市	
	浜中町	「津波防災町づくり体験学習inはまなか」(平成18年10月14日)
	厚岸町	本年春に北海道から500年間隔地震のシミュレーションが発表・提供されたことから、本年夏に地域懇談会で情報提供するとともに広報誌で周知。
	釧路町	・現時点では、特になし。
	釧路市	
	白糠町	
	浦幌町	
	豊頃町	
	大樹町	
津波注意報発表地域 到達高さ50cm	広尾町	
	えりも町	
	様似町	
	浦河町	北海道開発局 2月3日
	新ひだか町	
	新冠町	実施予定なし
	日高町	
	むかわ町	
	厚真町	
	苫小牧市	
	白老町	平成19年2月6日(火) 平成18年度防災講座 防災全般講座
	登別市	
	室蘭市	H18.4.25 平成18年度室蘭市津波警報伝達訓練
	伊達市	平成18年7月4日 西友クラブ(老人クラブ) 防災講習会「伊達市における災害」 平成18年10月28日 公明党伊達支部危機管理委員会 防災講演会「伊達市における災害」 平成18年11月20日 市民のつどい 防災講演会「伊達市における災害とその対策」 平成19年2月1日(予定) 防災気象講演会(予定) 平成19年2月25日(予定) 長和地区社協 防災講演会「伊達市における災害とその対策」 平成19年3月(予定) 伊達市防災講演会
	洞爺湖町	
	豊浦町	平成18年9月6日 災害図上訓練
	長万部町	
	八雲町	
	森町	
	鹿部町	
	函館市	
	北斗市	
	木古内町	
	知内町	函館海洋気象台との共済で「気象講演会」を行った(H18.10.20)
	福島町	
	松前町	特になし

問73 今回の避難勧告等の発令や災害対策本部設置の判断に際して、参考にした情報があればご記入ください。

区分	市町村名	回 答
津波警報発表地域① 到達高さ2m)	稚内市	津波予想高さ、津波到達予想時刻
	猿払村	
	浜頓別町	
	枝幸町	気象庁等の津波警報(町防災計画により警報発令と同時に避難勧告の発令、災害対策本部の設置)
	雄武町	
	興部町	気象庁の発表情報及びマスコミ報道(TV報道による周辺自治体の勧告等の発令状況など)
	紋別市	1993年の奥尻島の津波被害、2004年のスマトラ島沖地震、太平洋沖における過去の津波の状況
	湧別町	気象台からの津波予報
	佐呂間町	
	北見市	
津波警報発表地域② 到達高さ1m)	網走市	気象台発表の津波警報 他市町村の勧告等の状況
	小清水町	主に北海道緊急防災ネットワークシステム及びテレビ報道
	斜里町	
	羅臼町	
	標津町	
	別海町	
	根室市	
	浜中町	
	厚岸町	
	釧路町	
津波注意報発表地域 到達高さ50cm)	釧路市	
	白糠町	
	浦幌町	
	豊頃町	
	大樹町	避難勧告・本部設置なし
	広尾町	気象台
	えりも町	
	様似町	
	浦河町	
	新ひだか町	
	新冠町	日高支庁からのfax情報とメディアによる潮位観測情報
	日高町	
	むかわ町	
	厚真町	
	苫小牧市	
	白老町	
	登別市	
	室蘭市	気象庁発表の津波情報
	伊達市	気象情報
	洞爺湖町	
	豊浦町	
	長万部町	
	八雲町	
	森町	
	鹿部町	
	函館市	
	北斗市	
	木古内町	災害対策本部の設置基準や避難勧告等の発令基準を明確に記載する市町村があれば内容について基準の内容を知りたい。
	知内町	
	福島町	
	松前町	